

平成25年11月18日開催

石狩市教育委員会会議（11月定例会）資料

<議 案>

- 1 石狩市立学校施設使用料条例の一部改正について（非公開）
- 2 指定管理者指定の件について（非公開）
- 4 教育委員会の点検・評価（平成24年度分）について（別冊）

<協議事項>

- 1 平成26年度教育委員会予算要求について（非公開）

<報告事項>

- 1 第58回（平成25年度）石狩市民文化祭について（実施状況）・・・P8
- 2 第14回石狩市民図書館まつりについて（開催結果）・・・P9
- 3 平成26年石狩市成人式について（開催案）・・・P10

石 狩 市 教 育 委 員 会



教育委員会の点検・評価報告書

(平成24年度分)

平成25年11月
石狩市教育委員会

目 次

点検及び評価について

1 教育委員会の点検・評価報告書について	P 1
2 点検及び評価の対象について	P 1
3 点検及び評価の手法と方針について	P 1
4 学識経験者の知見の活用について	P 1

教育委員会の活動状況に関する点検及び評価

1 教育委員会の活動状況	P 2～ 7
（1）教育委員会会議の状況	P 2
（2）教育委員会会議での審議事項	P 2～ 5
（3）教育委員会会議以外の活動状況	P 6～ 7
2 教育に関する事業の点検及び評価	P 8～ 111
（1）施策別の取組状況、分析・評価及び今後の方向性（一覧）	P 8
（2）主要事業の内容（一覧）	P 9
施策別の取組状況、分析・評価及び今後の方向性	P 10～ 51
平成 25 年度（24 年度実施事業）事業評価シート	P 52～111

点検及び評価に対する学識経験者による意見について	P 112～114
--------------------------	-----------

資 料

資料 1 教育委員会委員名簿	P 115
資料 2 石狩市教育委員会外部評価委員会設置要綱	P 116

点検及び評価について

1 教育委員会の点検・評価報告書について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）第 27 条の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとなっています。

石狩市教育委員会は、市民への説明責任を果たすとともに、より効果的に教育行政を推進するため、平成 24 年度の教育委員会の活動状況及び主要な施策・事業について点検・評価を行い、教育に関し学識経験を有する方々による「石狩市教育委員会外部評価委員会」の意見を踏まえ、「教育委員会の点検・評価報告書（平成 24 年度分）」としてまとめました。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の対象について

平成 24 年度の教育委員会の活動状況のほか、教育委員会において実施した施策・事業等を対象としています。

3 点検及び評価の手法と方針について

教育委員会会議の開催及び審議の状況など、教育委員会の活動状況を明らかにするとともに、教育に関する事業を個別に評価し、課題を踏まえ、今後の改善に向けた方針を明らかにしています。

4 学識経験者の知見の活用について

教育委員会の活動状況や教育に関する施策・事業の執行状況の点検・評価の客観性を確保し、今後の取組への活用を図るため、教育に関し学識経験を有する方々から、点検及び評価に対する意見や助言をいただき、本報告書に付して報告します。

教育委員会の活動状況に関する点検及び評価

1 教育委員会の活動状況

教育委員会の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律及び石狩市教育委員会会議規則に基づき、教育長を含む5人の委員が、主要な教育施策の確立、変更及び実施に関すること、教育委員会規則の制定など、教育に関する様々な議題について審議しています。

また、緊急かつ重要な案件は、臨時会を開催するなど、適宜審議を行っています。

=== 石狩市教育委員会外部評価委員会の意見(前年度) =====

教育委員会会議等の活動は積極的に、また、議論も活発に行われているので評価できる。いじめ、不登校の状況など、生徒指導にかかわる重要な案件をきめ細かく取り上げる姿勢は評価できる。今後とも、特に児童生徒の生命・安全にかかわることは、継続的に審議していくことを期待する。

=====

それぞれの会議においては、事務局から付議された議案・報告案件及び協議事項・報告事項について、委員相互の入念な審議・協議・意見交換などを経て決定しています。

また、市民が教育行政に関心を持っていただけるよう、石狩市ホームページや、市役所本庁舎情報公開コーナーなどで、会議録を公開しています。

なお、平成22年4月にスタートした新教育プランは、教育委員会の会議において協議・審議を重ね策定されたものであり、この計画の確実な推進を図るため、様々な教育課題や取組などについて、審議・協議並びに教育現場の視察や関係者との意見交換を重ねています。

(1) 教育委員会会議の状況

教育委員会会議については、石狩市教育委員会会議規則第2条第2項の規定に基づき定例会を開催、また同条第3項の規定に基づき、必要に応じて臨時会を開催しています。

平成24年度については、下記のとおり合計17回の会議を開催しました。

また、会議以外に事務局と施策に関する勉強会も随時実施しています。

- ① 定例会 12回(毎月1回)
- ② 臨時会 5回(8、10、11月各1回・3月2回)

(2) 教育委員会会議での審議事項

教育委員会会議への付議案件は、石狩市教育委員会事務委任規則などに基づく議案等118件でしたが、その内訳は次のとおりです。

- ① 石狩市教育委員会事務委任規則に基づく審議事項49件
 - ・議決案件 36件
 - ・報告案件 5件
 - ・承認案件 0件
 - ・協議案件 8件
- ② 同規則に規定されていない教育施策に関わる事業等の報告事項及びその他の事項69件
 - ・報告事項 45件
 - ・その他 24件

③ 付議案件一覧

年 月 日	付 議 案 件
24. 4. 24	【議案】 ・石狩市立学校管理規則の一部改正について ・石狩市奨学審議委員会委員の委嘱について ・石狩市文化財保護審議会委員の委嘱について ・石狩市民図書館協議会委員の委嘱について ・教職員の処分について（報告） 【報告事項】 ・平成 24 年度市内小中学校の児童生徒数・学級数について 【その他】 ・南線小学校への図書返却ポストの設置について ・石狩市民図書館厚田分館と厚田小学校図書館の統合に係る意見交換会について ・教職員人事の教育委員会会議における議題との関連について
24. 5. 23	【議案】 ・石狩市教育委員会会議規則の一部改正について ・石狩市立学校管理規則の一部改正について ・平成 24 年度一般会計補正予算（第 1 号補正）について ・石狩市民図書館条例の一部改正について ・石狩市社会教育委員の委嘱について ・石狩市学校給食センター運営委員の委嘱について ・平成 24 年度奨学生の決定について ・石狩市民図書館協議会からの答申について（報告） 【協議事項】 ・平成 24 年度石狩市教育委員会の点検・評価の実施について 【報告事項】 ・平成 24 年度市内小中学校の児童生徒数・学級数について ・平成 23 年度いじめ・不登校の状況について 【その他】 ・平成 23 年度石狩市学校支援地域本部事業報告書について ・スマートフォンへの対応について
24. 6. 26	【議案】 ・石狩市文化財保護審議会への諮問について 【報告事項】 ・平成 23 年度社会教育施設等の利用状況について ・平成 24 年度石狩市教職員研修「サマーセミナー」について ・平成 23 年度石狩市在住の青少年における不良行為・犯罪行為等について ・平成 23 年度学校給食費収納状況について ・今後の厚田区の学校のあり方について 【その他】 ・スマートフォンへの対応について ・名取市へのボランティア支援について ・通学路の安全点検及び教育委員研修について
24. 7. 25	【議案】 ・招致外国青年就業規則の一部改正について ・教職員の処分について（報告） 【報告事項】 ・いじめ調査結果について（6 月実施分） ・市民図書館の登録者数について 【その他】 ・学校施設被害防止対策について ・計画停電時等の対応について ・ラジオ体操の取組について ・市 P T A 連単 P 会長と教育委員の意見交換会について
24. 8. 20 (臨時)	【報告事項】 ・いじめの問題に関する児童生徒の実態把握並びに教育委員会及び学校の取組状況に係る緊急調査について

24. 8. 30	【議案】 ・平成 25 年度使用教科用図書のうち学校教育法附則第 9 条に規定する教科用図書の採択について ・平成 24 年度一般会計補正予算（第 2 号補正）について 【協議事項】 ・教育委員会の点検・評価（平成 23 年度分）について 【報告事項】 ・平成 24 年度石狩市教職員研修「サマーセミナー」実施結果について ・平成 24 年度「俳句のまち・いしかり」実施結果について ・科学の祭典 i n 石狩 2012 の開催について ・平成 24 年度全国学力・学習状況調査について 【その他】 ・「オール北海道で目指す目標」の達成に向けた市教育委員会の取組について
24. 9. 28	【議案】 ・石狩市教育委員会委員長の選挙について ・石狩市教育委員会委員長職務代理者の指定について ・石狩市教育委員会職員の懲戒処分について 【協議事項】 ・教育委員会の点検・評価（平成 23 年度分）について 【報告事項】 ・いじめに関する児童生徒調査（文部科学省緊急調査）結果について ・第 57 回（平成 24 年度）石狩市民文化祭の開催について ・第 13 回（平成 24 年度）図書館まつりの開催について ・通学路の交通安全の確保に係る緊急合同点検の結果について ・平成 24 年度全国学力・学習状況調査について
24. 10. 12 (臨時)	【協議事項】 ・石狩市教育委員会教育長の任命について
24. 10. 26	【議案】 ・石狩市民図書館条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則の制定について ・石狩市民図書館条例施行規則の一部改正について ・石狩市立小中学校図書館の開放に関する規則の制定について 【報告事項】 ・いじめの問題に関する取組状況調査（文部科学省緊急調査）結果について ・教育委員会の点検・評価（平成 23 年度分）について 【その他】 ・第 1 回石狩市調べる学習コンクールの結果について ・ウミベオロジー ～石狩浜辺学 2012～ について
24. 11. 16	【議案】 ・平成 24 年度一般会計補正予算（第 3 号補正）について ・石狩市教育委員会の点検・評価報告書（平成 23 年度分）について 【協議事項】 ・平成 25 年度教育委員会予算要求について 【報告事項】 ・平成 25 年石狩市成人式の開催について ・第 57 回石狩市民文化祭の実施状況について ・第 13 回石狩市民図書館まつりの開催結果について ・平成 24 年度蔵書点検結果について ・平成 24 年度「いじめ根絶！メッセージコンクール」管内表彰について 【その他】 ・厚田小学校図書館の愛称について
24. 11. 30 (臨時)	【議案】 ・石狩市立学校通学区域規則の一部改正について 【協議事項】 ・平成 25 年度教育委員会予算要求について 【報告事項】 ・石狩市文化財保護審議会での審議状況等について 【その他】

	・平成 24 年度全国学力・学習状況調査について ・市内公共施設等の建造物損壊被害について
24. 12. 21	【議案】 ・平成 24 年度石狩市教育委員会表彰受賞者の決定について（非公開） 【協議事項】 ・平成 24 年度全国学力・学習状況調査結果について 【報告事項】 ・平成 24 年度石狩市教職員研修「ウィンターセミナー」について ・厚田区の学校のあり方について ・教職員給与費の適正執行等に関する調査の結果について ・星置養護学校の高等部移設等について 【その他】 ・市民図書館に関する情報提供について
25. 1. 25	【報告事項】 ・平成 24 年度石狩市・恩納村中学生交流事業について ・平成 24 年度石狩市教職員研修「ウィンターセミナー」実施報告について ・平成 24 年度全国学力・学習状況調査結果の公表について ・浜益区における暴風雪による教育施設の被害について ・「石狩八幡神社の手水鉢」の市指定文化財指定について（経過） 【その他】 ・厚田区の学校検討会について ・体罰の防止について
25. 2. 13	【議案】 ・石狩市奨学金支給条例施行規則の一部改正について ・平成 24 年度一般会計補正予算（第 5 号補正）について ・平成 25 年度教育行政執行方針について ・平成 25 年度一般会計予算について ・教職員の処分の内申について 【報告事項】 ・平成 24 年度いじめ実態把握調査結果について ・体罰に係る実態把握について ・平成 24 年度花川南小学校における「あい風寺子屋教室」実施状況について 【その他】 ・第 25 回石狩市公民館まつりについて ・不審者に関する状況等について ・石狩市教育委員会表彰受章者特別展示について
25. 3. 12 (臨時)	【議案】 ・石狩市立小中学校の教職員人事異動に係る内申について
25. 3. 21 (臨時)	【議案】 ・教育委員会職員の人事異動について
25. 3. 28	【議案】 ・招致外国青年就業規則の一部改正について ・石狩市立学校管理規則の一部改正について ・奨学金の休止について ・市指定文化財の指定について ・石狩市文化財保護審議会からの答申について（報告） ・教職員の処分について（報告） 【協議事項】 ・教育委員会会議における委員提案について 【報告事項】 ・石狩市教育情報化推進検討委員会からの提言について ・平成 24 年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について ・学力向上の取組（第 3 期）について ・平成 24 年度学校巡回及び教育相談の実施状況について ・平成 25 年度石狩市いじめ対応における「指導の方針」について

(3) 教育委員会会議以外の活動状況

教育委員は、教育委員会会議の出席以外に教育関係機関の会議や研修、関連行事への出席などの公務や教育現場への訪問・視察など実態把握を行っています。

また、教育委員会は、市長部局から独立した中立的・専門的な機関ですが、効果的・効率的な行政運営を行うため、市長と教育委員の協議、意見交換などを積極的に行っています。

なお、関係する審議会などとの密接な連携も図っており、平成 24 年度においては石狩市文化財保護審議会の答申を踏まえ、より良い郷土資料の保存展示のあり方など、同審議会委員と積極的な意見交換を行いました。今後も、地域の教育課題を市民、各種委員等と共有できるような場の充実を図ります。

=== 石狩市教育委員会外部評価委員会の意見(前年度) =====

石狩市民図書館協議会との意見交換など、関係する審議会などとの密接な連携は、事業を充実させる上で大切なことであり、評価できる。各種審議会等との幅広い意見交換を行い、地域の教育課題について共有することについては、継続的に行うことを期待する。

=====

その他にも、教育委員間の打合せや事務局職員からの報告・相談への対応及び情報交換など、教育行政や教育委員会会議運営に関わる調整活動も行っています。

平成 24 年度の主な活動は、次のとおりです。

① 各種関係機関等への出席・意見交換や研修活動

北海道都市教育委員会連絡協議会、石狩管内教育委員会協議会の会議や研修会に出席し、文教施策に関わる審議や情報交換等を行っています。また、市議会への出席や、校長会や各種審議会等との意見交換等を行い、市の教育行政推進に努めています。

- ・石狩管内教育委員会協議会
総会、各部会（4 月）、研修会、委員交流会、臨時総会（10 月）
- ・市議会本会議 定例会（6、9、11、2 月） 臨時会（5 月）
- ・新任校長との交流研修会（6 月）
- ・単 P 会長・市教委交流会（7 月）
- ・教育委員研修（当別町）（7 月）
- ・北海道都市教育委員会連絡協議会定例総会等（8 月）
- ・市長と教育委員の懇談（12 月 外年数回）
- ・市町村教育委員会新任委員研修会（2 月）
- ・石狩市文化財保護審議会委員との意見交換会（3 月）

② 教育現場の実態把握等（学校訪問・視察等）

入学式や卒業式のほか、実態把握を目的とした学校訪問、視察等を行っています。また、社会教育施設や各種事業を視察するなどして、実態把握に努めました。

- ・小中学校入学式（4 月）
- ・運動会・体育祭（6 月）
- ・フューチャースクール事業公開研究会 視察（11 月）
- ・厚田小学校図書館 視察（12 月）
- ・成人式（1 月）
- ・教育関連施設視察（緑苑台小、砂丘の風資料館）（1 月）
- ・小中学校卒業式（3 月）

③ 各種行事・事業への参加等

市民スポーツまつり、ユネスコ協会事業、文化団体事業など市内のスポーツ・文化関係団体等の教育全般にかかる各種事業や、その他の事業等に参加し、広く自己研鑽に努めています。

- ・石狩まるごとフェスタ 2012（8月）
- ・石川県輪島市友好都市提携調印式（8月）
- ・市民スポーツまつり（9月）
- ・科学の祭典 in 石狩（9月）
- ・石狩さけまつり、厚田ふるさとあきあじ祭り、浜益ふるさとまつり（9月）
- ・小樽山博文学を読む会 10 周年記念講演会（10 月）
- ・ユネスコ絵画展表彰式（10 月）
- ・北海道都市問題会議（10 月）
- ・石狩市社会福祉大会（11 月）
- ・石狩大谷子供劇団「碧い海」第 17 回公演「新・猫の島のお客様」（12 月）
- ・沖縄県恩納村生徒交流歓迎式等（2 月）
- ・東日本大震災追悼「忘れない！3.11」（3 月）

④ その他の教育行政の運営に関する諸活動

- ・教育関連機関（行政機関を含む）等への要請、調整活動等
- ・教育行政に係る各種団体等との意見交換活動等

⑤ 市民、団体等との意見交換の場への参加

上記のような多様な公務活動のほか、市民への様々な情報発信、市民や関係団体との情報、意見交換も求められており、体育協会、文化協会、青年会議所など各種団体の会合や行事にも積極的に参加しているほか、委員自らが自主的な活動を通じて、教育現場の実態把握や、自己研鑽にも努めています。

- ・石狩美術協会オープニングパーティ（11 月）
- ・石狩市新年交礼会（1 月）
- ・石狩青年会議所新春交礼会（1 月）
- ・石狩市文化協会新年交流会（1 月）
- ・その他各種団体の会合や行事など

2 教育に関する事業の点検及び評価

教育に関する事業の点検・評価について、石狩市教育委員会は、教育プランの施策体系に基づく施策（大項目）ごとに取組状況を点検し、分析・評価を行っています。また、施策ごとに「石狩市教育委員会外部評価委員会」から、評価・意見・助言などをいただくこととしています。

また、本市の平成 24 年度実施事業の評価は、各課による 1 次評価の後、評価対象事業※の全部についてパブリックコメントによる意見等を踏まえて、2 次評価（最終評価）が行われています。本市の教育に関する事業については、事業評価を点検・評価の一環と位置付けて行っているところであり、本報告書では、平成 24 年度の評価対象事業 55 事業の内、主要な 30 事業を教育プランの施策体系と対応するよう抽出し、掲載しています。

※ 全事業のうち、評価対象外事業（法定受託事務や既に廃止された事業など、評価対象として相応でない事業）を除いたもの。

（1）施策別の取組状況、分析・評価及び今後の方向性（一覧）

石狩市教育委員会では、教育プランの施策体系に基づく施策（大項目）ごとに取組状況を点検し、分析・評価を行い、今後の方向性を検討しています。詳細は 10 ページから 51 ページまでのとおりです。該当するページを参照してください。

基 本 構 想	施 策 （ 大 項 目 ）	詳 細 ページ
重点テーマ 1 自ら学ぶ意欲を育てる教育	1 生きる力につながる確かな学力を育む教育の充実	10
	2 一人ひとりを大切にした教育活動の充実	14
	3 独自性が発揮できる魅力ある学校づくりの推進	16
	4 学校教育を推進する環境の充実	20
重点テーマ 2 思いやりと豊かな心・健やかな体を育む教育	5 豊かな人間性と感性を育む教育の推進	24
	6 心身の健やかな成長を促す教育の推進	31
重点テーマ 3 地域で育ち・学び・活かす教育	7 次代を担う子どもたちの健やかな育ちの支援	36
	8 地域づくりに活かされる生涯学習環境の充実	39
	9 学習拠点としての図書館サービスの充実	43
	10 石狩文化の活用による自主的・主体的活動の支援	46
	11 ふるさとを学び伝える取組の充実	49

(2) 主要事業の内容（一覧）

平成 24 年度の教育に関する事業のうち、事業評価を行った主要な事業は次のとおりです。詳細は 52 ページから 111 ページまでのとおりですので、該当するページを参照してください。

事業名	新規・継続	詳細ページ
1 学力向上推進事業	継続	52
2 外部指導者活用事業	継続	54
3 英語指導助手招致事業	継続	56
4 学校図書館充実事業	新規	58
5 特別支援教育運営事業	継続	60
6 スクールカウンセラー設置事業	継続	62
7 不登校児童生徒支援事業	継続	64
8 奨励プログラム推進事業	継続	66
9 石狩市教職員研修事業	継続	68
10 教育情報化整備事業	継続	70
11 小中学校施設整備事業	継続	72
12 奨学金支給事業	継続	74
13 学校給食事業	継続	76
14 芸術鑑賞会開催事業	継続	78
15 子どもの読書推進事業	継続	80

事業名	新規・継続	詳細ページ
16 沖縄県恩納村交流事業	継続	82
17 生徒指導上の諸問題対策事業	継続	84
18 体力・運動能力向上推進事業	継続	86
19 子どもへの暴力防止プログラム事業	継続	88
20 家庭教育支援事業	継続	90
21 石狩市PTA連合会運営支援事業	継続	92
22 生涯学習講座開催事業	継続	94
23 公民館管理運営事業	継続	96
24 学び交流センター管理運営事業	継続	98
25 成人式開催事業	継続	100
26 図書館運営事業	継続	102
27 石狩市文化協会運営支援事業	継続	104
28 芸術文化振興奨励事業	継続	106
29 文化財情報発信事業	継続	108
30 郷土研究会運営支援事業	継続	110

※ 新規・継続の欄について、新規とは、当該年度において新たに取り組む事業として、本市の事業評価において事業評価シートが新規に作成された事業であることを表しています。また、継続とは、当該年度以前に既に取り組んでいる事業であり、当該年度以前に事業評価シートが作成されている事業であることを表しています。

教育プラン基本構想 重点テーマ1 自ら学ぶ意欲を育てる教育

施策（大項目）1 生きる力につながる確かな学力を育む教育の充実

●大項目のねらい

子どもたちに自ら学び自ら考え行動する力などの「確かな学力」を育むため、創意ある教育課程の編成・実施、学習指導の工夫・改善等を通じて、子どもたちの学ぶ意欲を高め、「わかる授業」を目指した積極的な授業・指導内容の改善や「楽しい学校」づくりに向けた、学校の主体的な教育活動を推進します。

●平成24年度の実施状況

確かな学力を育む教育活動の推進

- ・ 市教委では、学力の定着を図るため、オール北海道で目指す目標へのロードマップ（全国学力・学習状況調査において平均正答率を平成26年度までに全国平均以上とすることを目標にした、期間毎の集中的、段階的な取組）を踏まえ取組を進めました。C R T 標準学力検査の実施において、傾向を詳細に分析し、各学校の取組に関する指導・助言・相談を実施したほか、市内小中学校学力向上対策拡大チームにおいて、数値目標の設定、宿題や長期休業中の課題の与え方、授業内容の改善について議論し、学校に改善を促すとともに、夏休み・冬休み・春休み帳の作成・配付を促しました。また、授業改善に直結する教職員セミナーを実施しました。
- ・ 各学校（小学校13校、中学校8校）では、全国学力・学習状況調査やC R T 標準学力検査の分析結果を踏まえた学校改善プランによる授業改善、朝読書や放課後学習など授業時間以外の補足的指導、長期休業中の学習会を実施したほか、時間の目安や具体的な内容方法を盛り込んだ家庭学習の手引きを作成・配付し、児童・生徒・家庭へ、家庭学習習慣の定着を図る働きかけをしました。
- ・ 学校への人的支援としては、S A T（大学生などによる学習指導補助）配置のほか、学力向上サポーター（元教職員による補助指導）を、生振小学校、南線小学校、緑苑台小学校に配置し、国語、算数のT T（複数の教職員等が協力して授業を行う指導方法）や教材づくりなどの支援を行いました。
- ・ よりきめ細やかな学習支援のモデル事業として、退職教員を非常勤補助教員として配置した「エキスパート・サポーター事業」を双葉小学校で実施し、全学年全学級の算数の授業でT T、習熟度別指導を行い、更に学年毎の課題に対応した重点指導、補充指導を行いました。
- ・ 道教委の外部指導者活用事業や教職員加配などを活用し、T T 授業や放課後学習で指導にあたる人材を派遣し、習熟度別指導・少人数指導、補充指導の充実を図りました。

外部指導者及び加配教員配置数

区 分	H21	H22	H23	H24
S A T	50 名（15 校）	30 名（10 校）	41 名（10 校）	47 名（10 校）
学力向上サポーター （21 年度スーパー S A T）	4 名（4 校） 延べ約 1,400 時間	4 名（4 校） 延べ 1,824 時間	4 名（4 校） 延べ 981 時間	3 名（3 校） 延べ 1,300 時間
エキスパート・サポーター	—	2 名（1 校）	2 名（1 校）	2 名（1 校）
加配教員	25 名（14 校）	32 名（14 校）	36 名（14 校）	44 名（15 校）
その他道費外部指導者	4 名（3 校）	10 名（10 校）	12 名（11 校）	9 名（9 校）

重点テーマ１ 施策（大項目）１

- ・ 学校教育のＩＣＴ化については、総務省が実施する「フューチャースクール推進事業」対象校に紅南小学校が選定（平成 22 年度から 3 年間）され、タブレットＰＣ、校内無線ＬＡＮ、電子黒板等の機器整備やＩＣＴ協働教育の実践が図られ、浜益小学校においても、タブレットＰＣ、校内無線ＬＡＮ、電子黒板等の機器整備を市独自事業として行っています。
また、平成 23 年度から平成 24 年度にかけて「石狩市教育情報化推進検討委員会」を開催し、同委員会からの提言を踏まえ、本市の教育情報化の方針（「石狩市教育情報化の推進に向けて」H25.3）を定めました。
- ・ 英語指導などの充実については、新学習指導要領への対応とともに、平成 24 年度は、ＡＬＴ（外国語指導助手）を 1 名増員（合計 4 名）し、市の独自施策である小学校 3・4 年生の外国語活動を試行実施しました。
- ・ 学校図書館の蔵書については、学校図書館等整備方針に基づき、魅力があり活用される資料となるよう、図書の購入とあわせ適切な廃棄を行っているところですが、平成 24 年度は補正予算を計上し追加購入を行い、全小中学校の学校図書標準達成を一つの目安とし、効果的な蔵書整備を図りました。
- ・ 学校司書（H22 双葉小、H23 南線小に各 1 名配置済み）については、新たに緑苑台小学校に 1 名配置し、また、未配置校については巡回文庫（ブックンボックス）の活用により読書に親しむ機会の充実を図るなど、読書環境を整備しました。

巡回文庫（ブックンボックス）の状況

区 分	H21	H22	H23	H24
購入冊数（点）	—	7,605	10,270	11,865
実施学校数	小 12 中 2	小 12 中 1	小 12 中 3	小 13 中 3
実施学級数	小 89 中 6	小 117 中 12	小 138 中 19	小 150 中 19

- ・ 学校図書館活性化事業については、八幡小への分館職員派遣（週 2 回）や花川小学校図書館の校内移転や、厚田小学校図書館（愛称「あいかぜとしょかん」平成 24 年 12 月 10 日オープン）に分館機能を移転して地域開放事業を行ったほか、引き続き、各校の選書・廃棄を支援しました。また、小中学校の図書担当教諭や学校司書を対象とした研修や、各校の学校図書館ボランティア団体へブックコートかけの出前講習会を実施するなど、学校図書館運営に対する支援を行いました。

【関連する主要事業】事業評価シートを参照

学力向上推進事業・外部指導者活用事業・英語指導助手招致事業・学校図書館充実事業・子どもの読書推進事業

=== 石狩市教育委員会外部評価委員会の意見（前年度）大項目 1 について =====

新学習指導要領の小学校全面実施に対応し、ＡＬＴの増員を行い、生きた英語に触れる機会を創出したこと、また、学習支援のモデル事業として、ＴＴ指導や習熟度別指導等を行っていることは、児童生徒の学力向上への取組として評価できる。

「確かな学力」の定着に向け、継続して学習指導の工夫改善に努めることを期待する。また、ＳＡＴの活用、学校図書館との連携、小学校 3・4 年生への生きた英語教育推進、ＩＣＴの推進等により、さまざまな取組みが積極的に行われているが、常にその内容を確認し、よりよい教育へ向けた支援を図ることを期待する。

=====

●分析・評価及び今後の方向性

【成果指標】

確かな学力を育む教育活動の推進

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
CRT標準学力検査において、「全観点評定1」の児童の割合（小学校5年国語）	%	—	11	14	13		↘
同上、生徒の割合（中学校2年国語）	%	—	2	1	1		↘
CRT標準学力検査において、「全観点評定1」の児童の割合（小学校5年算数）	%	—	22	28	25		↘
同上、生徒の割合（中学校2年数学）	%	—	14	7	10		↘

※全観点評定では、評定１とは、「努力を要する」、評定２は「概ね満足」、評定３は「十分満足」を指します。

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H19	H22	H23	H24	H26	
国の図書整備指針による学校図書館図書標準が達成されている小学校数	校	5	2	2	0		↗
国の図書整備指針による学校図書館図書標準が達成されている中学校数	校	1	3	2	2		↗

【分析・評価及び今後の方向性】

確かな学力を育む教育活動の推進

- ・ 道教委は、平成 26 年度の全国学力・学習状況調査までに学力を全国平均以上にすることを大きな目標として掲げ、その実現に向けてオール北海道で目指す目標へのロードマップを設定して取り組んでいます。市教委においては、これらを踏まえ積極的に取り組んでいます。新たな目標などについては引き続き、検討を進めます。
- ・ 確かな学力の定着に向けた各学校の取組や市教委の支援は、継続的な実施が必要であることから、平成 25 年度以降も学力向上アクションプランや学校改善プランを通して、積極的に推進します。具体的には、ノート指導や学習規律の徹底、チャレンジテスト（道教委作成）の積極的活用、少人数指導や習熟度別指導の推進に取り組むなど、特に、「わかる・楽しい授業」の推進や授業と補充的指導・家庭学習を連続させることにより、学習効果を高めるよう各学校に働きかけます。更に、基礎基本を活用する力を育む必要がありますので、新聞や学校図書などを活用して、調べ学習と発表などを組み合わせた授業などの取組を推進します。
- ・ 家庭学習習慣の定着のためには、家庭の理解や基本的な生活習慣の確立が必要であることから、引き続き、家庭学習の手引きなどを活用した家庭学習の推進や「生活リズムチェックシート」の活用による生活習慣の定着に向けた啓発の取組を、市PTA連合会と連携しながら推進します。
また、ボランティアや退職教員など地域の教育力を活用し、補充学習等による基礎学力の向上と学習習慣の定着へ向

重点テーマ１ 施策（大項目） １

けて、学校支援地域本部事業やあい風寺子屋事業を推進します。

- ・ 学校教育のＩＣＴ化については、授業に効果的で即活用できる書画カメラを、平成 25 年度に全普通教室への配置を目指すほか、学校のコンピュータ教室のパソコン更新時期に合わせた計画的なＰＣモバイル化や校内無線ＬＡＮ化、ＩＣＴ支援員を活用した効果的な支援体制の構築など、本市の教育情報化の方針に基づき推進します。
- ・ 「エキスパート・サポーター事業」については、モデル事業の検証を踏まえ、児童の理解力向上など一定の効果があったことから、今後は、その効果が最大限に見込まれる大規模校で実施します。
- ・ 外部指導者については、安定的な活用や人材確保などの課題もありますので、今後、教員免許を持つ人材などを中心に学校の改善プラン実践に連動した人材の派遣を進めます。
- ・ 英語指導などの充実については、ＡＬＴ 4 名の内 2 名を小学校専属として配置し、平成 25 年度において、市の独自施策である小学校 3・4 年生の外国語活動の全校実施を推進し、生きた英語に触れる機会を提供します。
- ・ 学校図書館の蔵書については、引き続き効果的な整備を図ります。また、学校司書については、平成 25 年度において花川南小学校に 1 名配置し、あわせて緑苑台小学校・花川南小学校の資料情報を図書館とオンラインネットワーク化し、司書未配置校については引き続き巡回文庫（ブックンボックス）を活用するなど、読書環境を整備します。
- ・ 学校司書や小中学校の図書担当教諭、地域ボランティアを対象とした研修や情報交換を引き続き行います。また、「あいかぜとしょかん」においては、キャラクターの募集や読み聞かせコンサートなどを行い地域開放事業をＰＲし利用促進を図り、浜益小学校・浜益中学校においては、分館職員が中心となって支援を行うなど、学校図書館等整備方針に基づき、学校図書館の充実を図ります。

施策（大項目）２	一人ひとりを大切にした教育活動の充実
----------	--------------------

●大項目のねらい

障がいのあるなしにかかわらず、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細やかな教育を行うため、石狩市教育支援センターを設置するとともに、特別支援教育の取組の環境整備を推進します。

●平成２４年度の取組状況

特別支援教育の推進

- ・ 石狩市教育支援センターは、不登校・いじめ対応などに関わるスタッフの一層の連携を図り、また、特別支援教育担当に、臨床発達心理士の資格を持つ教員を新たに採用するなど、児童生徒・保護者及び教職員への相談・支援体制を充実し、よりきめ細かい対応に努めました。
- ・ 特別支援教育の推進にあたっては、市内小中学校における特別支援教育コーディネーター、学校の実態に合わせた地域コーディネーター（特別支援教育担当）、特別支援教育支援員等の配置など体制を整備し、星置養護学校などの特別支援学校との連携を図りながら、児童生徒とその保護者の支援に努めました。
- ・ 特別支援教育支援員については、平成２３年度から１０名の増員を図り、２１名体制にしました。

特別支援教育関連スタッフの状況

区 分	H21	H22	H23	H24
地域コーディネーター (特別支援教育担当)	７名	６名 ※２	５名 ※４	５名 ※６
特別支援教育支援員	８名	１１名 ※３	２１名 ※５	２１名 ※５
市特別支援教育コーディネーター	５名 ※１	５名 ※１	５名 ※１	３名 ※７

※１ 小中教諭３、言語聴覚士１、保育士１

※２ 花川小１、南線小２、花川南小１、紅南小１、教育支援センター１

※３ 石狩小１、花川小１、花川南小３、紅南小３、緑苑台小３

※４ 花川小１、南線小１、紅南小１、双葉小１、教育支援センター１

※５ 石狩小１、花川小２、南線小５名、花川南小４、紅南小４、緑苑台小３、双葉小２

※６ 南線小２、紅南小１、双葉小１、教育支援センター１

※７ 小中教諭２、言語聴覚士１

【関連する主要事業】事業評価シートを参照

特別支援教育運営事業、スクールカウンセラー設置事業、不登校児童生徒支援事業

=== 石狩市教育委員会外部評価委員会の意見（前年度）大項目２について =====

星置養護学校石狩紅葉山校舎が開設されたことは、子ども達の支援の充実のために重要であり、また、特別支援教育へのニーズ拡大に対し、特別支援教育支援員を増員するなど、積極的かつ適切に対処しており、評価できる。

教職員研修などでの特別支援教育関連講座の充実を図るとともに、特別支援教育支援員の更なる活用などの取組の充実を期待する。

=====

●分析・評価及び今後の方向性

【成果指標】

特別支援教育の推進

指標の名称	単位	プラン掲載 実績	実績値			目標値
		H20	H22	H23	H24	H26
市主催教職員研修において、特別支援教育関連講座に参加した小中学校数	校	16	20	19	21	21

【分析・評価及び今後の方向性】

特別支援教育の推進

- 石狩市教育支援センターでは、スタッフの集中化や連携体制の強化により、きめ細やかな支援を図りましたが、スタッフ数は必ずしも十分でないことから、今後は、地域コーディネーター（特別支援教育担当）の配置もあわせて検討し、業務分担等の工夫を図りながら支援をします。
特別支援教育支援員の配置については、各小学校の１学年を中心に配置することが、学級の支援に極めて有効であることから、引き続き支援の充実が図られるよう取り組みます。
特別支援教育関連講座（市主催の教職員研修）については、市内全校（21校）から教職員が参加しました。引き続き市内全校が参加されるように、理解・啓発事業に取り組みます。
- 特別支援教育については、身近な地域で障がいのある子ども一人ひとりの教育ニーズに応じた、専門性の高い指導・支援が受けられる体制が求められていた中で、平成23年度に星置養護学校石狩紅葉山校舎（小学部・中学部）が開設され、児童生徒や保護者をはじめ、関係者の念願が実現しました。なお、星置養護学校高等部については、閉校となった札幌稲西高校に平成26年度に移設予定であることから、高等部への進学環境について、関係団体等と情報交換をしていきます。

施策（大項目）３ 独自性が発揮できる魅力ある学校づくりの推進

●大項目のねらい

現在の学校教育が抱える課題の多くは、学校のみならず地域社会と一体となって解決することが求められています。そのような課題に対して、教職員が一体となり、地域とともに魅力ある学校づくりを進める学校独自の取組の充実を推進します。

●平成24年度の取組状況

教職員の主体的な研究・研修活動の推進

- ・ 石狩市教職員サマーセミナーについては、7月31日、8月1日、2日、7日、8日の5日間の日程で実施し、計12講座で延べ456人の教職員が参加しました。（実人数は367人の参加）
例年実施している特別支援教育に関する講座に加え、小中学校の体育の授業での安全指導や学校と保護者の向き合い方に関する講座など、内容の充実に努めました。
なお、実施にあたっては、東日本大震災からの防災意識の向上や今日におけるケータイとネット事情など日々変化している出来事をテーマとした講座のほか、先生のためのコーチングスキル（児童生徒との双方向のコミュニケーション）など、現場で実践しやすいものを重点的に選定しました。更に、ICTを活用した授業づくりに関連して書画カメラの有効な活用方法について研修を実施しました。ミニトマト収穫体験（食育）や地元の石狩湾新港を学ぶ（地域研修）など参加しやすく、総合学習にも生かせるよう、テーマの設定に工夫を凝らしました。
また、教員歴10年未満の教員を対象に1月11日に「ウィンターセミナー」を開催しました。崩壊しない学級づくりと日常授業の改善に向けた専門的な知識や実践力を養うために講演形式の研修を実施し、小中学校あわせて67人の教員が参加しました。（石狩市の教職員数 H21：385人 H22：395人 H23：410人 H24：425人）
- ・ ICT教育にかかる教職員研修については、サマーセミナーでの研修に加え、1月24日に書画カメラの活用のさらなる広がりを目指し、初心者向けの研修を実施し、51人の教員が参加しました。
- ・ 石狩市教育振興会は、専門部会や特別委員会の研修会・石教振学校課題研究発表会・小学校社会科副読本の研究・教育課程編成や各校通知票及び評価方法の検討・進路指導の研究・生徒指導の研究・創意工夫展・市内小学校文集の製作・教育機器の研究・へき地教育の研究・小中学校図工作品展・中文連行事など、石狩市の学校教育の振興を図る活動を行っており、その経費の一部を助成しました。

教育課題に積極的に挑戦する学校づくりの推進

- ・ 学校力向上については、道教委の「学校力向上に関する総合実践事業」（教職員の加配などを活かし、学校組織全体で学力保障や研修の充実による教員育成などへ取り組む事業）を活用し、花川小学校を中心とした近隣4小学校（花川小・双葉小・紅南小・緑苑台小）が協働で、学校を取り巻く様々な教育課題に積極的に取り組みました。
- ・ 市内統一フォーマットによる学校改善プランの作成と、それに基づいた実践を通し、学校運営の改善を推進するとともに、学校自己評価・関係者評価などにおいても学校運営を検証しました。また、市教委によるヒアリングでも、目標設定の適切さや実施状況を確認するとともに、積極的な学校運営の改善を促しました。
- ・ 【関連 P25】各学校で特色ある教育活動に加え、「環境教育・人権教育・平和教育・国際理解教育」を「奨励プログラム」に位置づけ、総合的な学習の時間などで実践できるよう推進し、全ての小中学校（小学校13校、中学校8校、

重点テーマ１ 施策（大項目）３

合計 21 校）で取組が行われました。

（平成 24 年度奨励プログラム実施校数 環境教育 18 校、人権教育 10 校、平和教育 7 校、国際理解教育 17 校）

- ・ 幼・保・小・中連携教育については、平成 18 年度から中学校区ごとに連携した取組を進めていますが、平成 24 年度については、「３つの重点テーマ」として「進学への不安を取り除き、早く学校生活に慣れさせるための取組」（中 1 ギャップ対策）、「園児が学校生活への順応をスムーズに図られるための取組」（小 1 プロブレム対応）及び「学びの連続を高め、学力の向上を促進させるための取組」（学力向上対策）を推進するため様々な取組を行いました。特に、小中間での C R T 標準学力検査結果の共有、中学校による小学校 6 年生に向けた春休み学習帳の作成・配付、小学生への部活動公開、中学校教員の小学校への出前授業は全中学校区で行いました。
- ・ 学校間の情報や教育情報の交換については、学校教育推進会議（４月）を開催したほか、石狩市教育振興会の各種会議や校長会などで促進されました。

地域とともに歩む学校づくりの推進

- ・ 学校評価結果や教育活動の状況については、平成 24 年度は、月 1 回以上の学校ホームページ更新を指導し、保護者などに広く情報提供しました。
- ・ 【関連 P36】学校と家庭や地域の団体などが連携し、地域のボランティアを中心に登下校時などにパトロールや見守りなどを行う「スクールガード」、「声かけ運動」の活動などを通して、地域全体で学校安全に取り組む体制を整備し、子どもたちが安心して生活できる地域づくりを図りました。（平成 24 年度 実施学校数 11 校、ボランティア数 600 名程度）平成 24 年度は、同一人物によると思われる事件が多発したことから、地域への働きかけの強化を行うとともに、市教委と関係機関の職員による合同パトロールも実施しました。
- ・ 【関連 P37】地域住民の学校教育活動への参加の取組としては、地域 S A T（11 名）や中学校部活動外部指導者（6 名）のほか、学校支援地域本部事業では、紅南小学校、双葉小学校、花川小学校、緑苑台小学校、花川北中学校、花川中学校において、漢字や九九検定の支援、家庭科ミシン・裁縫、体育科水泳・スキー学習、図書整理作業支援などの活動、また、花川南小学校において、あい風寺子屋事業として放課後の児童の居場所づくりや学習支援、様々な伝統文化などの体験を支援する活動が行われ、学校支援地域ボランティア（延べ 647 名）等による学校支援の充実に取り組みしました。
- ・ 厚田区の子どもたちに、ハード・ソフト両面からより良い学校を残すために、過去の経緯を含め現状を認識し将来に向けて厚田区全体で考える必要があることから、厚田区各校の P T A を主体に厚田区学校検討会を計 6 回開催しました。

【関連する主要事業】事業評価シートを参照

奨励プログラム推進事業・石狩市教職員研修事業・外部指導者活用事業・生徒指導上の諸問題対策事業

=== 石狩市教育委員会外部評価委員会の意見（前年度）大項目 3 について =====
教職員研修に参加した割合が高くなっていること、学校ホームページの開設校が大幅に増加していること、また、学校奨励プログラムへの積極的な取組は評価できる。

教職員研修は重要なことから、今後とも、I C T 研修など、時宜を得た適切な研修を持つことにより、参加率が向上することを期待する。また、学校ホームページについては、今後は、情報の質の一層の向上に取り組まれることを期待する。

厚田区・浜益区などでは、部活動等のスポーツ機会への配慮も含め、より良好な教育環境づくりへの配慮を期待する。

●分析・評価及び今後の方向性

【成果指標】

教職員の主体的な研究・研修活動の推進

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
小中学校全教職員のうち、市主催の教職員研修に参加した割合	%	71	71	75	86	80	

教育課題に積極的に挑戦する学校づくりの推進

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
「奨励プログラム」に取り組んだ小中学校数	校	12	19	20	21	21	

地域とともに歩む学校づくりの推進

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
教育活動の情報について、ホームページを開設して情報提供している小学校の割合	%	50.0	100	100	100	100	
教育活動の情報について、ホームページを開設して情報提供している中学校の割合	%	37.5	100	100	100	100	

【分析・評価及び今後の方向性】

教職員の主体的な研究・研修活動の推進

- ・ 石狩市教職員サマーセミナーについては、特別支援教育、ＩＣＴ機器の利活用、コーチングスキルなど、今日的な教育課題に即した講座を実施していますが、今後においても、英語教育指導方法やアレルギーを抱える子どもへの対応をテーマとする研修を行うなど、今日的な教育課題に的確に対応できるよう研修の充実に取り組みます。
- ・ 石狩市教育振興会は、教員の研修や児童生徒の発表などを通し、また、石狩管内教育研究会と連携を密にし、効果的に本市の学校教育の振興を図っていることから、継続して支援を行います。

教育課題に積極的に挑戦する学校づくりの推進

- ・ 「学校力向上に関する総合実践事業」については、花川小学校を中心とした近隣４小学校に、新たに花川中学校 1 校を加えて取り組み、今後は、その成果を市内全校に波及させながら、包括的な学校改善を推進します。
- ・ 【関連 P29】奨励プログラムについては、今後も限られた総合学習の時間の中で学校の特色ある教育活動とのバランスをとりつつ、交付金の配分などを考慮しながら、引き続き全校で積極的な取組が図られるよう推進します。

重点テーマ１ 施策（大項目）３

- ・ 幼・保・小・中連携教育の推進については、中学校区ごとの独自の取組に加え、市教委が提示した「３つの重点テーマ」を意識した活動が進められましたが、平成 25 年度においては、より学力向上に資する取組として、「入学前の丁寧な引き継ぎ」（幼保小連携・小中連携）、「家庭学習の手引き」・「学習規律」・「CRT 検査等の学力情報」（小中連携）や「春休み学習帳（中学入学準備）」（小中連携）の取組を推進します。
- ・ 学校間の情報交換の場については、学校教育推進会議などの各種会議のほか、学校便り・学校ホームページの情報活用も含め、継続的に推進します。

地域とともに歩む学校づくりの推進

- ・ 学校ホームページについては、必要な情報を迅速かつ的確に提供するように、引き続き、最低月 1 回以上のホームページ更新を目標とし、学校評価における保護者・地域の意見を基に改善を図るよう働きかけます。
- ・ 【関連 P38】「スクールガード」・「声かけ運動」については、登下校時など学校や子どもたちだけで身を守ることに限界もあり、地域の子どもたちは地域で育て、守り、子どもたちが安心して生活できる環境を整えることが必要です。引き続き、学校と地域、市教委及び関係機関が一体となって子どもたちを見守っていけるよう連携を深めていきます。
- ・ 【関連 P38】市内にある藤女子大学の学生や地域の方々による SAT 活動、読み聞かせ活動、中学校部活動指導などについては地域の教育力を活用した有効的な手段であることから、今後も積極的に展開します。
また、学校支援地域ボランティアは、学校ニーズの掘り起こしと地域との連携が深められたことにより増加しており、あい風寺子屋事業や放課後こども教室を活用した放課後の学習支援などの様々な取組についても保護者の方々から大きな期待が寄せられていることから、平成 25 年度には学校支援地域本部事業の対象校を花川地区全校に拡大を図るなど、地域とともに学校支援の充実に向けて取り組みます。
なお、特に児童生徒に接するボランティアに対しては、事前に心構え等のレクチャーを行っていますが、一層の資質向上のための検討を行います。
- ・ 厚田区の子どもたちに、ハード・ソフト両面からより良い学校を残すために、引き続き、厚田区地域協議会など地域の方々と検討を進めます。

施策（大項目）４ 学校教育を推進する環境の充実

●大項目のねらい

児童生徒が多くの時間を過ごす学校の環境は、子どもの健全な成長にとって大きな影響を与えます。少子高齢化等の影響により、学校を取り巻く環境が大きく変化してきていると同時に、学校の安全安心の重要性がクローズアップされており、これらに対応する必要があります。そのような中、子どもたちが安心して楽しく学べるような良好な環境の中で学習することができるよう、学校教育にかかわる環境整備を進めます。

●平成２４年度の実施状況

学校施設・設備の整備・充実

- ・ 学校施設改修については、厚田小学校図書室、花川南小学校屋体暖房機、花川南中学校電気暖房中央制御盤及び電気暖房機、石狩小学校屋体軒天、花川小学校外３校暖房用地下油タンク油面計、石狩中学校屋体改修工事を行い、教育環境の整備を図りました。
- ・ 小学校４校、中学校４校の教育用パソコンの更新を行うとともに、教職員用パソコン（平成２１年度に全教職員分を配置）については、教職員の増員分を配置しました。
- ・ 車両更新スケジュールに基づき、スクールバス（マイクロ２９人乗り）１台を更新しました。

安全な学校づくりを目指した環境の整備

- ・ 聚富小中屋体・石狩中屋体の耐震補強工事を実施したほか、石狩中校舎棟の非常用階段改修を行いました。また、花川小外６校及び花川中４校に防犯カメラ設置工事を行いました。
- ・ 学校情報セキュリティ委員会を中心に、学校情報セキュリティマニュアルの各学校における適切な運用を推進しました。
- ・ 火災、地震に対する避難訓練は全ての小中学校で実施し、その内、津波に対する避難訓練は、小学校では１３校中１１校、中学校では８校中５校実施しました。また、不審者対応訓練は、小学校では１３校中１１校、中学校では８校中５校実施しました。

就学に関する経済的な支援の充実

- ・ 児童生徒等が安心して学習活動ができるよう、各種制度に基づき、要保護・準要保護就学援助（１,５５６人）・奨学金（５４人）・特別支援教育就学奨励金（６１人）を支給し、経済的支援を行いました。
- また、就学援助については、新たにＰＴＡ会費を援助項目に追加し、制度の充実を図りました。

安全・安心な学校給食の充実

- ・ 給食用の温食缶等の購入など食器具の充実を図りました。

重点テーマ１ 施策（大項目）４

- 給食施設の改修等については、第２給食センターでは冷凍庫を修繕し、厚田給食センターでは蒸し器、食器食缶トレイ兼用洗浄機の更新と、老朽化した厨房地下の蒸気管の修繕を行うなど、より衛生的な調理環境となるよう整備を図りました。
- 【関連P32】給食メニューについては、地場産物を多く使用した献立の「いしかりデー」において、平成24年度に初めてとなる「フライド長いも」や、ミニトマトピューレを練りこんだパンを提供するなど地産地消を推進するとともに、食材の納入についても、放射線量に対する懸念などを考慮し、地元石狩産・道内産などを中心に納入業者の協力を得ながら調達するなど、安全・安心な給食の提供に努めました。

【関連する主要事業】事業評価シートを参照

教育情報化整備事業・小中学校施設整備事業・奨学金支給事業・学校給食事業

=== 石狩市教育委員会外部評価委員会の意見（前年度）大項目４について =====

食育については、地域の農水産物活用など他部局等との一定の連携が図られ、評価できる。また、安全な教育環境整備を図り、学校の耐震化が着実に進んでいることは評価できる。

児童生徒の安全・安心を最優先する観点から、不審者対応訓練については全校での実施を、防災に関する学習や地域と連携した避難訓練などについては、今後とも継続して取り組むことを期待する。

就学援助・食育の領域は、教育委員会以外の担当部局等との連携が不可欠であることから、これらの部局と一層の連携を図り、これまで以上に効果的に推進されることを期待する。

=====

●分析・評価及び今後の方向性

【成果指標】

学校施設・設備の整備・充実

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H19	H22	H23	H24	H26	
小中学校の教育用コンピュータ1台当りの児童生徒数	人	7.7	7.8	7.8	7.7	3.6	

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H19	H22	H23	H24	H26	
小中学校の職員用コンピュータ1台当たりの職員数	人	19.8	1.1	1.0	1.0	1.0	

重点テーマ１ 施策（大項目）４

安全な学校づくりを目指した環境の整備

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H21	H22	H23	H24	H26	
耐震補強が未完了な小中学校数 (耐震診断の結果、耐震補強が必要と判断された学校数の内、耐震補強工事未完了の学校数)	校	4	6	4	2	0	

※平成 21 年度については平成 21 年 12 月末現在、平成 22 年度以降については各年度末の数値を記載しました。

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
緊急対応マニュアルを作成している小学校の割合	%	42.9	100	100	100	100	
防災訓練を実施している小学校の割合	%		100	100	100		
不審者対応訓練を実施している小学校の割合	%		76.9	84.6	84.6		
緊急対応マニュアルを作成している中学校の割合	%	0.0	100	100	100	100	
防災訓練を実施している中学校の割合	%		100	100	100		
不審者対応訓練を実施している中学校の割合	%		62.5	50.0	62.5		

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
学校情報機器セキュリティマニュアルを運用している小中学校の割合	%	0	100	100	100	100	

就学に関する経済的な支援の充実

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
子育てに関し経済的に不安に思う割合	%	72.4	72.0	68.4	75.6		

安全・安心な学校給食の充実

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H19	H22	H23	H24	H26	
学校給食における石狩産食材の使用状況(米・野菜の全使用量に対する地場産数量の割合)	%	38.7	40.4	45.7	38.6	45	

【分析・評価及び今後の方向性】

学校施設・設備の整備・充実

- ・ 学校の施設整備については、文部科学省の定める「公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針」に基づき行っています。学校施設の改修については、建築年次と緊急性を考慮し段階的に行っていますが、中長期を見据えて、現状の把握に努めます。また、学校施設の耐震化については、望来小学校と浜益中学校の屋内体育館の工事をもって、平成25年内に市内全ての小中学校の耐震化を終了します。なお、非構造部材の耐震化については、平成27年度末を目途に、早期完了を目指し計画的に取り組みます。
- ・ スクールバスについては、通学が困難な地域の遠距離通学児童・生徒の支援として円滑かつ安全な運行体制を確保するため、計画的な更新が必要なことから、平成25年度についても中型バス1台（厚田区）を更新します。

安全な学校づくりを目指した環境の整備

- ・ 危機管理体制の整備については、石狩市地域防災計画の改定、各地区の防災ガイドとの整合を図り、各校の緊急対応（危機管理）マニュアルなどの適宜確認や、学校と地域が一体となった避難訓練を実施します。また、防災に関する学習については、本市の歴史を踏まえた防災資料などを活用し推進します。
不審者対応訓練については、継続して学校へ働きかけます。
- ・ 通学路の交通安全対策については、季節に応じて状況を把握しながら、引き続き必要な対策を実施します。また、合同点検での危険箇所については、学校の安全指導等を継続しながら、警察や道路管理者による対策が求められている箇所については、引き続き、早期実施を働きかけます。

安全・安心な学校給食の充実

- ・ 給食センターについては、施設面の老朽化が進行していることから、建て替えを含めた衛生的な調理環境の整備検討を継続して行います。また、アレルギーについては、学校給食における「食物アレルギー」対応の1つである「アレルギー明示献立」の作成をシステム化することにより、ヒューマンエラーを回避するとともに、学校関係者によるアレルギーに関する検討組織との連携を図ります。
- ・ 学校給食の食材については、放射線量に対する懸念などを考慮し、地元石狩産・道内産などを中心に納入業者の協力を得ながら調達するなど、より一層地産地消を図り安全・安心な給食の提供に努めます。

教育プラン基本構想 重点テーマ2 思いやりと豊かな心・健やかな体を育む教育

施策（大項目）5 豊かな人間性と感性を育む教育の推進

●大項目のねらい

「確かな学力」や「健やかな体」とあわせ、「豊かな心」を育むにあたり、その出発点となる家庭の役割の重要性を市民全体でしっかり理解し、市民ぐるみの取組が進められるよう、体制の整備を進めます。

学校においても「心の教育」、「情操教育」、「豊かな感性」、「コミュニケーション能力」を育む教育活動を推進するとともに、いじめ等の問題行動・不登校などに対し、一人ひとりを大切にしたい支援を行う体制の充実を図ります。

また、子どもが言葉を身につけ、感性を磨き、表現力を高めるために欠くことのできない読書活動を推進するため、すべての子どもがあらゆる機会と場において、本に興味、関心を持ち、読書活動を行うことができるよう、環境の整備を図ります。

●平成24年度の取組状況

豊かな人間性を育む教育活動の推進

- ・ 【関連 P46】市内小中学生を対象に、音楽朗読劇や幅広い音楽ジャンルの鑑賞、演奏体験などの機会を提供する情操教育プログラムを実施しました。

情操教育プログラムの実施状況

区分(対象)	実施校(実施日)	内 容
スタートプログラム(全小学校)	全小学校 (6/19, 6/20, 6/21, 6/26, 6/29)	情操を育む事業として、高い芸術性と臨場感あふれた本市オリジナルの参加体験型プログラム「おしゃべランド」を、アートウォームで開催しました。 音楽朗読劇のほかに、ものの見方の視点を変えていくことの大切さを伝える「くるりんぱ」や、世界の教育環境に恵まれない子どもたちの存在を学ぶ、ユネスコ世界寺子屋運動のお話など、「おしゃべランド」ならではの世界を子どもたちに提供しました。
セカンドプログラム(中学校1年)	花川中学校 (5/18)	試行実施している“The music”では、中学生が即興（アドリブ）、掛け合いなどの特長を持つ「ジャズ音楽」を鑑賞するとともに、演奏者とのコラボレーションによる、「パーカッションの演奏体験（セッション）」では、コミュニケーション能力の大切さや、会場全体の一体感を共有し、「その場で、その瞬間に生まれるジャズ音楽」の素晴らしさ、感動を体験する機会を提供しました。
あい風コンサート(小学校全学年)	7校※ (6/27, 8/23, 8/24, 8/28, 8/30, 10/4, 11/1)	子どもたちが様々な楽器・ジャンルによる生の演奏を鑑賞するとともに、楽器の構造や由来、歴史等を学ぶ機会を、保護者・地域住民も参加できる方式で提供しました。
出張アート教室(全学年)	厚田中学校 (10/30)	道立美術館等の所蔵品を、学芸員が学校に作品を持参し、子どもたちに実物を見せながら、美術・芸術作品について、学ぶ・鑑賞する機会を提供しました（道事業）。

※望来小、生振小、石狩小、八幡小、厚田小、聚富小中、浜益小

- ・ 道徳教育については、各学校の道徳教育推進教員などが中心となり推進し、全ての学校で「心のノート」が活用されました。また、道徳授業を保護者に公開するなど、家庭も含めた取組を行い、その充実を図りました。

重点テーマ2 施策（大項目）5

- 【関連 P46】子どもたちが文化芸術に触れる機会の充実を図る取組として、情操教育プログラムに加え、札幌広域圏組合が行う札幌広域圏ジュニアコンサート（主に小学6年生対象）に9校が参加したほか、「俳句のまち・いしかり事業」では、子どもの部（市内小中学生対象）で1,866作品の応募があり、子どもたちが文化芸術に触れる機会となりました。また、石狩ユネスコ協会の「わたしの町のたからもの絵画展」への参加についても奨励しました。

関係事業の実施状況

事業名	参加者数等			
	H21	H22	H23	H24
札幌広域圏ジュニアコンサート（H24.6.13）	小 8校 492名	小 11校 432名	小 8校 279名	小 9校 381名
「俳句のまち・いしかり事業」 子どもの部（H24.4～7月）	小 9校 641名 中 6校 302名	小 9校 902名 中 6校 369名	小 13校 1,339名 中 8校 691名	小 13校 1,366名 中 7校 500名

◆札幌広域圏組合

札幌市・江別市・千歳市・恵庭市・北広島市・石狩市・当別町・新篠津村の石狩管内8市町村によって構成される特別地方公共団体で、共同ソフト事業を中心に、圏域にまたがる政策推進に取り組んでいます。

- 【再掲 P16】各学校で特色ある教育活動に加え、「環境教育・人権教育・平和教育・国際理解教育」を「奨励プログラム」に位置づけ、総合的な学習の時間などで実践できるよう推進し、全ての小中学校（小学校13校、中学校8校、合計21校）で取組が行われました。
- 沖縄県恩納村交流事業（平成3年から21回目、受入は隔年実施）では、2月に恩納村の中学生17名が本市を訪れ、花川南中学校の生徒との交流（文化交流、学校給食体験）、雪かき体験や民泊などを行いました。また、「いしかり・おんなピースミーティング」を開催し、恩納村と本市の中学生が、平和をテーマに交流を図りました。
- 職業体験学習では、中学校8校の生徒延べ638名が、市内外の事業所などで職業体験学習をしました。

平成24年度職業体験学習の実施状況

学校名	実施学年	人数	実施日	日数	備 考
石狩中	2年	39	10月15日～16日	2	14事業所
花川中	3年	133	8月22日～23日	2	40事業所（新規5）
花川南中	2年	96	10月18日	1	24事業所
花川北中	2年	118	10月23日	1	30事業所（新規11）
	特支	8	11月10日～11日	2	2事業所
樽川中	2年	160	10月25日～26日	2	39事業所（新規4）
厚田中	2年	11	7月12日～13日	2	7事業所（新規1）
	3年	6	7月12日～13日	2	
聚富中	1年	5	7月13日	1	9事業所
	2年	8	7月13日	1	
	3年	10	7月13日	1	
浜益中	2年	10	10月26日	1	15事業所（新規1）
	3年	12	8月23日～24日	2	

- パートナーズスクール事業では、市の豊かな地域資源を活用し、異なる環境における様々な体験活動や学習等を通して、浜益地区・厚田地区の学校と旧石狩地区の学校で相互に交流することを目的に、パートナー校の児童が様々な交流を

重点テーマ2 施策（大項目）5

展開しました。

平成24年度パートナーズスクールの実施概要

パートナー校 →			実施月日	事業概要
1	花川小	厚田小	7月19日	ウォークラリー
	厚田小	花川小	11月21日	全校集会、合同授業
2	双葉小	望来小	8月24日	ドッジボール、ゲーム等
	望来小	双葉小	9月11日	合同授業、集会・ゲーム等、給食交流
3	紅南小	浜益小	7月19日	さくらんぼ狩り、郷土資料館見学
	浜益小	紅南小	10月11日	合同授業、体育レク、給食交流
4	緑苑台小	聚富小	9月11日	収穫体験、レクリエーション
	聚富小	緑苑台小	11月20日	合同授業、レクリエーション
5	浜益小	石狩小	9月26日	スポーツ交流

子どもの読書活動の推進

- ・ 幼児期の読書活動推進については、「ブックスタート」、「ブックスタートフォローアップ」、「おはなし会」など、家庭での読書活動を働きかける取組を実施しました。

子どもの読書活動推進にかかる市民図書館の事業

事業名	回数	内容
ブックスタート	月1回	絵本を通じた親子のふれあいの機会を創出するため、乳児健診（10ヶ月児対象）会場において、保健師、ボランティア、図書館司書連携のもと、乳児の健診と併せて、ボランティアが絵本の読み聞かせを行い、図書館司書が赤ちゃんと保護者の方一人ひとりに、「乳児へのことばかけ」の重要性を説明しながらブックスタートパックを手渡しました。 (H24年度のパック配付数 361セット [H23年度 379セット])
ブックスタートフォローアップ	月1回	上記のフォローアップとして1歳6ヶ月健診の会場で読み聞かせを行いました。 (H24年度のパック配付数 11セット [H23年度 11セット])
おはなし会	月1回	小学校低学年の子をもつ親子での参加を想定し、市民図書館内「おはなしのたまご」を会場に、職員や読み聞かせサークル、ボランティアが読み聞かせを行いました。 (H24年度の参加者数 635人 [H23年度 1,071人])

- ・ 家読（うちどく）事業については、本を通し親子の絆を深めることを目的に、冬休みに南線小学校1年生、八幡小学校全児童を対象に実施しました。
- ・ 小・中・高校期の読書活動推進については、児童・生徒に対し、市民図書館の利用や本の検索方法に関するガイダンスを実施（11校24回）したほか、花川南小学校でのブックトーク実施や、学校の求めに応じた花川中学校でのボランティアによる朗読などを実施しました。また、職業体験を8校（高等養護学校含む）から受け入れ、本の修理・配架やカウンター業務を体験する中で、本に親しむ機会を提供しました。
- ・ 子どもの読書週間においては、全小中学校で朝読、読み聞かせ、啓発活動等を推進したほか、一日中おはなし会、特集展示等を市民図書館で実施し、子どもの読書活動推進を図りました。また、小・中学生を対象とした第1回石狩市調べる学習コンクールを実施し、子どもの主体的な学習を支援するとともに、学習習慣・読書習慣の定着化を図りました。（参加：小学校7校・165点、中学校3校・194点）

問題を抱える児童生徒とその保護者への支援体制の充実

- ・ 石狩市教育支援センターでは、教育支援教室「ふらっとくらぶ」を年間238日開設し、不登校児童生徒の通級を促しました。市内不登校児童生徒の2割程度にあたる12名が通級しており、通級児童生徒の学校復帰、社会的自立に向けた支援を行いました。また、平成24年度においては、卒業後安定して高校に登校できるよう卒業生との交流及び学習の時間を設け、中学卒業後の不安解消にも努めました。
- ・ 恵庭市、北広島市、千歳市と、ミニバレーや百人一首を通した子どもたちの交流や支援スタッフの情報交換など、他の自治体との連携した取組を行いました。
- ・ 教育支援センターのスタッフのほか、市内全中学校及び小学校2校へ配置されたスクールカウンセラー（道費4名、市費1名の合計5名で、週1・2回、1校あたり35日程度勤務）が、児童生徒・保護者等の相談対応や不登校児童生徒への家庭訪問などを実施しました。
- ・ 平成19年度から設置している「いじめ通報ホットライン」は、平成22年度から教育支援センターに移し、専門的な知識を持つスタッフが平日の9時から16時まで電話対応をしました。
- ・ 支援センター配置職員により、インターネットパトロール（週1回、1日2時間程度）を実施しました。
- ・ 【関連 P31】薬物乱用防止教室等については、警察等の活用や保健体育などの授業等において、市内全中学校で実施しました。また、携帯電話教室・非行防止教室などの積極的な実施を促すために、専門的知識を持つ警察や電話会社についての情報を市内小中学校に提供しました。
- ・ 学級経営のための有効な資料が得られるQ-U検査を実施（花川北中・樽川中・厚田小・南線小・紅南小）することで、いじめなどの人間関係に関する問題の早期発見を図りました。

【関連する主要事業】事業評価シートを参照

芸術鑑賞会開催事業・沖縄県恩納村交流事業・生徒指導上の諸問題対策事業・奨励プログラム推進事業・子どもの読書推進事業

=== 石狩市教育委員会外部評価委員会の意見（前年度）大項目5について =====

小・中学校におけるいじめの件数が減少していることは、関係者の努力の結果であり評価できる。

また、情操教育については、積極的かつ細やかに取り組んでおり、評価できる。

中学校における不登校の生徒を減少させるべく、スクールカウンセラーの活用や地域コーディネーターによる活動の活発化を期待する。また、いじめ対策については、今後とも未然防止、早期解決を図ることを期待する。

パートナースクール事業については、都市部・地方部の児童両者にとって有益なことから、ICTを活用した日常的な交流なども期待する。

情操教育については、アートウォーム等の施設を活用し、今後とも、より豊かな感性の醸成を図ることを期待する。

=====

●分析・評価及び今後の方向性

【成果指標】

豊かな人間性を育む教育活動の推進

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
情操教育プログラム参加者のうち、プログラムに感動した児童生徒の割合	%	—	95.9	97.0	96.3		↗

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
1年間に体験活動に参加した児童生徒の延べ人数	人	—	6,788	7,233	8,085		↗

子どもの読書活動の推進

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
「朝の読書」等の一斉読書の時間を設けている小学校数	校	13	13	13	13	13	
「朝の読書」等の一斉読書の時間を設けている中学校数	校	5	6	8	8	8	

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
「読書が好き」と回答した児童の割合	%	70.2	72.7	74.9	73.9		↗
「読書が好き」と回答した生徒の割合	%	69.6	66.9	67.6	74.9		↗

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
巡回文庫による貸出点数	点	5,200	7,605	10,270	11,831	7,800	

問題を抱える児童生徒とその保護者への支援体制の充実

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
不登校児童数の割合	%	0.24	0.38	0.35	0.23		↘
不登校生徒数の割合	%	3.76	2.78	3.12	2.78		↘

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
小学校いじめの件数（認知件数）	件	113	34	27	32		↘
中学校いじめの件数（認知件数）	件	92	43	17	36		↘

【分析・評価及び今後の方向性】

豊かな人間性を育む教育活動の推進

- ・ 【関連 P48】情操教育プログラムについては、「おしゃべランド」「The music」に参加にした児童・生徒の95%以上が“面白かった・感動した”とアンケートで答えており、子どもたちの情操、豊かな感性、協調性やコミュニケーション能力などを育み、音楽が持つ可能性や素晴らしさを再認識してもらう事業として、今後も継続します。
また、「あい風コンサート」は、様々なジャンルによる生演奏の鑑賞や、楽器の歴史等を学ぶ機会として、保護者・地域住民も参加できる形で実施しており、継続して取り組みます。
なお、石狩美術館が閉館となり「美術館に行こう」が実施できなくなったことから、道事業「出張アート教室」を取り入れました。しかし、対象校が限られるなど課題もあることから、美術分野に限らず、広く情操を育む取組を検討します。
- ・ 道徳教育については、全校において公開授業の実施を目指すなど、家庭も含めた取組を行い、その充実を図ります。
- ・ 【関連 P48】子どもたちが芸術にふれる機会については、札幌広域圏ジュニアコンサートや石狩ユネスコ協会の絵画展、「俳句のまち・いしかり事業」への参加奨励など、引き続き、学校と連携し機会の充実を図ります。
- ・ 【再掲 P18】奨励プログラムについては、今後も限られた総合学習の時間の中で学校の特色ある教育活動とのバランスをとりつつ、交付金の配分などを考慮しながら、引き続き全校で積極的な取組が図られるよう推進します。
- ・ 沖縄県恩納村交流事業については、中学生に、異なる生活・文化・習慣等を理解する機会を提供し、社会性を養うという意味で有効な事業であることから、今後も継続して実施します。また、恩納村との繋がりでの始まりでもあるスポーツ（ソフトボール）による交流、平和交流、経済（観光）交流なども基軸とした、市全体でのさらなる交流の発展が見込まれることから、市長部局と連携し事業を推進します。
- ・ パートナースクールについては、小規模校の児童が大規模校での生活を体験し、また、都市部の児童が豊かな自然を活かした学習を体験できるなど、本市の特徴を活かした有効な事業であることから、今後も推進します。

子どもの読書活動の推進

- ・ 幼児期の読書活動推進については、引き続き、ブックスタート、ブックスタートフォローアップやおはなし会をボランティアや読書団体の協力を得ながら行うとともに、ボランティア研修や養成講座を開催するなど、市民との協働体制の充実を図り推進します。
- ・ 家読（うちどく）事業については、親子のコミュニケーションを深めることに有効なことから、平成 25 年度は、司書配置校（双葉小、八幡小を予定）において冬休み中の実施を検討します。
- ・ 小・中・高校期の読書活動推進については、司書未配置校への効果的な支援として、引き続き巡回文庫用図書を充実するほか、第2回石狩市調べる学習コンクールを実施し、子どもたちが自らの疑問を調べ、まとめ、発表する主体的な学びを支援し、読書習慣の定着化を図ります。また、職業体験の積極的な受入や市内高等学校生徒への出前講座・ワークショップを行う中で中高生向けサービスについて検討を行うなど、その充実を図ります。
- ・ 子どもの読書環境づくりについては、石狩市子どもの読書活動推進計画に基づき取り組んでおり、その成果などを常に確認し、引き続き推進します。

問題を抱える児童生徒とその保護者への支援体制の充実

- ・ 不登校児童生徒やその保護者との面談等から、最近ではパソコンや携帯電話（スマートフォン）の普及による、昼夜逆転やひきこもり、また保護者の就労等により関わりが希薄になっていることによる愛情不足などが見られます。このような子どもたちとは積極的な関わりが必要であることから、カウンセラーやこども相談センターなどの関係機関とも連携を図りながら家庭訪問などの働きかけを実施し、子どもが抱える不安の解消を目指し取り組みます。
- ・ 人間関係や心的理由により、学校へ行くことができない児童生徒に対して、将来的自立支援や居場所としての「ふらっとくらぶ」の活動は大切なことから、今後も継続して取り組みます。
また、学校や不登校に対する支援機関との関係がつかれず、支援を受けることができていない児童生徒や、「ふらっとくらぶ」に通うことができていない児童生徒に対しては、学校や関係機関等とも連携しながら、家庭訪問や電話による働きかけなどを積極的に行います。
- ・ 支援スタッフの情報交換や子どもたちの交流等を、他の自治体と今後とも継続的に実施するなど、不登校児童生徒への支援と支援体制の充実を図ります。
- ・ 問題を抱える児童生徒とその保護者等への支援については、スクールカウンセラーの果たす役割が大きいことから、その増員に関して関係機関に働きかけるとともに、引き続き、教育支援センターのスタッフやスクールカウンセラーが相談・訪問等を行います。
- ・ いじめの認知件数は、小中ともに減少しており、市内全小中学校でのアンケート実施や懇談などにより未然防止、早期解決が図られたことや、いじめはいけないことであるという日頃からの指導の成果と考えられます。
今後も 1 年を通して、いじめの実態把握を通じた未然防止に取り組みます。
- ・ 【関連 P35】非行の防止については、子どもたちを取り巻く様々な環境に対する正しい知識を持つことが、子どもたちの健康な心身を育むことにつながることから、今後も中学校はもちろんのこと、小学校においても薬物乱用防止教室等の実施を視野に入れ、学校の年間計画に取り入れるよう働きかけるなど、引き続き、積極的な実施を促します。
- ・ Q-U 検査については、平成 24 年度に実施した 5 校において、人間関係に関する問題の早期発見に有効であるとの評価を得ていますので、今後、効果の期待される学年（1 学年以上）に対して全校実施を図ります。

施策（大項目）6	心身の健やかな成長を促す教育の推進
----------	-------------------

●大項目のねらい

児童生徒自らが生涯を通じて健康な生活を送ることができる力を身につけるため、健康や安全に関する知識と基本的な生活習慣を育む取組とともに、生涯にわたって運動等に親しむ資質や能力を育成するため、体力・運動能力の向上を図る取組を支援します。

また、核家族化や少子化を背景に、子育てへの不安の高まりが指摘されている中で、すべての教育の出発点である家庭で望ましい生活習慣や学習習慣を定着させられるような環境づくりを進めます。

●平成24年度の実施状況

健康な身体を育む教育活動を推進

- ・ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査については、平成22年度から抽出方式になりましたが、本市では、市内全体の児童・生徒の状況や学校の取組状況などを把握するため、全校で実施しました。
- ・ 体育科授業や中学校部活動などでは、スポーツ支援SATなど、地域の人材を外部指導者等として活用しました。なお、平成24年度から必修となった中学校における武道については、安全性や適切な指導体制を確保するため、外部指導者活用事業（道費事業）を活用しました。

スポーツ関連の外部指導者等の状況

区分	H21	H22	H23	H24
スキーSAT	延べ 166 名 14 校	延べ 194 名 15 校	延べ 182 名 15 校	延べ 197 名 16 校
水泳SAT	1 名 1 校	1 名 1 校	1 名 1 校	1 名 1 校
中学校部活動 外部指導者	6 名 5 校 (野球、剣道、ソフトテニス、バレーボール)	6 名 4 校 延べ 392 日 (野球、剣道、ソフトテニス、バレーボール)	6 名 4 校 延べ 494 日 (野球、剣道、ソフトテニス、バレーボール、バドミントン)	6 名 4 校 延べ 607 日 (野球、剣道、ソフトテニス、バスケットボール、バレーボール、バドミントン)

- ・ 小学校が実施するスキー学習については、バス借り上げ料を交付し、北国特有の冬のスポーツであるスキーの習得とともに、冬場の外でのスポーツ・運動機会の確保に努めました。（12校 参加児童数 2,261名）
- ・ 遊具については、6月に全小学校の点検を実施して必要な修繕を行い、子どもたちの遊びを通じた運動の場を提供しました。
- ・ 【再掲 P27】薬物乱用防止教室等については、警察等の活用や保健体育などの授業等において、市内全中学校で実施しました。また、携帯電話教室・非行防止教室などの積極的な実施を促すために、専門的知識を持つ警察や電話会社についての情報を市内小中学校に提供しました。
- ・ 【関連 P36】子どもへの暴力防止プログラム（CAPプログラム）については、全小学校（3年生を中心）で実施し、子どもが自分の心と身体を大切に生きていくための人権意識を育てると同時に、いじめ、虐待、性暴力、誘拐などの様々な暴力から、子ども自身が自分を守るための教育を推進しました。

重点テーマ２ 施策（大項目）６

- ・ 食育推進支援事業としては、「いしかりデー」において、生産者・ＪＡいしかりと連携し、小中学校における地産地消・食育活動を推進したほか、教職員・保護者・市民を対象とした食育講演を実施しました。
- ・ 栄養教諭による食に関する指導を、配置校をはじめとし配置校以外の学校においても実施し、学校と連携した食育推進を図りました。
- ・ 【再掲 P21】給食メニューについては、地場産物を多く使用した献立の「いしかりデー」において、平成 24 年度に初めてとなる「フライド長いも」や、ミニトマトピューレを練りこんだパンを提供するなど地産地消を推進するとともに、食材の納入についても、放射線量に対する懸念などを考慮し、地元石狩産・道内産などを中心に納入業者の協力を得ながら納入するなど、安全・安心な給食の提供に努めました。

市民皆スポーツを目指した生涯スポーツの推進

- ・ 市民スポーツまつりでは、小学生駅伝、中学生駅伝に加え、平成 22 年度から「小学校低学年タスキリレー」が新設されました。これらに児童生徒の積極的な参加がなされ、子どもたちが運動習慣を身に付けるきっかけにもなりました。

市民スポーツまつり参加チーム数

種目	H21	H22	H23	H24
小学校駅伝	52 チーム（10 校）	55 チーム（10 校）	51 チーム（ 8 校）	47 チーム（ 9 校）
中学校駅伝	25 チーム（ 5 校）	18 チーム（ 6 校）	10 チーム（ 5 校）	8 チーム（ 5 校）
小学校低学年 タスキリレー	-	21 チーム（10 校）	悪天候の為中止	20 チーム（ 8 校）

- ・ ソフトボールの普及に関しては、教育課程での定着を推進し、中学校の授業や小学校の授業でのベースボール型競技などが各校で実践されました。

基本的な生活習慣定着のための家庭環境づくり

- ・ 望ましい生活習慣の定着については、更に家庭に働きかける必要があることから、市ＰＴＡ連合会と連携し「家庭教育講演会」を２回（１１月・２月）実施したほか、広報いしかり 11 月号において、子どもの生活リズムを取り上げ、生活習慣について周知を図りました。

【関連する主要事業】事業評価シートを参照

体力・運動能力向上推進事業・子どもへの暴力防止プログラム事業・家庭教育支援事業・学校給食事業・生徒指導上の諸問題対策事業

=== 石狩市教育委員会外部評価委員会の意見（前年度）大項目６について =====

外部の指導者を活用し、市のスポーツであるソフトボール等に支援を行ったことは、評価できる。また、薬物乱用防止教室を全中学校で実施したことや、携帯電話教室や非行防止教室などの実施は、生徒の安全・安心を守るための取組として評価できる。

今後とも、時代に即応した安全教育のために、専門的知識を持つ機関と密接な連携を図り、各種セミナーや教育支援センターの施策を取り進めることを期待する。

また、望ましい生活習慣の定着に向けて、ＰＴＡ連合会などと連携した一層の取組を期待する。

=====

●分析・評価及び今後の方向性

【成果指標】

健康な身体を育む教育活動を推進

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
「体力・運動能力調査」の総合得点の全国平均値を 50とした場合の石狩市の小学校5年生の値(男子)	—	—	47.5	47.5	49.1		50以上
「体力・運動能力調査」の総合得点の全国平均値を 50とした場合の石狩市の小学校5年生の値(女子)	—	—	46.0	47.0	49.2		50以上
「体力・運動能力調査」の総合得点の全国平均値を 50とした場合の石狩市の中学校2年生の値(男子)	—	—	45.4	47.8	48.3		50以上
「体力・運動能力調査」の総合得点の全国平均値を 50とした場合の石狩市の中学校2年生の値(女子)	—	—	43.8	43.9	44.4		50以上

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
体力・運動能力調査で、週1日以上体育の授業以外で運動・スポーツをすると答えた小学校5年生の割合(男子)	%	—	87.9	83.1	87.5		100
体力・運動能力調査で、週1日以上体育の授業以外で運動・スポーツをすると答えた小学校5年生の割合(女子)	%	—	79.4	69.4	73.4		100

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
薬物乱用防止教室・キャラバンカーによる指導を実施した中学校数	校	3	5	8	8		8

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
栄養教諭による食に関する派遣指導(配置校外での指導)延べ回数	回	103	132	135	57		160

市民皆スポーツを目指した生涯スポーツの推進

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
市民意識に関するアンケートで「この1年間で継続的にスポーツを行っていますか」という問いに「はい」と答えた割合	%	29.7	39.8	38.5	45.6		↗

基本的な生活習慣定着のための家庭環境づくり

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
「朝食を毎日食べていますか」という設問に対して「している」又は「どちらかといえば、している」と回答した児童の割合	%	93.3	95.7	94.4	95.8	100	
「朝食を毎日食べていますか」という設問に対して「している」又は「どちらかといえば、している」と回答した生徒の割合	%	92.4	92.1	88.1	92.5	100	

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
「普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、インターネットをしますか」という設問に対して「3時間以上」と回答した児童の割合	%	5.9	5.9	10.8	7.3	3.3	
「普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、インターネットをしますか」という設問に対して「3時間以上」と回答した生徒の割合	%	11.1	13.2	20.2	18.5	7.9	
「普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、インターネットをしますか」という設問に対して「4時間以上」と回答した児童の割合	%	3.5	2.7	5.4	4.7	1.6	
「普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、インターネットをしますか」という設問に対して「4時間以上」と回答した生徒の割合	%	6.5	5.2	11.1	10.7	4.0	

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
ケータイ・ネットゲームの望ましい利用方法についての指導などを実施した中学校数	校	—	6	7	7	8	

【分析・評価及び今後の方向性】

健康な身体を育む教育活動を推進

- ・ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から、石狩市の子どもたちは、体格では全国を上回り、実技調査では、多くの項目で前年度及び全道の結果を上回り、特に小学生男子では、半数以上の項目で全国を上回るなど、改善が見られました。一方、基本的な生活習慣については課題もありました。平成25年度においては全国悉皆調査となりま

重点テーマ２ 施策（大項目）６

すが、各学校で児童・生徒の状況を把握しながら、一校一プランの実践、体育授業の進め方の検討や、新体力テストの取組など、学校生活内における運動習慣の定着を図るための特色ある取組を推進します。

- ・ 体育科授業や中学校部活動などでは、適切な指導体制等を確保するため、引き続き、地域の人材を外部指導者等として活用します。また、北海道の外部指導者活用事業や市民団体によるボランティア支援などについても、積極的な活用を図り、学校におけるスポーツ活動を推進します。
- ・ 【関連 P30】非行の防止については、子どもたちを取り巻く様々な環境に対する正しい知識を持つことが、子どもたちの健康な心身を育むことにつながることから、今後も中学校はもちろんのこと、小学校においても薬物乱用防止教室等の実施を視野に入れ、学校の年間計画に取り入れるよう働きかけるなど、引き続き、積極的な実施を促します。
- ・ 食育については、義務教育における食育の基本方針・食に関する指導の全体計画などの作成に向けて検討を行います。また、引き続き、栄養教諭が学校において献立を生きた教材として活用した「食に関する指導」を実施するとともに、食育推進支援事業などを行い地産地消や食育活動を推進します。

市民皆スポーツを目指した生涯スポーツの推進

- ・ 市民スポーツまつりについては、駅伝・タスキリレーなどへの児童生徒の参加が、更に拡大されるよう働きかけるとともに、参加に向けた支援を行います。
- ・ ソフトボールの普及に関しては、外部指導者や知識・経験のある職員等の活用を推進するとともに、競技に必要な物品の支援などを検討します。

基本的な生活習慣定着のための家庭環境づくり

- ・ 望ましい生活習慣の定着に向けては、引き続き、市PTA連合会と連携しながら、「生活リズムチェックシート」を活用するなど取組を進めます。
また、インターネットについては、今日の情報化社会において、娯楽的な利用のみならず、学習や生活面での有用性が高まっていますが、誤った利用方法等による弊害もあることから、実生活時間とインターネットを行う時間とのバランスやその利用内容等について、学校の情報に関する教育の場において、子どもたちへ適切な指導がなされるよう働きかけます。

教育プラン基本構想 重点テーマ1 自ら学ぶ意欲を育てる教育

施策（大項目）7 次代を担う子どもたちの健やかな育ちの支援

●大項目のねらい

核家族化や少子化などの社会変化や地域の結びつきの低下などを背景に、青少年をめぐる問題が深刻化しています。

このような中で、地域の大切な一員である青少年の健やかな成長のため、多様な活動の場や機会の充実を図るとともに、地域で子どもを育てる環境づくりを進めます。

また、我が国が批准した「児童の権利に関する条約」を踏まえ、子どもの生存、発達、保護、参加という包括的な権利を実現・確保するための環境づくりを進めます。

●平成24年度の実施状況

子どもの権利の保障の推進

- 【再掲 P31】子どもへの暴力防止プログラム（CAPプログラム）については、全小学校（3年生を中心）で実施し、子どもが自分の心と身体を大切に生きていくための人権意識を育てると同時に、いじめ、虐待、性暴力、誘拐などの様々な暴力から、子ども自身が自分を守るための教育を推進しました。

CAP事業参加状況

区分	H22	H23	H24
学校数（校）	13	13	13
児童数（人）	817	562	613
教職員数（人）	155	118	95
保護者数（人）	110	75	77

地域で子どもを育てる環境づくりの推進

- 学校と地域とが連携して安全・安心への取組を進めるため、関係機関が情報を共有し、子どもたちのためにどのような支援をすることができるのかを協議し、学校を核とした地域で子どもたちを見守る体制づくりを目指す「石狩市子ども安全・安心連絡推進協議会」を開催（6月）しました。
- 事故発生の未然防止や子どもたちの緊急避難場所の確保並びに警察への速やかな通報体制整備を目的として、こども110番いしかりサポート事業を実施しました。

◆こども110番いしかりサポート事業

登録者にステッカーを配付し、こども110番の家として登録し、子どもの緊急避難場所として子どもを保護するとともに、警察へ通報するしくみです。

（平成24年度末までの登録件数は883件、平成24年度における通報件数は0件）

- 【再掲 P17】学校と家庭や地域の団体などが連携し、地域のボランティアを中心に登下校時などにパトロールや見守りなどを行う「スクールガード」、「声かけ運動」の活動などを通して、地域全体で学校安全に取り組む体制を整備し、子どもたちが安心して生活できる地域づくりを図りました。（平成24年度 実施学校数11校、ボランティア数600名程度）平成24年度は、同一人物によると思われる事件が多発したことから、地域への働きかけの強化を行うとともに、市教委と関係機関の職員による合同パトロールも実施しました。

重点テーマ3 施策（大項目）7

- ・ 【再掲 P17】 地域住民の学校教育活動への参加の取組としては、地域SAT（11名）や中学校部活動外部指導者（6名）のほか、学校支援地域本部事業では、紅南小学校、双葉小学校、花川小学校、緑苑台小学校、花川北中学校、花川中学校において、漢字や九九検定の支援、家庭科ミシン・裁縫、体育科水泳・スキー学習、図書整理作業支援などの活動、また、花川南小学校において、あい風寺子屋事業として放課後の児童の居場所づくりや学習支援、様々な伝統文化などの体験を支援する活動が行われ、学校支援地域ボランティア（延べ647名）等による学校支援の充実に取り組みました。

【関連する主要事業】事業評価シートを参照

石狩市PTA連合会運営支援事業・外部指導者活用事業・生徒指導上の諸問題対策事業・子どもへの暴力防止プログラム事業

=== 石狩市教育委員会外部評価委員会の意見（前年度）大項目7について =====

CAPプログラムの全校実施については、評価できる。

CAPプログラムについては、今後は、保護者をはじめ、市民に幅広く知っていただく機会の充実を図ることを期待する。

児童生徒の教育活動の充実を図るSAT活動や読み聞かせ活動、中学校における部活動指導など、地域の教育力を活用した取組を今後とも期待する。また、ボランティアは、一定数確保されていることから、今後は、ボランティアの効果を向上させるため、分野によっては、資質向上の研修などについて配慮することを期待する。

=====

●分析・評価及び今後の方向性

【成果指標】

子どもの権利の保障の推進

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
市民意識に関するアンケートで「児童の権利に関する条約」を知っていると答えた割合	%	12.0	11.7	13.5	—	20	
(参考) 市民意識に関するアンケートで「子どもの権利」について、聞いた、考えた、あるいは聞いた、考えたことがあると答えた割合	%	—	—	70.9	66.4	—	

※市の総合計画における市民アンケートが見直され、当該指標はH24年度以降把握できなくなりました。

参考として、新たにアンケート項目として追加された項目を表示します。

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
CAPプログラム実施小学校数	校	5	13	13	13	13	

地域で子どもを育てる環境づくりの推進

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
メール配信サービス登録件数（不審者情報）	件	791	1,342	1,515	997		↗

【分析・評価及び今後の方向性】

子どもの権利の保障の推進

- 子どもへの暴力防止教育プログラム（CAPプログラム）については、全小中学校において取組が実施されました。このことにより、全ての児童に対して計画的に自分の心と身体を大切に生きていくための人権意識を育てると同時に、いじめ、虐待、性暴力、誘拐などの様々な暴力から自分を守るための教育をする機会の提供ができるようになりました。平成25年度以降も、計画的なプログラムの実施を推進します。

地域で子どもを育てる環境づくりの推進

- 「石狩市子ども安全・安心連絡推進協議会」については、市内各小中学校で行われている学校や地域の取組を把握し、学校間においては他校の取組を参考とすることができることから、今後も継続して実施します。
- こども110番いしかりサポート事業については、一定の抑止効果があることから、登録者を拡大していくために、引き続き学校を通して地域に働きかけていきます。
- 【再掲 P19】「スクールガード」・「声かけ運動」については、登下校時など学校や子どもたちだけで身を守ることに限界もあり、地域の子もたちは地域で育て、守り、子どもたちが安心して生活できる環境を整えることが必要です。引き続き、学校と地域、市教委及び関係機関が一体となって子どもたちを見守っていけるよう連携を深めていきます。
- 【再掲 P19】市内にある藤女子大学の学生や地域の方々による SAT 活動、読み聞かせ活動、中学校部活動指導などについては地域の教育力を活用した有効的な手段であることから、今後も積極的に展開します。
また、学校支援地域ボランティアは、学校ニーズの掘り起こしと地域との連携が深められたことにより増加しており、あい風寺子屋事業や放課後こども教室を活用した放課後の学習支援などの様々な取組についても保護者の方々から大きな期待が寄せられていることから、平成25年度には学校支援地域本部事業の対象校を花川地区全校に拡大を図るなど、地域とともに学校支援の充実に向けて取り組みます。
なお、特に児童生徒に接するボランティアに対しては、事前に心構え等のレクチャーを行っています。一層の資質向上のための検討を行います。

施策（大項目）8 地域づくりに活かされる生涯学習環境の充実

●大項目のねらい

市民の生活様式の多様化に伴い、学習に対するニーズも多様化・複雑化・高度化が進んでいます。このような中、市民一人ひとりの学びへの意欲を喚起し、学習の方向性を見出し、互いに学び合う生涯学習を充実するため、人生各期に応じた学習機会の充実を図るとともに、自らの主体的な学びを支援します。

また、学習を通じた地域社会の活性化を目指すため、市民の学習ニーズを的確に捉え、積極的な支援を行うとともに、自らの学習成果や能力を生かし、互いに学び合うことができる環境づくりを進めます。

●平成24年度の実施状況

多様な学習機会の提供・主体的な学習活動の支援

- ・ 「いしかり市民カレッジ」は、市民ボランティア「いしかり学びをつくる会」と市教委が協働でつくる学びの場であり、誰でも、いつでも学ぶことができ、更に自ら企画したり教えたりできる新しい学びのかたちを創生しており、主催事業は16講座、38回と着実に取組が進んでいます。また、仕事や趣味などで得た知識、経験、技術などを活かした講座を自ら企画・運営し、講師として市民の学びの手助けをする「まちの先生企画講座」を3講座、9回開講し、講師と受講者との学びあいを大切にした市民が主役の新しい生涯学習の推進に寄与しました。
- ・ 生涯学習事業のうち、シニアを対象とした地域ごとの講座は、はまなす学園を16回開催したほか、おらが元気塾（厚田区）、いきがいづくり学園（浜益区）を実施しました。なお、このほかの講座は、市民カレッジの講座にシフトしています。
- ・ まちづくり出前講座（74メニュー）により、市が推進する施策をテーマとした学習機会の提供を図りました。（38件利用）

学習成果の発表・交流の場の充実

- ・ 石狩市学び交流センターは、特別支援学校、児童発達支援及び放課後等デイサービスを行う事業所との複合施設であり、教育と福祉の連携による地域に根ざした施設として開設2年目を迎え、学習活動と交流の場を提供するなど、その充実を図りました。

社会教育を進める主体的な団体活動の支援

- ・ 公民館まつりを3月16・17日に開催し、公民館を使用して活動している団体・サークルの日ごろの成果を発表する機会を提供しました。（28団体参加）
- ・ 市内単位PTAの連絡調整を図り、市内教育の振興に寄与している石狩市PTA連合会に対し、その活動経費の一部を補助するとともに側面支援することにより、教育活動の振興や地域における教育環境の改善充実を図りました。
- ・ ユネスコ憲章の精神に基づき、地域に根ざした民間ユネスコ活動をしている石狩ユネスコ協会に対し、その運営費の一部を補助するとともに側面支援することにより、教育・科学・文化の向上を図り、平和に対する意識を高めました。また、ユネスコ・スクールについては、平成24年度に双葉小学校が認定され、2校（平成23年度に生振小学校）となりました。

重点テーマ3 施策（大項目）8

- ・ 石狩市青年団体連絡協議会は、青年交流、文化祭、地域行事のサポートなどの活動を長年行ってきましたが、加盟団体の減少により、平成 24 年度は浜益青年会のみとなりました。各地域の横断的活動が困難となってきたことから、浜益青年会は補助金申請を行わず、自主財源で浜益区に限定した地域づくり等を推進しました。
- ・ 青少年の健全育成、地域福祉支援等の取組を行う石狩市女性団体連絡協議会に対し、その運営経費の一部を補助するとともに、次世代育成支援をテーマにした研修会を行うなど、女性の特性を活かした自主的な活動を支援しました。

学習活動を支援する環境整備の充実

- ・ 公民館（3箇所）・ふれあい研修センター・美登位創作の家・カルチャーセンター及び学び交流センターについては、その機能や利用者サービスが確保されるよう適切な施設管理に努め、市民の学びの場の提供を図りました。
- ・ 社会教育主事の配置については、平成 24 年 4 月 1 日現在で、社会教育課：2 名、市民図書館：1 名、厚田生涯学習課：1 名の計 4 人です。

【関連する主要事業】事業評価シートを参照
生涯学習講座開催事業・公民館管理運営事業・学び交流センター管理運営事業・成人式開催事業

=== 石狩市教育委員会外部評価委員会の意見（前年度）大項目8について =====

学び交流センター・公民館・カルチャーセンター等の利用者が増加していること、また、市民カレッジやシニアを対象とした地域ごとの講座の充実は、市民の学習活動の充実が感じられ評価できる。

学び交流センターなどの施設利用者は増加傾向にあるが、地域や地域の生産者等と連携し市民カレッジの充実を図るなど、引き続き魅力的な取組を推進し、生涯学習活動を行う市民の一層の増加を図ることを期待する。また、同センターは、地域との交流などの連携を図り、複合施設としてのメリットが一層活かされるよう期待する。

ユネスコスクールの認定校指定については、より一層の支援を期待する。

=====

●分析・評価及び今後の方向性

【成果指標】

多様な学習機会の提供・主体的な学習活動の支援 学習活動を支援する環境整備の充実

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値			目標値
		H20	H22	H23	H24	H26
いしかり市民カレッジの登録者数	人	—	209	200	185	200

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値			目標値
		H20	H22	H23	H24	H26
市民アンケートで「自ら進んで芸術・文化、ボランティア、趣味・教養などの学習活動を行っているか」という問いに「はい」と答えた割合	%	38.6	37.2	31.2	33.5	50

学習成果の発表・交流の場の充実

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
石狩市学び交流センター・公民館・カルチャーセンターの延べ利用者数	人	51,000	50,021	61,297	61,757		↗

社会教育を進める主体的な団体活動の支援

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
社会教育関係団体の登録数	団体	148	150	152	150		↗

学習活動を支援する環境整備の充実

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
社会教育主事の配置人数	人	6	5	5	4		↗

【分析・評価及び今後の方向性】

多様な学習機会の提供・主体的な学習活動の支援

- ・ 市民アンケートからみると、自ら進んで生涯学習活動を行っている割合が伸びていないのは、高齢化の影響や若い世代に共働きが増え、時間的な余裕がないことなどが要因と推察されます。今後は、石狩市学び交流センターを拠点に、体験講座等の開催により新たな団体・サークルの設立を目指すなど、自ら進んで生涯学習活動をしやすいきっかけづくりや環境づくりを図ります。
- ・ いしかり市民カレッジについては、自ら企画した事業を増やすなど着実な取組を進めた結果、市民に定着してきています。今後は、他の市民団体等が主催する講座を連携講座としてPRの支援に努めるなど、魅力的な講座の充実と情報発信を図るとともに、市民とその成果を共有することができるよう取り組み、また、引き続き、市民主体の組織として全国的にその成果を発信します。
- ・ はまなす学園、おらが元気塾（厚田区）、いきがいつくり学園（浜益区）については、それぞれの地域におけるシニア世代を対象にした講座を通じた通年の学習・交流の場となっており、参加者も定員を超える状況です。今後は、更にその需要が高まることが予想されることから、魅力的な学習内容を提供するとともに、参加者の自主性も発揮できるような事業内容とすることに努めます。
- ・ まちづくり出前講座については、38件の利用で前年よりは増加しましたが、特定のメニューが集中的に利用されている状況です。市役所内の連携・調整を強化し、メニューにない講座の申込みがあったときは、可能な限り要望に沿う内容での開催や、新たな社会情勢や各種制度、市民ニーズに対応したメニューの設定に努めます。

学習成果の発表・交流の場の充実

- ・ 石狩市学び交流センターは、今後は、その特性を活かしつつ、公民館等の既存施設との機能分担を図り、より地域住民が利用しやすい施設となるよう努めます。

社会教育を進める主体的な団体活動の支援

- ・ 各種団体活動の支援については、引き続き運営経費の一部を補助するとともに、社会教育関係団体登録制度を通して施設使用料の減免などを行うほか、これから活動しようとする市民への情報提供など活動しやすい環境づくりに努めます。同制度の登録申請件数は、横ばいの状態ですが、今後とも市民の自主的な社会教育活動を支援します。
なお、ユネスコ活動については、今後も新たな認定校指定に向けた支援を検討します。
- ・ 石狩市青年団体連絡協議会や石狩市女性団体連絡協議会については、加盟団体の減少などにより全市的な活動が難しくなっていますが、各地域の青年団体や女性団体は、地域コミュニティにおける大きな役割を担っていることから、新たな視点での支援策について検討を行います。

学習活動を支援する環境整備の充実

- ・ 社会教育事業の推進や関係団体の育成・支援にあたっては、専門的な指導・助言が必要なことから、社会教育主事が各種研修へ参加し、その専門性を高めることをはじめ、一般の職員についても、全道社会教育主事等研修会や管内社会教育関係職員研修会等への参加を奨励するなど、社会教育への専門性や知識を高める取組を行います。
- ・ 社会教育施設全体像の検討に関しては、郷土資料の保存・展示のあり方についていただいた答申を契機に、社会教育関連施設とのネットワーク化を推進し、市民図書館や公民館を含めて総合的に検討を進めます。
- ・ 成人式については、成人として節目を迎える市民の前途を祝福するとともに、将来の社会を支える一員としての責任や、地域とのつながりを自覚する機会として重要なことから、引き続き、実施します。

施策（大項目）9 学習の拠点としての図書館サービスの充実

●大項目のねらい

図書館は、社会の発展を縁の下で支える施設です。子どもから高齢者まで多くの人々に開かれた施設である図書館は、情報が溢れかえる現代社会においても、市民の人生を充実したものとするうえで、重要な役割を担っています。主体的に学び、活動しようとする人々の思いを受け止め、その実現を支援するため、生涯学習や地域文化の創造、郷土理解の重要な拠点として、市民図書館のサービスの充実を図ります。

●平成24年度の取組状況

市民図書館の利用状況等（花川南、八幡、厚田※、浜益分館含む。）

区 分	H21	H22	H23	H24
利用登録者数(人)	32,144	24,583	23,890	23,366
蔵書点数(点)	262,153	273,413	287,416	298,081
貸出点数(点)	611,427	594,779	588,171	559,561

※厚田分館は平成24年12月より、あいかぜとしょかん（厚田小学校図書館）に機能移転し閉鎖。なお、その蔵書については本館扱いとして、同学校図書館にて取り扱っています。

情報発信を通じた生涯学習への支援

- 市民図書館では、図書館講座や特別展示などを実施したほか、新たに、市のパブリックコメントコーナーを設置し、テーマに関連する図書館資料を展示するなど、学習機会の充実を図りました。

図書館講座・特別展示等の実施状況

事業名	時 期	内 容
図書館講座	①10/13（土） ② 2/14（木） ③ 3/20（水）	① 小檜山博文学を読む会 10 周年事業講演会【来場 180 人】 ② 読んで伝える【来場 22 人】 ③ ハママシケ（浜益）開拓地の暮らし【来場 73 人】
特別展示	①11/ 1（木）～ ② 1/ 4（金）～ ③ 3/10（日）～ ④ 3/19（火）～	① 子母澤寛自筆原稿展 ② 安部公房の世界 ③ 東日本大震災2年 復興祈念展示 ④ 平成24年度石狩市教育委員会表彰 受賞者特別展示
特集展示	通年	テーマを設定して資料を展示し、各種情報を発信（計 19 回）

- 図書館ホームページの更新頻度を増やし、情報提供の充実を図りました。

市民の誰もが利用できるような環境の整備

- 市民図書館分館でのサービス向上については、本館に設置してある「本のリサイクルコーナー」を、花川南分館が設置されている花川南コミュニティセンター内に設置しました。

サービスを支える基盤の整備

- 市内小中学校の夏休み期間に市民図書館本館の開館時間を試験的に30分早め、また、市民図書館資料の返却ポストを市内3校（南線小、緑苑台小、浜益小）に設置し、図書館サービスの向上を図りました。
- 職員の研修については、全道図書館初任者・中級職員研修会や石狩管内図書館協議会の研修会への参加のほか、館内で古文書解読・手あそび研修を開催し司書としての専門性を高めるなど、サービス・事業の質的向上を図りました。

重点テーマ3 施策（大項目）9

- ・ ボランティア活動団体の育成や市民協働を進める取組として、6月の名取市図書館修理講習会にボランティア4名を講師として派遣したほか、読書活動関係団体及び各種団体と連携し、文学講演会（主催：小檜山博文学を読む会）や本のリサイクル市（主催：NPO法人ひとまちつなぎ石狩）を実施しました。
- ・ 市民の所有する古文書について、その内容を知りたいという相談を受け付け、文化財課や石狩市郷土研究会と連携し、その内容等を調べ・知らせる、古文書相談を始めました。

期待に応える蔵書・情報源の構築

- ・ 基本的な資料の収集、整理、保存を中心に、貸出が多く古くなった児童書の更新や新聞記事データベースの継続的な充実を図るとともに、石狩市情報コーナーを開設し観光や防災など市の動きに合わせた情報の整備を進め、また、石狩や北海道に関する資料（地域行政資料）の収集を図るとともに、ふるさと記録事業の定点観測ポイントの選定準備を行うなど、利用者のニーズに応える資料の充実を図りました。

年度毎の資料収集状況

区 分	H21	H22	H23	H24
収集点数（点）	11,380	13,552	16,210	12,573
内、地域行政資料（点）	1,071	1,231	873	779

【関連する主要事業】事業評価シートを参照

図書館運営事業

=== 石狩市教育委員会外部評価委員会の意見（前年度）大項目9について =====

図書館が、魅力的な図書館講座や特別展示などを通し、市民に学習機会を提供することは大切であり評価できる。また、図書館新規登録者が増加したことは、評価できる。

図書館利用者の増加に向けた計画的な取組、寄贈を含めた地域行政資料の充実や地域行政資料に関するデジタル・アーカイブのいち早い設立を期待する。また、図書館講座や特別展示については、より多く市民が参加できるよう、広報が充実されることを期待する。

=====

●分析・評価及び今後の方向性

【成果指標】

市民の誰もが利用できるような環境の整備

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
石狩市の人口に占める市民図書館利用登録者の割合	%	31	21	21	21	35	

※平成 22 年度の登録者数減少は、平成 22 年 4 月以降、利用者カード作成後 3 年間 1 度も借りていない人の除籍を開始したことによります。

期待に応える蔵書・情報源の構築

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
直近の1年間に受け入れた資料数が蔵書全体に占める割合	%	4.5	5.0	5.6	4.2	6.0	

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
地域行政資料の点数	点	22,772	25,066	25,940	26,666	31,200	

【分析・評価及び今後の方向性】

情報発信を通じた生涯学習への支援

- ・ 講座や研修会、特別展示を実施して読書コミュニティを作るとともに、市のパブリックコメントと連携した資料展示等を行うなど、関係機関と連携し、蔵書を活用した地域情報などの提供に努めます。
- ・ ホームページ・WEBサービスの充実、図書館の旬の話題をお知らせする「図書館トピック」の定期（毎週）更新、レファレンス記録の公表などにより、様々な情報を発信し、市民の生涯学習を支援します。
- ・ 宮城県名取市（東日本大震災を機に、本市と交流関係）及び石川県輪島市（本市の友好都市）との図書館間の連携を強化し、地域資料を相互に活用するなど、ふるさと意識の醸成や、防災・文化面などでの情報交流を推進します。

市民の誰もが利用できるような環境の整備

- ・ 利用しやすい環境の整備として、夏休み期間中に開館時間を試験的に拡大（本館及び花川南分館）するほか、本館で実施した事業の巡回実施などの分館サービスの充実や、来館が困難な方へブックリスト配付などによる宅配サービスの充実などに努め、誰もが図書館サービスを受けられるよう努めます。
また、図書館協議会での意見などを参考に魅力的な図書館を目指すとともに、引き続き、ブックスタートなど各種事業でのPRや研修室利用者へのPRなどを行い、計画的な利用登録者の増加を図ります。

サービスを支える基盤の整備

- ・ 図書館システム更新や公衆無線LAN設置により、資料検索・WEBサービスなどの利便性向上や情報発信・研究環境の充実に取り組むなど、施設の充実に努めます。
- ・ 図書館職員の研修については、地域を学ぶ施設見学研修やまちづくり出前講座を活用した研修を行うほか、古文書解読研修を行うなど、図書館職員としてのスキルアップを図ります。
- ・ 市民との協働については、読書活動関係のボランティアや団体と協力して図書館の運営や読書推進を進めているほか、地域の各種団体の活動支援や事業の協力などを行っています。引き続き、市民との協働・対話を図り、地域の活動拠点としての充実に努めます。

期待に応える蔵書・情報源の構築

- ・ 蔵書全体に占める新しい資料の割合は、12,573点（昨年度より3,637点減）の新規受入により4.2%になっており、その内、地域行政資料の新規受入れは779点増となっています。資料収集については、絶版や個人出版で流通していないケースもあり購入だけでは限界があることから、寄贈受入の仕組みの検討や写真記録の収集など、引き続き資料収集に取り組み、市や地域の動きに合わせた情報など、デジタル資料も含めて魅力的な蔵書・情報源の構築をするとともに、取組の手法などについて検討を行います。

施策（大項目）10	石狩文化の活用による自主的・主体的活動の支援
-----------	------------------------

●大項目のねらい

心の豊かさを求める時代において、市民がともに感動し、交流を図りながら、生活にうるおいや生きがいを見出すことが求められています。

質の高い、個性的な文化の創造を図るため、多様な芸術文化に触れ、創作活動への支援を図るとともに、「心のふるさと」としての地域を再認識し、新たな地域文化の創造を目指した環境づくりを進めます。

●平成24年度の取組状況

芸術文化に親しむ機会や交流の場の充実

- ・ 石狩市民文化祭実行委員会は、第57回石狩市民文化祭のほか、共催事業、協賛事業への支援を通して、市民が芸術文化に親しむ機会や発表・交流する場の充実を図りました。

第57回石狩市民文化祭の実施状況

部門	会場	実施日	内 容
展示会場	花川南コミセン	10月19日 ～21日	絵画・写真、書道、文芸（俳句・短歌）、手工芸、生け花等の作品展示、陶芸など
舞台会場	花川北コミセン	10月20日 21日	日本舞踊、伝承芸能（詩吟、詩舞、三味線、琴、大正琴）、洋舞（フラダンス、バレエ、バトントワリング）など
厚田生涯学習フェスティバル	厚田総合センター	11月11日	〔舞台〕厚田区小学校音楽のつどい（器楽演奏等）、サークル発表（和太鼓、詩吟・剣詩舞等）〔展示〕厚田区小中学生の作品展示（絵画・書道等）、サークル発表（手芸、絵画、書道等）
浜益区文化祭	浜益コミセン	11月4日	〔舞台〕太鼓、詩吟、舞踊、カラオケ、浜益小劇場など、〔展示〕写真、手工芸、ステンドグラスなど
クリスマスコンサート	花川北コミセン	12月15日	出演団体／石狩エンジェル・クレア少年少女合唱団、南線小学校リコーダークラブ、花川中学校吹奏楽部、花川北中学校吹奏楽部、花川南中学校吹奏楽部、樽川中学校吹奏楽部、石狩翔陽高等学校吹奏楽局、石狩南高等学校吹奏楽部

石狩市民文化祭共催事業の実施状況

事業名	会場	実施日	内 容
いしかり菊花展	花川北コミセン	11月1日 ～3日	〔展示品〕大菊（3本仕立て、1本仕立て、福助作り、布袋作り、だるま作り、数仕立て）小菊（懸崖作り、小懸崖作り、盆栽作り、玉作り、特作・アイデア作り）
オータムコンサート	花川北コミセン	10月6日	出演団体／当別レディス・ハーモニー、シルベールコール（銀の鈴）、女声コーラスいしかりエコー、石狩エンジェル・クレア少年少女合唱団、コル・ソナーレ、アルバ・コラーレ、石狩混声合唱団

- ・ 【再掲 P24】市内小中学生を対象に、音楽朗読劇や幅広い音楽ジャンルの鑑賞、演奏体験などの機会を提供する情操教育プログラムを実施しました。
- ・ 【再掲 P25】子どもたちが文化芸術に触れる機会の充実を図る取組として、情操教育プログラムに加え、札幌広域圏組合が行う札幌広域圏ジュニアコンサート（主に小学6年生対象）に9校が参加したほか、「俳句のまち・いしかり事業」では、子どもの部（市内小中学生対象）で1,866作品の応募があり、子どもたちが文化芸術に触れる機会

重点テーマ3 施策（大項目）10

となりました。また、石狩ユネスコ協会の「わたしの町のたからもの絵画展」への参加についても奨励しました。

- ・ 市役所ロビーで、ロビーコンサート（5回）及びロビー展（4回）を実施し、身近に芸術文化を発表、鑑賞できる場を提供しました。

市民の主体的な芸術文化活動の支援

- ・ 石狩市芸術文化振興奨励補助事業を通して、市民の自主的な芸術文化振興の奨励を図りました。
（交付団体等：女声合唱団コル・ソナーレ、アルバ・コラーレ、NPO 法人アートウォーム、聖月流日本吟剣詩舞道会石狩支部）
- ・ 地域創造アトリエ事業交付金を交付し、NPO 法人アートウォームが行う芸術文化活動（創作活動・情報発信活動）を支援しました。
- ・ 石狩市文化協会に対しては、拠出金を交付したほか、事業の周知や関係機関との調整等の側面的な支援を行いました。
なお、同協会は、石狩市学び交流センターへ事務所を構え、俳句のまちいしかりこども俳句コンテストや同センターを活用した主催講座の開催（2講座・11回）などを積極的に行っています。
- ・ 平成22年度に創設した「石狩市教育委員会文化芸術支援制度」に基づき、地域に根ざした企業などが、文化芸術に関する担い手となる団体等へ継続して寄付をしていただき、石狩市の文化芸術の振興に多大な貢献をしていただいています。

【関連する主要事業】事業評価シートを参照

石狩市文化協会運営支援事業・芸術文化振興奨励事業・芸術鑑賞会開催事業

=== 石狩市教育委員会外部評価委員会の意見（前年度）大項目10について =====

市民の自主的な文化活動や、文化活動へ触れる機会の創出については、非常に多岐に渡っており、市民の生活にうまいや生きがいを見出すものとして評価できる。

市民文化祭などの地域の文化活動振興については、より多くの市民の参加を図り、効果的に、継続して推進することを期待する。また、文化芸術支援制度については、支援企業の確保を図り、今後とも継続して実施することを期待する。

●分析・評価及び今後の方向性

【成果指標】

芸術文化に親しむ機会や交流の場の充実

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
市民文化祭の入場者延べ人数	人	6,193	5,843	6,113	5,515		↗

市民の主体的な芸術文化活動の支援

指標の名称	単位	プラン掲載実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
石狩市文化協会の主催・共催事業数	回	7	6	9	8	9	

【分析・評価及び今後の方向性】

芸術文化に親しむ機会や交流の場の充実

- ・ 市民文化祭については、実行委員会が自らのデザインによるポスターや各世代に配慮したプログラムの作成を行ったほか、「お茶席」「手打ちそばの実演・販売」を実施するなど、手づくり感の醸成と鑑賞環境の工夫を図りました。旧石狩市地域の会場では、厚田の風景を題材にした水彩画展アクアレールの受賞作品や浜益区の手芸作品を展示しました。また、厚田・浜益会場では、地域の特色を生かした内容で実施するとともに、舞台部門での旧石狩市地域からの参加がありました。今後もこのような地域間交流をはじめ、様々な工夫や取組などを支援します。
- ・ 【再掲 P29】情操教育プログラムについては、「おしゃべランド」「The music」に参加にした児童・生徒の95%以上が“面白かった・感動した”とアンケートで答えており、子どもたちの情操、豊かな感性、協調性やコミュニケーション能力などを育み、音楽が持つ可能性や素晴らしさを再認識してもらう事業として、今後も継続します。また、「あい風コンサート」は、様々なジャンルによる生演奏の鑑賞や、楽器の歴史等を学ぶ機会として、保護者・地域住民も参加できる形で実施しており、継続して取り組みます。なお、石狩美術館が閉館となり「美術館に行こう」が実施できなくなったことから、道事業「出張アート教室」を取り入れました。しかし、対象校に限られるなど課題もあることから、美術分野に限らず、広く情操を育む取組を検討します。
- ・ 【再掲 P29】子どもたちが芸術にふれる機会については、札幌広域圏ジュニアコンサートや石狩ユネスコ協会の絵画展、「俳句のまち・いしかり事業」への参加奨励など、引き続き、学校と連携し機会の充実を図ります。
- ・ ロビー展・ロビーコンサートについては、応募、集客とも堅調であり、市民の身近な芸術活動の発表・鑑賞の場として定着しているので、今後も継続して開催します。

市民の主体的な芸術文化活動の支援

- ・ 石狩市文化協会については、組織基盤の強化を図るため平成22年11月にNPO法人化を図り、また、平成23年度には活動拠点として石狩市学び交流センター内に事務所を設けており、当該施設を利用した活動や文化活動の担い手育成など積極的に展開し、芸術文化活動が一層市民に広がり質が高まるよう取り組んでいることから、引き続き支援します。
- ・ 石狩市芸術文化振興奨励補助事業については、4つの団体に補助を行いました。その内、1団体は30周年記念誌を作成し、3団体は記念演奏会を開催し合わせて約690人が来場しました。今後は、更に市民の自主的な文化芸術活動を促し、芸術文化に触れる機会を創出するため、補助事業の効果的な周知等を図りながら、継続して取り組みます。
- ・ 地域創造アトリエ事業交付金については、アートウォームを運営するNPO法人に補助を行いました。同施設は演劇・演奏公演などが行われるほか、子育て世代の親子が一緒に楽しめるカフェが併設され、芸術文化に触れることのできる身近な施設として、広く活用されるようになっていることから、今後とも、芸術文化及び教育活動の振興を図るため、同法人へ補助事業による支援と、助言・指導等側面的支援に努めます。
- ・ 文化芸術支援制度については、地元企業の支援が、文化芸術を担う団体の活動に直接的に活かされ、文化芸術振興策として有効であることから、今後もより多くの団体に支援がなされるよう、新たな支援企業等の確保に向けた制度のPRなどに努めます。

施策（大項目） 1 1	ふるさとを学び伝える取組の充実
-------------	-----------------

●大項目のねらい

郷土への理解と愛着を深め、文化・伝統を継承するため、文化財を適切に保護、保存し、その活用を図るとともに、ふるさとを学ぶ機会の充実を図ります。

●平成24年度取組状況

ふるさとの文化を学び伝える取組の充実

- 指定文化財となっている旧長野商店及び旧白鳥番屋（はまます郷土資料館）の内部公開を引き続き行いました。
また、浜益区においては、カフェ・ガル（旧適沢コミュニティセンター内）に資料展示コーナーを設けて文化財の展示を行うとともに、はまます郷土資料館の展示リニューアルを行いました。
- 文化財保護活動としては、「石狩弁天社の手水鉢」について、文化財保護審議会の答申を受け、市指定文化財の指定を行いました。
また、平成23年12月に石狩市文化財保護審議会に諮問した「これからの郷土資料の保存・展示のあり方について」は、平成24年度中に4回にわたって協議、現地調査が行われ、平成25年3月に答申を受けました。
- ボランティアについては、イベント活動のほかに標本の採集、処理、製作などの活動に協力を得るとともに、活動を通して参加者の知識向上につながるよう、専門的なレクチャーを盛り込んだプログラムを提供しました。また、自主的な活動の支援や、消耗品等の支援を行うことで、郷土への理解と愛着を深めることができる、魅力あるボランティア環境の整備を図りました。
また、各種の講座参加者などにPRを行い、参加者数の増加を図りました。
- テーマ展、体験講座・野外講座を開催し、石狩の自然や歴史について、実体験や実物を伴った学習機会を提供しました。

テーマ展（展示）の実施状況

タ イ ト ル	開 催 期 間
石狩の（ちょっとだけ）レアな貝	5月1日～6月25日
アイヌの工芸テンキ	7月4日～8月26日
子母澤寛の世界	7月11日～8月1日
傑作選！いしかり博物誌	9月22日～12月26日
資料館のお宝展 2013	12月22日～3月24日

体験講座・野外講座の状況

タ イ ト ル	開催日	参加者(人)	内 容
石狩ビーチコーマーズ／春の漂着物	4月15日	17	石狩浜の漂着物を観察・採集し、起源を考える。
特別講座「石狩海辺学＋北の自然史最前線！」 （北海道自然史研究会石狩大会（一般公開））	5月12日	42	北海道の自然史の最新トピックについての講座。
勾玉づくり教室	7月22日	26	古代のアクセサリー勾玉を作る。
親子体験講座 テンキ編み	7月24日、8月4日	16	アイヌの伝統工芸「テンキ」製作体験。
石狩ビーチコーマーズ／秋の漂着物	10月14日	15	石狩浜の漂着物を観察・採集し、起源を考える。

重点テーマ3 施策（大項目） 1 1

石狩大学博物学部(4科目)	11月10日、 17日	36(延べ)	石狩の自然や歴史に関する研究 成果を紹介する。
昆虫パラタクソミスト養成講座(初級)in 石狩	12月22日、 23日	12(延べ)	CISE ネットワークと共催
石狩ビーチコーマーズ／冬の漂着物	2月24日	9	石狩浜の漂着物を観察・採集し、 起源を考える。

- ・ 社会教育関連施設 4 館（市民図書館、砂丘の風資料館、市公民館、海浜植物保護センター）で、事業連携と情報の一元化を目的とし、「いしかり館ネットワーク」を構築し、石狩の海辺の自然誌についての情報発信として展示（10月27～11月1日、来場者約1,000人）及びトークイベント（10月27日、参加者70人）を「ウミベオロジー／石狩海辺学」と題し紀伊國屋書店札幌本店において開催するなど、連携講座や企画展示などを実施しました。
- ・ 石狩ファイルの刊行については、12月に4項目を追加し、砂丘の風資料館・市民図書館等で配布し、ホームページで公開しました。
また、石狩市広報「いしかり博物誌」（隔月・年6回掲載）のほか、資料館だより「エスチュアリ」（24年5月発行）や資料館研究紀要（25年3月発行）などを刊行し、あわせてホームページで公開するなど、学ぶ資料の整備と情報発信を行いました。

石狩ファイルの追加状況

- | |
|-------------------|
| 126 石狩の農業（先史・近世編） |
| 127 石狩市の花・木・鳥 |
| 128 石狩浜のハマナス |
| 129 浜益の指定文化財 |

【関連する主要事業】事業評価シートを参照
文化財情報発信事業・郷土研究会運営支援事業

=== 石狩市教育委員会外部評価委員会の意見（前年度）大項目11について =====

石狩市の文化・伝統については、市内外への情報発信を積極的に行ったこと、また、いしかり館ネットワークの構築は、評価できる。

石狩市の文化・伝統については、今後、大学を含めた教育機関との連携した取組や、歴史のある石狩川・地域に根付いた郷土芸能などをクローズアップし、より地域性を出した取組を行うことや、いしかり館ネットワークを推進し、参加者数の増加を図ることを期待する。

また、防災に役立つ過去の災害資料などのふるさとを学ぶ資料の充実を図り、無形文化財の調査等も推進するなど、今後とも文化財の活用や保護に力を入れることを期待する。

=====

●分析・評価及び今後の方向性

【成果指標】

ふるさとの文化を学び伝える取組の充実

指標の名称	単位	プラン掲載 実績	実績値				目標値
		H20	H22	H23	H24	H26	
市内3資料館の延べ入館者数	人	4,374	5,868	5,649	6,520	5,000	

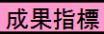
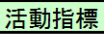
【分析・評価及び今後の方向性】

ふるさとの文化を学び伝える取組の充実

- ・ 今後も石狩紅葉山 49 号遺跡の保護・保存と砂丘の風資料館などでの学ぶ機会の提供に努めるほか、石狩市指定文化財旧長野商店及び旧白鳥番屋の公開や資料館に収蔵している資料をはじめとする文化・自然遺産の活用を図るとともに、調査研究を進め、研究紀要などでその成果を公表します。
- ・ 石狩、厚田、浜益各地域の指定文化財候補の調査を進めます。
また、浜益川下八幡神社の神楽など市内の伝統芸能（無形文化財）の調査を進めるとともに、記録保存に向けた取組を行います。
- ・ 石狩市郷土研究会は、市内の文化・歴史の調査などを行い、その成果は毎年会誌「いしかり暦」で公表しています。
今後も、こうした活動については継続して支援します。
- ・ ボランティアについては、ボランティア活動を通じて「ふるさとを学ぶ」という思いが満たされるとともに資質の向上が図られるよう、魅力あるボランティア環境の整備を図ります。また、各種講座や活動内容などを工夫し、参加者がボランティアに興味を持ち、関わるボランティアにとってもより進んだ学習活動となるよう努めます。
- ・ 石狩紅葉山 49 号遺跡から発見された木製品を活用した体験講座や展示を行います。また、遺跡を活用した土器づくり教室を実施します。
- ・ ふるさとを学ぶ資料の整備については、石狩市の自然・歴史・文化の解説書である「ふるさといしかり」の子ども版の作成について取り組みます。
- ・ 砂丘の風資料館では、資料館主催の講座・講演会や、市民カレッジ等と連携し学芸員の研究成果を反映した博物館講座の開催など、引き続き、ふるさとを学ぶ機会の充実を図ります。
- ・ いしかり館ネットワークについては、札幌市（紀伊國屋書店）で実施したイベントには多くの方が来場・参加し、石狩の自然や歴史について市外にも広く周知できたことから、平成 25 年度も同様のイベントを違ったテーマで開催できるよう取り組むほか、鮭と石狩の関わりをテーマにした展示（市民図書館）や、鮭を集めたイベントの開催など、50 回目を迎える「石狩さけまつり」の実行委員会と協力し、ふるさとを学ぶ機会の充実を図るとともに、引き続き、情報発信の一元化と効率的・効果的な連携事業の実施に向け取り組みます。
- ・ これからの郷土資料の保存・展示のあり方については、答申に基づき、社会教育関連施設とのネットワーク化を推進し、総合的に検討を進めます。
- ・ 資料館の運営状況（入館者数）は、砂丘の風資料館は、約 10%増、厚田資料室は、ボランティアグループの厚田資料室サポートの会の積極的な活動により約 34%の大幅な増加、はまます郷土資料館は約 13%の減となっています。
今後、更に一層魅力あふれる資料館の運営に取り組みます。
- ・ ふるさとを学ぶ資料の提供や、文化・自然遺産の保護・活用・展示、講座の質の向上には、学芸員体制の強化と学芸員個々の専門性の向上が不可欠なことから、調査研究活動を活発にして資質の向上を図り、引き続き、研究紀要などで研究成果を積極的に公表します。

平成25年度(24年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5 2 6	事業名	学力向上推進事業							
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち							
	策	2	学校教育の充実							
	策(小)	1	学習内容・学習指導の充実							
平成25年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	山下 和乃	電話	72-3171	内線	428
前年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	山下 和乃				
予算科目	会計	一般会計 (10款 1項 3目)			事業名	学力向上推進事業費				
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
根拠法令、条例等	エキスパートサポーターの職務に関する要綱									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 22 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市内小中学校	→	対象数 21 校
	児童生徒	→	対象数 5,193 人
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) 		
	各小中学校が学力向上対策に向けた様々な取組を進めやすくする。 児童生徒の学力・学習意欲が向上するようにする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) 		
	・全国学力・学習状況調査、CRT標準学力検査の分析と活用を図る。 ・よりきめ細やかな学習支援を行うため、エキスパートサポーターを南線小学校に配置し実施する。 ・全校を対象に、学力向上アクションプランを策定。(市の学力向上対策行動計画) ・学力向上対策拡大チームを設置し学力向上対策の研究と検討を行う。(対象:全校) ・その他学力向上に向けた学校支援と研究等。(チャレンジテスト、道外部指導者活用事業の実施検討)		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	石狩市教育プラン・次世代育成支援行動計画後期計画「こども・あいプラン」		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成24年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業の内容	事業費	財源内訳	単位	H22	H23	H24(見込)	H25(予算)
事業のコスト		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	3,665	3,737	3,737	3,881
	小計(A)		千円	3,665	3,737	3,737	3,881
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.50	0.01	0.20	H24特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	4,755	91	1,822	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	4,755	91	1,822	
	総コスト(A)+(B)		千円	8,420	3,828	5,559	
事業費の使途等	エキスパートサポーター報酬 3,737千円						

5 2 6 学力向上推進事業

活動指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	エキスパートサポーターの延べ活動授業時数	時間	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	1,003	1,051	945	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	学力向上対策チームの開催回数	回	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	3	4	3	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
成果指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	国語の授業の内容がよく分かる・どちらかといえばわかると答えた割合(小6・中3平均)	%	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	74	68	73	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	算数・数学の授業の内容がよく分かる・どちらかといえばわかると答えた割合(小6・中3平均)	%	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	67	60	67	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
			達成率				

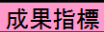
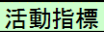
課長評価(1次)											
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法	●	効果的		行政の関与	●	市が実施すべき
			中位				中位				民間等でも実施可能
			低い				改善の余地あり				民間等が実施すべき
現状の課題		H24年度をもってモデル事業の最終年度となったが、CRTテストにおいて学力向上の成果が見られた。学力向上には、人的支援が不可欠であり、支援拡充に向けて事業予算を確保することが課題である。									
今後の方向性	事業内容	● 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止 モデル事業の成果を踏まえ、H25年度は、大規模校に配置。事業の成果をみるためには継続的に事業を実施するとともに、配置人数の増など人的支援の拡充に努める。									
	【参考】前年度2次(部長)評価	現行の実施に努めるとともに、学校力向上に関する総合実践事業や学校支援地域本部事業等の実践も踏まえ今後のあり方の検討に努める。									

事業に対する市民意見等									
なし									

部長評価(2次)		担当部長		百井 宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果	●	高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法	●	効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
			中位				中位				中位
			低い				改善の余地あり				低い
現状の課題		学力向上に関わる人的支援									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		継続的な事業の実施に努め、成果の把握を行い、事業の在り方について検討を行う。									

平成25年度(24年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5 2 1	事業名	外部指導者活用事業							
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち							
	策	2	学校教育の充実							
	策(小)	1	学習内容・学習指導の充実							
平成25年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	吉田 学	電話	72-3171	内線	432
前年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	吉田 学				
予算科目	会計	一般会計 (10款 1項 3目)			事業名	外部指導者活用事業費				
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態	☐ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他									
根拠法令、条例等	外部指導者活用事業交付金要綱									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 22 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市内小中学校	→	対象数 21 校
	市内児童生徒	→	対象数 5,193 人
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) 		
	各小中学校で児童生徒の学力向上や体力・運動能力向上などに向け、外部指導者等の活用により、授業や補充的学習、部活動などの場面で、一人ひとりに応じた、きめ細かな指導ができるようにする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) 		
	スクール・アシスタント・ティーチャー(通称:SAT~学生・地域のボランティア指導者)、学力向上サポーター(教員免許を持つ外部指導者)、部活動外部指導者を活用する学校の活用経費の一部を交付する。(外部指導者活用事業交付金)		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	石狩市教育プラン・次世代育成支援行動計画後期計画「こども・あいプラン」		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成24年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業の内容	事業費	財源内訳	単位	H22	H23	H24(見込)	H25(予算)
			千円				
事業費の使途等	事業費	国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	3,510	3,245	3,911	4,392
	小計(A)		千円	3,510	3,245	3,911	4,392
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.40	0.10	0.10	H24特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	3,804	911	911	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	3,804	911	911	
	総コスト(A)+(B)		千円	7,314	4,156	4,822	
事業費の使途等	○学力向上対策分						
	学生SAT・地域SAT活用費(謝金)			418千円			
	学力向上サポーター活用費(謝金)			2,600千円			
	上記活用に係る事務費			14千円			
	○体力・運動能力向上対策分						
	スポーツ支援SAT活用費(謝金)			672千円			
	部活動外部指導者活用費(謝金)			120千円			
事業費の使途等	○上記に関わるスポーツ傷害保険料			87千円			

5 2 1 外部指導者活用事業

活動指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	SAT配置人数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	92	154	156	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	学力向上サポーター配置人数	人	目標値	3	4	3	4
			実績値	4	4	3	
			達成率	133.3	100.0	100.0	
成果指標	部活動外部指導者配置人数	人	目標値	5	5	5	5
			実績値	6	6	6	
			達成率	120.0	120.0	120.0	
	SAT活動日数	日	目標値	未設定	590	590	590
			実績値	468	636	668	
			達成率	#VALUE!	107.8	113.2	
	学力向上サポーターの延べ活動時間数	時間	目標値	1,260	1,440	1,244	1,300
			実績値	1,182	981	1,300	
			達成率	93.8	68.1	104.5	
	部活動外部指導者活動日数	日	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	392	494	607	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	

課長評価(1次)											
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法	●	効果的		行政の関与	●	市が実施すべき
			中位				中位				民間等でも実施可能
			低い			改善の余地あり				民間等が実施すべき	
現状の課題		学生SATの確保に向け、大学との連携を密に行う必要がある。学力向上サポーターの拡充について、学校現場からのニーズは極めて高く、検討を行う必要がある。									
今後の方向性	事業内容	● 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		学生SATの確保に向けて、教員課程の学生を主として関係教育機関に働きかける。また、学力向上サポーターの拡充に努める。									
	【参考】前年度2次(部長)評価	学習支援においては、学生の確保の一方、地域の教育関係者の協力による安定的な体制を整備するとともに、安全安心やスポーツ、文化面など各種の外部指導者の総合的把握をするなど効果的な活用に努める。									

事業に対する市民意見等									
なし									

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義		大きい
		●	中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法	●	効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
		●	中位				中位				中位
	低い		改善の余地あり			低い					
現状の課題		外部指導者の確保と総合的な学校支援体制									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		授業支援はもとより、放課後指導や見守り活動など、総合的な支援の検討に努める。									

平成25年度(24年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5 2 2	事業名	英語指導助手招致事業							
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち							
	策	2	学校教育の充実							
	策(小)	1	学習内容・学習指導の充実							
平成25年度担当	所管	生涯学習部総務企画課/学校教育課	課長	上田 均/姫谷学俊	担当	高石 康弘/山下 和乃	電話	72-3169	内線	402
前年度担当	所管	生涯学習部総務企画課/学校教育課	課長	上田 均/姫谷学俊	担当	高石 康弘/山下 和乃				
予算科目	会 計	一般会計		(10 款 1 項 2 目)	事業名	英語指導助手招致事業費				
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
根拠法令、条例等										
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 3 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市立小中学校	→	対象数 21 校
	市立小学校3・4年及び5・6年の児童及び中学校の生徒	→	対象数 3,998 人
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		
	英語教育の充実を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		
	・市立中学校に英語指導助手(ALT)を派遣し、英語教員とともに授業を行う。 ・英語指導助手の採用については、(財)自治体国際化協会の斡旋を受け決定する。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	石狩市教育プラン「基本計画」		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
小学校から、配置時間増に関する要望意見がある。			
⑥平成24年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
対象を小学校3・4年生に拡大した。			

事業 の コスト	事業費		単位	H22	H23	H24(見込)	H25(予算)	
			千円					
			千円					
			千円					
			千円					
			千円	7,862	11,128	15,834	16,361	
	小計(A)		千円	7,862	11,128	15,834	16,361	
	人件費等	正職員従事人数(担当課)		人	0.20	0.50	0.50	H24特定財源名及び補助率・充当率
		正職員(両支所生涯学習課)		人	0.60	0.40	0.40	
		従事正職員の人件費		千円	7,607	8,198	8,198	
その他間接経費		千円						
小計(B)		千円	7,607	8,198	8,198			
総コスト(A)+(B)			千円	15,469	19,326	24,032		
事業費 の 使途等	H24支出内訳(見込)							
	報酬		13,210千円					
	費用弁償		579千円					
	備品購入費		1,168千円					
	負担金		877千円					
	合計		15,834千円					

5 2 2 英語指導助手招致事業

活動指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	英語指導助手派遣中学校数	校	目標値	8	8	8	8
			実績値	8	8	8	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
	英語指導助手派遣小学校数	校	目標値		13	13	13
			実績値		13	13	
			達成率		100.0	100.0	
			目標値				
成果指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	英語指導助手を活用した授業日数(中学校)	日	目標値	265	265	265	295
			実績値	262	259	271	
			達成率	98.9	97.7	102.3	
	小学校外国語活動(5・6年生)のうち英語指導助手を活用した授業日数	日	目標値	95	215	395	425
			実績値	89	205	345	
			達成率	93.7	95.3	87.3	
			目標値				
			実績値				
			達成率				

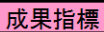
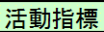
課長評価(1次)											
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的		行政の関与	●	市が実施すべき
		●	中位			●	中位				民間等でも実施可能
			低い				改善の余地あり				民間等が実施すべき
現状の課題		地域性や校種を考慮しながら必要最低限の人員を有効的に活用するための工夫が必要。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		H24年度から小学校支援向けALTを1名増員し、小学3年4年生外国語活動を希望する小学校(12校)に派遣した。H25年度からは、市内全ての小学校で外国語活動を実施予定。									
	【参考】前年度2次(部長)評価	市として外国語活動、国際理解教育の充実を目指していることから、実践を通し効果的な手法等について検討と実践に努める。									

事業に対する市民意見等									
なし									

部長評価(2次)			担当部長		百井 宏己						
市民意見等に対する回答				反映							
				一部反映							
				不採用							
				実施済み							
				参考							
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義		大きい
		●	中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
			中位			●	中位				中位
			低い				改善の余地あり				低い
現状の課題			課長評価と同様								
今後の方向性			○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止								
			外国語活動の推進においては、今後の国の動向にも注視しつつ、市独自施策の推進と充実策の検討に努める。								

平成25年度(24年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5	2	23	事業名	学校図書館充実事業				
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち						
	策	2	学校教育の充実						
	施策(小)	5	学校図書館の整備						
平成25年度担当	所管	石狩市民図書館		課長	板谷 英郁	担当	寺尾 陽助	電話	72-2000 内線
前年度担当	所管			課長		担当			
予算科目	会計	一般会計 (10款 1項 4目)		事業名	学校図書館等充実事業				
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)								
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
根拠法令、条例等	学校図書館法								
事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 平成 24 年度 ~ 未定 年度								

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	小中学生	→	対象数 5,191 人
	教員	→	対象数 425 人
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) 		
	●子どもたちの豊かな心を育むための読書活動の推進 ●子どもたちの自発的、主体的な学習活動の支援と授業改善や充実を図るための教員サポート ●子どもの居場所づくりや地域への開放など社会の多様な要請への対応		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) 		
	●蔵書の充実 : 学校図書館の環境整備、図書購入の強化(H24~H26) ●司書配置 : 3校 ・学校司書の配置 1校(緑苑台小学校に1名) ※既配置校 双葉小学校、南線小学校 ・分館職員(司書)の派遣 1校(八幡小学校に週2回:職員2名の2週間交代制) ・分館機能の統合 1校(厚田小) ●施設の整備 : 1校(花川小学校)		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	石狩市教育プラン、石狩市子どもの読書活動推進計画、石狩市民図書館ビジョン2010、学校図書館等整備方針(平成24年度より市民図書館で学校図書館充実事業として、重点的に取り組むことになった)		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
議会:市民ネット石狩から司書配置校増の要望あり、PTA・学校関係者:未配置校を中心に配置の要望あり			
⑥平成24年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
●厚田小学校図書館に分館機能を統合したことで地域の拠点となっているほか、子どもたちの読書環境が充実した。 ●蔵書購入の強化により、学校図書標準の達成率が向上した。 ●学校に配置している司書の連絡会議を毎月1回開催(年間12回)			

事業の内容	事業費	財源内訳	単位	H22	H23	H24(見込)	H25(予算)
			千円				
事業のコスト	事業費	国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円			24,552	30,425
		小計(A)	千円	0	0	24,552	30,425
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人			0.90	H24特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	0	0	8,558	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	0	0	8,558	
事業費の使途等	総コスト(A)+(B)		千円	0	0	33,110	
	●学校司書報酬 5,612千円(双葉小、南線小、緑苑台小) ●学校図書購入費 11,000千円 ●厚田小学校・花川小学校備品購入費 7,364千円 ●回線使用料などのその他経費 576千円(Tools使用料、厚田小学校図書館開館式経費等)						

5 2 23 学校図書館充実事業

活動指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	学校司書の配置校数(累積)	人	目標値	6	6	6	6
			実績値	1	2	3	
			達成率	16.7	33.3	50.0	
	学校図書館整備対象校数	校	目標値	2	2	2	2
			実績値	2	1	3	
			達成率	100.0	50.0	150.0	
	学校図書館担当者会議開催回数	回	目標値	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
成果指標	指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	新規司書配置校の貸出点数(H24:緑苑台小)	点	目標値			15,000	20,000
			実績値			15,915	
			達成率			106.1	
	職業体験受入数	校	目標値			8	8
			実績値			8	
			達成率			100.0	
	ブックボックス貸出点数	点	目標値	7,800	7,800	7,800	7,800
			実績値	7,605	10,270	11,831	
			達成率	97.5	131.7	151.7	

課長評価(1次)											
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法		効果的		行政の関与	●	市が実施すべき
			中位			●	中位				民間等でも実施可能
			低い				改善の余地あり				民間等が実施すべき
現状の課題		司書を配置した小学校での実績や学校からの評価を見るとたいへん有効な事業であるが、全校への配置は予算等の面から時間がかかる。									
今後の方向性	事業内容	● 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		小規模校の配置についても、職員を派遣することを検討するなどして、子どもたちの読書環境を充実させたい。									
	【参考】前年度2次(部長)評価										

事業に対する市民意見等									
なし									

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法	●	効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
			中位				中位				中位
			低い				改善の余地あり				低い
現状の課題		蔵書の整備と人的支援									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		学校図書館等整備方針に基づき、計画的整備に努める。									

平成25年度(24年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5 2 9	事業名	特別支援教育運営事業							
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち							
	策	2	学校教育の充実							
	策(小)	2	特別支援教育の推進							
平成25年度担当	所管	生涯学習部 教育支援センター	課長	森 朋代	担当	森 真弓	電話	76-8000	内線	452
前年度担当	所管	生涯学習部 教育支援センター	課長	森 朋代	担当	森 真弓				
予算科目	会計	一般会計 (10款 1項 4目)		事業名	教育支援センター事業費					
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
根拠法令、条例等	学校教育法									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 16 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	学校生活や学習上での支援を必要とする児童生徒及びその保護者	→	対象数 不詳
	市内小中学校の教職員	→	対象数 21 校
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) 		
	学校生活や学習上での支援を必要とする児童生徒及びその保護者への相談の充実を図る。 対応する教職員への支援の充実を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) 		
	・特別支援教育コーディネーターの補助等を行う地域コーディネーター及び学級担任の補助を行う特別支援教育支援員を学校に配置する。 ・特別支援教育コーディネーターが有効に支援を行えるように連携を密にする。 ・就学カンファレンスチーム会議(大学教授、臨床発達心理士、特別支援学級担任等で構成)を開催し、支援の必要な児童生徒に関する検討・相談を行う。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	平成19年度より特別支援教育が学校教育法に位置づけられ、すべての学校において、児童生徒等の支援をさらに充実していくこととなった。		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成24年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
全校を学校巡回し、学校生活や学習上での支援を必要とする児童生徒の実態把握を行うことにより、学校との連携が密になり、支援の充実が図られた。			

事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H22	H23	H24(見込)	H25(予算)
			千円				
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	19,719	24,654	25,354	28,595
	小計(A)		千円	19,719	24,654	25,354	28,595
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	1.25	1.25	2.00	H24特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	11,886	11,886	19,018	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	11,886	11,886	19,018	
	総コスト(A)+(B)		千円	31,605	36,540	44,372	
事業費の 使途等	・地域コーディネーター報酬・通勤手当(5名) 9,334千円 ・特別支援教育支援員謝金(21名) 12,600千円 ・検査器具、特別支援学級教材用備品 508千円 ・特別支援学級運営消耗品等 1,505千円 ・その他経費 1,407千円						

5 2 9 特別支援教育運営事業

活動指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	地域コーディネーターの配置人数	人	目標値	6	6	5	6
			実績値	5	5	5	
	目標: 予算措置数		達成率	83.3	83.3	100.0	
	特別支援教育支援員の学校配置数	人	目標値	21	21	25	21
			実績値	11	21	21	
	目標: 予算措置数		達成率	52.4	100.0	84.0	
成果指標	小中学校における特別支援学級の設置校数	校	目標値	21	21	21	21
			実績値	16	17	18	
	目標: 事業計画(全小中学校)		達成率	76.2	81.0	85.7	
	指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	小中学校における特別支援学級在籍児童生徒数		目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	79	101	107	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
成果指標			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)									
有効性	期待する成果	● 上がっている	効率性	費用対効果	高い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい	
		中位			● 中位			中位	
		上がっていない			低い			小さい	
	施策への貢献度	● 高い		事業の実施方法	効果的		行政の関与	● 市が実施すべき	
中位		● 中位	民間等でも実施可能						
低い		改善の余地あり	民間等が実施すべき						
現状の課題		小中学校への支援システムを確立すると共に、保護者への相談を充実させる必要がある。							
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止							
		支援を必要とする児童生徒は増加しており、ニーズも多様化しているので、現状のシステムを関係機関と協議しながら工夫、改善を図る。							
	【参考】前年度2次(部長)評価	教育支援センターを中心に関係機関と連携を図り、児童生徒、保護者と学校を交え、実態の把握やきめ細かな支援のあり方などを丁寧に対応するとともに、指導、相談や具体的な支援に関わる人的体制の充実に努める。							

事業に対する市民意見等									
なし									

部長評価(2次)		担当部長	百井宏己						
市民意見等に対する回答		反映							
		一部反映							
		不採用							
		実施済み							
		参考							
有効性	期待する成果	● 上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい
		中位			● 中位	中位			
		上がっていない			低い	小さい			
	施策への貢献度	● 高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	● 高い
		中位			● 中位	中位			
		低い			改善の余地あり	低い			
現状の課題		支援を必要とする児童生徒の増加							
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止							
今後の方向性		関係機関・団体との連携を図り、支援の充実に努める。							

平成25年度(24年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5	2	20	事業名	スクールカウンセラー設置事業					
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち							
	策	2	学校教育の充実							
	策(小)	4	いじめなどの問題行動や不登校への対応							
平成25年度担当	所管	生涯学習部教育支援センター	課長	西田 正人	担当	川畑 昌博	電話	76-8000	内線	458
前年度担当	所管	生涯学習部教育支援センター	課長	西田 正人	担当	川畑 昌博				
予算科目	会計	一般会計 (10款 1項 4目)			事業名	教育支援センター事業費				
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
根拠法令、条例等										
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 7 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	児童生徒、保護者及び教員等	→ 対象数	7,000 人
		→ 対象数	
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		成果指標
	児童生徒や保護者などの悩み、精神的不安を解消、軽減し、児童生徒が良好な学校生活を送ることができるようにする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		活動指標
	市内小中学校にスクールカウンセラー(臨床心理士 ※以下SCとする)を週1~2回配置する。 ※道費4名、市費1名		
	<SCの業務> ・児童生徒や保護者等からの相談に対応し、不安の解消や心のケアを行う。 ・長期欠席児童生徒や問題を抱える児童生徒に対し、家庭訪問や電話並びに保護者への支援も行う。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	平成7年度に文部科学省が不登校や問題行動の未然防止や早期発見、早期解決のため、児童生徒や保護者の悩みや不安、ストレスを解決することを目的に「心の専門家」であるSCを全国全ての中学校に配置をすすめてきた。		
⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
議会などで、市内小中学校全てにSCを配置し、勤務日数も増やすべきとの意見があった。			
⑥平成24年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
市内の小学校で最も児童数が多い、南線小学校にスクールカウンセラーを配置し、子どもや保護者が抱える問題に早期から対応することができた			

事業の内容	事業費	財源内訳	単位	H22	H23	H24(見込)	H25(予算)
事業のコスト	事業費	国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	2,075	2,160	2,727	2,864
		小計(A)	千円	2,075	2,160	2,727	2,864
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.25	0.25	0.25	H24特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	2,203	2,377	2,377	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	2,203	2,377	2,377	
	総コスト(A)+(B)		千円	4,278	4,537	5,104	
事業費の用途等	・スクールカウンセラー報酬 2,532 千円						
	・相談用携帯電話料 195 千円						

5 2 20 スクールカウンセラー設置事業

活動指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	スクールカウンセラー年間活動延べ日数	日	目標値	320	312	288	356
			実績値	320	304	314	
			達成率	100.0	97.4	109.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	相談件数	件	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	669	719	997	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)									
有効性	期待する成果	● 上がっている	効率性	費用対効果	高い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい	
		中位			● 中位			中位	
		上がっていない			低い			小さい	
	施策への貢献度	● 高い		事業の実施方法	効果的		行政の関与	● 市が実施すべき	
		中位			中位			民間等でも実施可能	
		低い			● 改善の余地あり			民間等が実施すべき	
現状の課題		・問題行動等の未然防止や早期発見、早期解決を図るために、これまで以上に教職員等との連携を密にしていく必要がある。							
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止							
		・学校等の関係機関等の現状や意見を聞きながら、スクールカウンセラーの勤務校の増や勤務日数の増などの改善に向けて取り組む。							
	【参考】前年度2次(部長)評価	学校とスクールカウンセラー、ふらっとくらぶ(教育支援教室)及びその他関係機関等の意見を十分聞きながら、引き続きスクールカウンセラーの勤務日数の増など改善に向けて取り組む。							

事業に対する市民意見等									
なし									

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い	事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い	
			中位		●	中位				中位	
			低い			改善の余地あり				低い	
	現状の課題		勤務日数の増と人材の確保								
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		道費SCの配置増を要望していくとともに、関係機関等との連携を図り、効果的運用に努める。									

平成25年度(24年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5	2	21	事業名	不登校児童生徒支援事業				
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち						
	策	2	学校教育の充実						
	策(小)	4	いじめなどの問題行動や不登校への対応						
平成25年度担当	所管	生涯学習部 教育支援センター		課長	西田 正人	担当	川畑 昌博	電話	76-8000 内線 458
前年度担当	所管	生涯学習部 教育支援センター		課長	西田 正人	担当	川畑 昌博		
予算科目	会計	一般会計 (10款 1項 4目)		事業名	教育支援センター事業費				
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性) ☒ 高い ☐ 低い								
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
根拠法令、条例等									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 13 年度 ~ 未定 年度								

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	長期欠席児童生徒	→	対象数 人
	市内小中学校	→	対象数 21 校
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		成果指標
	長期欠席児童生徒の学校復帰及び社会的自立を支援する。 長期欠席児童生徒の復帰に向けた学校環境を整備する。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		活動指標
	石狩市教育支援教室(ふらっとくらぶ)の運営 ・集団生活への適応・情緒の安定、基礎学力の補充、生活習慣の改善のための相談・適応指導を行う。 ・地域コーディネーター(不登校担当)4名、学生ボランティアを配置する		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
	⑥平成24年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果		
家庭や保護者との連絡・連携を密にして家庭での生活改善に取り組んでもらい、継続した通級やひきこもりの改善といった効果があった			

事業の内容	事業費	財源内訳	単位	H22	H23	H24(見込)	H25(予算)
事業のコスト	事業費	国庫支出金	千円				
		道支出金	千円	1,832	1,356	1,148	1,144
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	3,246	6,820	6,769	9,029
		小計(A)	千円	5,078	8,176	7,917	10,173
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	1.25	1.25	0.75	H24特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				スクールソーシャルワーカー活用事業
		従事正職員の人件費	千円	11,016	11,886	7,132	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	11,016	11,886	7,132	
事業費の使途等	総コスト(A)+(B)		千円	16,094	20,062	15,049	
	・青少年育成支援アドバイザー配置			7,477 千円			
	・地域、学生ボランティア謝金			123 千円			
	・その他経費			317 千円			

5 2 21 不登校児童生徒支援事業

活動指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	ふらっとくらぶ在籍者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	10	13	12	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	ふらっとくらぶ開設日数	日	目標値	238	238	未設定	未設定
			実績値	238	238	238	
			達成率	100.0	100.0	#VALUE!	
成果指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	学校復帰人数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	15	16	未確定	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
			達成率				

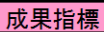
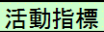
課長評価(1次)											
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法		効果的		行政の関与		市が実施すべき
			中位				中位			●	民間等でも実施可能
			低い			●	改善の余地あり				民間等が実施すべき
現状の課題		・不登校児童生徒が抱える課題は複雑化、多様化しており、学校との情報交換を密に図っていくとともに、個々に対応できる人材の確保が必要である。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		・該当児童生徒とその保護者に対して、家庭訪問等、引き続き粘り強く丁寧な個別の支援方策を関係機関と協議しながら、工夫・改善を図る。									
	【参考】前年度2次(部長)評価	・不登校児童生徒やその保護者に対して、家庭訪問等の支援方策を関係機関と協議しながら、引き続き改善に向けて取り組む。・ふらっとくらぶの運営等について、市民団体等との協働を検討していく。									

事業に対する市民意見等									
なし									

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
			中位			●	中位				中位
			低い				改善の余地あり				低い
現状の課題		課長評価と同様									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		課長評価と同様									

平成25年度(24年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5 2 4	事業名	奨励プログラム推進事業							
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち							
	策	2	学校教育の充実							
	策(小)	1	学習内容・学習指導の充実							
平成25年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	吉田 学	電話	72-3171	内線	432
前年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	吉田 学				
予算科目	会計	一般会計 (10款 1項 3目)			事業名	奨励プログラム推進事業費				
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態	☐ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他									
根拠法令、条例等	学校奨励プログラム等推進事業交付金要綱									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 22 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市内小中学校	→	対象数 21 校
	市内児童生徒	→	対象数 5,193 人
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) 		
	各小中学校が総合的な学習の時間などにおいて、市が奨励する「環境教育」「人権教育」「平和教育」「国際理解教育」などの今日的な教育課題に関する教育活動を積極的に実施できるよう支援する。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) 		
	【奨励プログラム】 ●教育環境 ●人権教育 ●平和教育 ●国際理解教育 上記の奨励プログラムのほか、学校独自の特色ある教育活動(キャリア教育、連携教育、食育、学校間交流など)に取り組む学校の活動経費の一部を交付する。(学校奨励プログラム等推進事業交付金)		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	石狩市教育プラン		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成24年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H22	H23	H24(見込)	H25(予算)
			千円				
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	5,448	5,534	5,583	5,928
		小計(A)	千円	5,448	5,534	5,583	5,928
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.40	0.05	0.05	H24特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	3,804	455	455	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	3,804	455	455	
		総コスト(A)+(B)	千円	9,252	5,989	6,038	
事業費の 使途等	環境教育に関する取組			720千円			
	人権教育に関する取組			274千円			
	平和教育に関する取組			160千円			
	国際理解教育に関する取組			623千円			
	その他特色ある教育活動に関する取組 (連携教育、キャリア教育、食育、学校間交流など)			3,806千円			

5 2 4 奨励プログラム推進事業

活動指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	交付金交付学校数	校	目標値	21	21	21	21
			実績値	21	21	21	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
	目標: 予算措置数(全小中学校)		目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	奨励4項目のいずれかを実施した学校数	校	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	19	20	21	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	上記を体験した延べ児童生徒数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	6,666	8,027	8,532	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)											
有効性	期待する成果	☒	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	☒	大きい
			中位			☒	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	☒	高い		事業の実施方法	☒	効果的		行政の関与	☒	市が実施すべき
			中位				中位				民間等でも実施可能
			低い				改善の余地あり				民間等が実施すべき
現状の課題		従来学校が培ってきた特色ある教育とバランスを取りながら、引き続き奨励プログラムを実施する必要がある。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ☒ 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		各学校が特色や地域性を活かしながら、今日的な教育課題(特に奨励4部門)に取り組めるよう事業を進める。									
	【参考】前年度2次(部長)評価	現代的課題への対応や、各学校の特色ある主体的な取組が推進されるよう、これまでの実績、成果などをまとめ学校や地域への情報提供を図るなど効果的な実践と理解が図られるよう努める。									

事業に対する市民意見等									
なし									

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法	●	効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
			中位				中位				中位
			低い				改善の余地あり				低い
現状の課題		課長評価と同様									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		全市的な取組や各学校の特色について、学校間の情報交換や市民への情報提供を進め、内容の充実と地域との連携が一層図られるよう努める。									

平成25年度(24年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5	2	11	事業名	石狩市教職員研修事業						
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち								
	策	2	学校教育の充実								
	策(小)	3	教育環境の整備								
平成25年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課		課長	蛭谷 学俊	担当	菅原 崇喜	電話	72-3171	内線	413
前年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課		課長	蛭谷 学俊	担当	佐々木 宏嘉				
予算科目	会計	一般会計 (10款 1項 4目)				事業名	その他義務教育振興事業費				
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)										
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他										
根拠法令、条例等											
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 15 年度 ~ 未定 年度										

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市内小中学校の教職員	→	対象数 425 人
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) 成果指標		
	市の教育目標の達成や今日的な教育課題を解決するため、専門的知識や実践的な指導力など、教職員の資質が向上するようにする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) 活動指標		
	夏休休業期間等を活用し、「地域理解」「今日的な教育課題」「教育以外の一般教養」をテーマとした市独自の教職員研修を実施する。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
	⑥平成24年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果		

事業の内容	事業費	財源内訳	単位	H22	H23	H24(見込)	H25(予算)
			千円				
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	31	21	35	100
		小計(A)	千円	31	21	35	100
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.30	0.30	0.30	H24特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	2,853	2,733	2,733	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	2,853	2,733	2,733	
		総コスト(A)+(B)	千円	2,884	2,754	2,768	

事業費の使途等	・講師謝金 30 千円 ・費用弁償 4 千円 ・食糧費 1 千円
---------	--

5 2 11 石狩市教職員研修事業

活動指標	指 標 名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	実施講座数	個	目標値	10	10	10	10
			実績値	10	11	13	
	目標:事業計画		達成率	100.0	110.0	130.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
		実績値					
		達成率					
成果指標	指 標 名	単位		H22	H23	H24	H25
	延べ参加人数	人	目標値	380	475	425	430
			実績値	365	419	523	
	目標:事業計画		達成率	96.1	88.2	123.1	
	教職員全体に占める受講者の割合	%	目標値	80	80	80	80
			実績値	71	78	88	
	目標:事業計画		達成率	88.8	97.5	110.0	
	受講した教職員のうち、有意義だったと感じた人の割合(アンケート調査)	%	目標値	80	80	80	80
実績値			95	94	95		
目標:事業計画		達成率	118.8	117.5	118.1		

課長評価(1次)											
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法	●	効果的		行政の関与	●	市が実施すべき
			中位				中位				民間等でも実施可能
			低い			改善の余地あり				民間等が実施すべき	
現状の課題		教職員に求められるスキルが多様化しており、今日的な課題に対応する内容を取り上げつつ、限られた時間における効率的な研修が必要。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		教職員に必要なスキルに対応するとともに、時勢に応じた研修を実施していく。									
	【参考】前年度2次(部長)評価	市独自の事業として先進的な事例と評価を得ている。市の特色を生かした教育内容や、課題としていることを的確にプログラム化するとともに、参加者のニーズにも応え魅力ある研修になるよう努める。									

事業に対する市民意見等									
なし									

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答											
		反映									
		一部反映									
		不採用									
		実施済み									
		参考									
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果	●	高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位				中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法	●	効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
			中位				中位				中位
			低い				改善の余地あり				低い
現状の課題		プログラムにおける要求課題と必要課題の把握・設定									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		これまでの成果を踏まえ、レベルの維持に努める。									

平成25年度(24年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5	2	15	事業名	教育情報化整備事業						
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち								
	策	2	学校教育の充実								
	策(小)	3	教育環境の整備								
平成25年度担当	所管	生涯学習部	学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	吉田 学	電話	72-3171	内線	432
前年度担当	所管	生涯学習部	学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	吉田 学				
予算科目	会計	一般会計 (10款 1項 4目)			事業名	教育情報化整備事業費					
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)										
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他										
根拠法令、条例等											
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 21 年度 ~ 未定 年度										

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市内小中学校	→	対象数 21 校
	市内小中学校教職員	→	対象数 425 人
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		
	学校ICT環境の整備を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		
	・校務用及び教育用パソコンを整備する。 ・書画カメラを整備する。 ・学校ICT環境(校内LAN等)の保守管理を行う。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	H18年度に「IT新改革戦略」が決定、教育の情報化は国の重要な目標に位置付け。 H20年度に「教育振興基本計画」が決定、国において教育情報化の達成目標が明確化。 H21年度に国の「経済危機対策」関連事業を活用し、学校ICT環境の整備充実を図った。		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成24年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
平成23年度に設置した石狩市教育情報化推進検討委員会から普通教室の環境整備、人的支援等の必要性について提言を受けた。今後、この提言を踏まえ、学校ICT環境の整備を図る予定。			

事業の内容	事業費	財源内訳	単位	H22	H23	H24(見込)	H25(予算)
			千円				
事業のコスト		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	17,685	8,134	6,583	15,245
	小計(A)		千円	17,685	8,134	6,583	15,245
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.20	0.25	0.40	H24特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	1,902	2,277	3,644	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	1,902	2,277	3,644	
	総コスト(A)+(B)		千円	19,587	10,411	10,227	
事業費の使途等	教育情報化推進検討委員会旅費等 59千円 情報化システム保守 1,935千円 校務用パソコン購入 624千円 書画カメラ購入 3,965千円						

5 2 15 教育情報化整備事業

活動指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	校務用パソコン整備台数	台	目標値	7	16	6	6
			実績値	9	42	7	
	目標:予算措置数		達成率	128.6	262.5	116.7	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
成果指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	校務用コンピュータの整備率	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	100.0	100.0	100.0	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
	普通教室の校内LAN整備率	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	100.0	100.0	100.0	
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)											
有効性	期待する成果	☒	上がっている	効率性	費用対効果	☒	高い	妥当性	事業実施の意義	☒	大きい
			中位				中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	☒	高い		事業の実施方法	☒	効果的		行政の関与	☒	市が実施すべき
			中位				中位				民間等でも実施可能
			低い				改善の余地あり				民間等が実施すべき
現状の課題		教育指導におけるICT機器の整備を進める必要がある。									
今後の方向性	事業内容	☐ 拡充 ☐ 手法改善 ☐ 縮小・統合 ☒ 継続・維持 ☐ 休止・廃止									
		教育情報化推進検討委員会の提言により策定した整備方針に基づき、今後の事業展開を行う。									
	【参考】前年度2次(部長)評価	書画カメラの計画的整備を図るとともに、今後の教育の情報化のあり方の検討を進め、具体的整備計画の作成に努める。									

事業に対する市民意見等									
なし									

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果	●	高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位				中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法	●	効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
			中位				中位				中位
			低い				改善の余地あり				低い
現状の課題		情報機器、ソフト、人的支援などの総合的な整備									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		課長評価と同様									

平成25年度(24年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5	2	17	事業名	小中学校施設整備事業					
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち							
	策	2	学校教育の充実							
	施 策 (小)	3	教育環境の整備							
平成25年度担当	所管	生涯学習部 総務企画課	課長	上田 均	担当	工藤 正美	電話	72-3169	内線	403
前年度担当	所管	生涯学習部 総務企画課	課長	上田 均	担当	工藤 正美				
予算科目	会 計	一般会計 (10 款 2・3 項 3 目)			事業名	小中学校施設整備事業費、中学校施設整備事業費				
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
根拠法令、条例等	耐震改修促進法、建築基準法									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 不詳 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	各小学校	→	対象数 13 校
	各中学校	→	対象数 8 校
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) 成果指標		
	安全で豊かな学校施設を確保するため各種整備事業を実施する。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) 活動指標		
	総合計画に基づく学校施設整備事業 ・耐震診断及び耐震改修事業 ・老朽化等に伴う大規模改修事業		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	平成23年度までに必要な学校についての耐震診断が完了した。		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成24年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
石狩中・聚富小中の屋内体育館の耐震化工事を行い、施設の安全性向上を図った。			

事業 の コスト				単位	H22	H23	H24(見込)	H25(予算)
	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円		226,729	46,333	101,831
			道支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	25,148	471,070	96,069	137,169
	小計(A)			千円	25,148	697,799	142,402	239,000
	人件費等	正職員従事人数(担当課)		人	0.65	0.65	0.60	H24特定財源名及び補助率・充当率 学校施設環境改善交付金 社会資本整備総合交付金
		正職員()		人				
		従事正職員の人件費		千円	6,181	5,921	5,465	
		その他間接経費		千円				
		小計(B)		千円	6,181	5,921	5,465	
	総コスト(A)+(B)			千円	31,329	703,720	147,867	

事業費の用途等	学校耐震化(設計・改修)	52488 千円
	大規模改修事業	89914 千円

5 2 17 小中学校施設整備事業

活動指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	耐震診断実施学校数	校	目標値	-	1	0	0
			実績値	-	1	0	
			達成率	#VALUE!	100.0	#DIV/0!	
	耐震補強改修事業実施学校数	校	目標値	-	3	2	2
			実績値	-	3	2	
			達成率	#VALUE!	100.0	100.0	
	大規模改修事業実施学校数	校	目標値	-	3	1	0
			実績値	-	3	1	
			達成率	#VALUE!	100.0	100.0	
成果指標	指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	学校耐震化率	%	目標値	86.3	94.7	97.3	100.0
			実績値	86.3	94.7	97.3	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
	大規模改修実施施設数	棟	目標値	0	5	1	0
			実績値	0	5	1	
			達成率	#DIV/0!	100.0	100.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)											
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法		効果的		行政の関与	●	市が実施すべき
			中位			●	中位				民間等でも実施可能
			低い				改善の余地あり				民間等が実施すべき
現状の課題		耐震補強工事に併せて、老朽化が著しい施設の大規模改修工事を予定していたが、東日本大震災後、国の交付金採択は耐震化や安全対策を優先する状況となっている。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		学校施設の改修工事を効率的に行うため、老朽化の現状把握に努める。									
		【参考】前年度2次(部長)評価	耐震化工事の終了後、老朽施設大規模改修を中心に計画的な改修を実施する。								

事業に対する市民意見等									
なし									

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果	●	高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法	●	効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
			中位				中位				中位
			低い				改善の余地あり				低い
現状の課題		課長評価と同様									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		今後の方向性		課長評価と同様							

平成25年度(24年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5	2	27	事業名	奨学金支給事業						
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち								
	策	2	学校教育の充実								
	策(小)	7	その他								
平成25年度担当	所管	生涯学習部	学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	山下 和乃	電話	72-3171	内線	428
前年度担当	所管	生涯学習部	学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	山下 和乃				
予算科目	会計	一般会計 (10款 1項 5目)			事業名	奨学金支給事業費					
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)										
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他										
根拠法令、条例等	石狩市奨学金支給条例										
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 昭和 49 年度 ~ 未定 年度										

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	経済的な理由によって修学困難な学生、生徒	→	対象数 不詳
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		
	学生、生徒を修学しやすくする。 成果指標		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		
	奨学金を支給する。 ・選考基準(経済的理由のために進学のために恵まれない者又は修学が困難な者について、学業、身体、家計などについて検討)に基づき奨学生を選考する。 ・奨学金は年1回支給(月額:高校5,000円、大学7,000円、入学支度金:高校5,000円、大学10,000円)		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
	議会において、選考基準・支給金額等、制度の見直しが必要ではないかとの意見があった。		
⑥平成24年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業 の コスト	事業費	財 源 内 訳	国庫支出金	千円	H22	H23	H24(見込)	H25(予算)
			道支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円	3,238	3,481	3,696	3,763
			一般財源	千円				
			小計(A)	千円	3,238	3,481	3,696	3,763
	人 件 費 等	正職員従事人数(担当課)	人	0.20	0.20	0.25	H24特定財源名及び補助率・充当率 石狩市奨学基金 100%	
		正職員()	人					
		従事正職員の人件費	千円	1,902	1,822	2,277		
		その他間接経費	千円					
小計(B)		千円	1,902	1,822	2,277			
総コスト(A)+(B)			千円	5,140	5,303	5,973		
事業費 の 使 途 等	奨学生への奨学金支給 3,696千円							

5 2 27 奨学金支給事業

活動指標	指標名	単位	項目	H22	2	H24	H25
	申請件数	件	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	92	84	85	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	支給人数	人	目標値	49	51	53	53
			実績値	47	50	54	
			達成率	95.9	98.0	101.9	
	目標:予算措置数		目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)											
有効性	期待する成果	☐	上がっている	効率性	費用対効果	☐	高い	妥当性	事業実施の意義	☒	大きい
		☒	中位			☒	中位			☐	中位
		☐	上がっていない			☐	低い			☐	小さい
	施策への貢献度	☐	高い		事業の実施方法	☒	効果的		行政の関与	☒	市が実施すべき
		☒	中位			☐	中位			☐	民間等でも実施可能
		☐	低い			☐	改善の余地あり			☐	民間等が実施すべき
現状の課題		基金を原資としていることから、将来的な財源確保が必要である。									
今後の方向性	事業内容	☐ 拡充 ☒ 手法改善 ☐ 縮小・統合 ☐ 継続・維持 ☐ 休止・廃止									
		本事業のような給付型の奨学金制度のニーズは極めて高いものの、社会環境の変化や時代の要請に応えた制度の在り方について、検討を行う。									
	【参考】前年度2次(部長)評価	社会の環境の変化や要請に応えた制度のあり方について、持続可能な仕組みとなるよう検討に努める。									

事業に対する市民意見等									
なし									

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法	●	効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
		●	中位				中位				中位
			低い				改善の余地あり				低い
現状の課題		社会の変化やニーズへの対応									
今後の方向性		○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		課長評価と同様									

平成25年度(24年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5	2	25	事業名	学校給食事業						
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち								
	策	2	学校教育の充実								
	施 策 (小)	7	その他								
平成25年度担当	所管	生涯学習部 学校給食センター		課長	成田 和幸	担当	佐々木 浩	電話	64-0876	内線	
前年度担当	所管	生涯学習部 学校給食センター		課長	伊藤 和哉	担当	佐々木 浩				
予算科目	会 計	一般会計		(10 款 6 項 2 目)	事業名	給食センター管理運営費					
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)										
実施形態	☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他										
根拠法令、条例等	学校給食法、石狩市学校給食センター条例、石狩市学校給食センター条例施行規則										
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 昭和 42 年度 ~ 未定 年度										

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	小中学校の児童・生徒	→	対象数 5,182 人
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) 成果指標		
	安全・安心でバランスの取れた学校給食を安定して供給できるようにする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) 活動指標		
	- 調理、配膳業務を石狩市公務サービス(株)に対して委託する。 - 配送業務を民間の運送業者に対して長期契約をする。 - 検食は、給食センター及び学校等で行う。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
	⑥平成24年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果		
- 検食について、検食簿の書式を改正し、平成25年度から全校統一書式での記録を行うこととした。 - 牛乳について、配送から配食までの温度上昇を防ぐため、牛乳保冷ケースを用意し、平成25年度から全校に配備した。			

事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H22	H23	H24(見込)	H25(予算)
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円	243,299	274,336	275,530	281,535
		一般財源	千円	187,348	133,740	183,139	187,085
		小計(A)	千円	430,647	408,076	458,669	468,620
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	1.50	1.50	1.50	H24特定財源名及び補助率・充当率 給食費収入
		正職員(石狩市給食センター、石狩市学校給食センター)	人	0.20	0.20	0.20	
		従事正職員の人件費	千円	16,165	15,485	15,485	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	16,165	15,485	15,485	
		総コスト(A)+(B)	千円	446,812	423,561	474,154	
事業費の 使途等	- 調理・配膳業務等 81,504 千円 - 配送業務 22,890 千円 - その他センター管理運営等 78,745 千円 - 食材費 275,530 千円						

5 2 25 学校給食事業

活動指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	給食提供日数	日	目標値	190	190	190	190
			実績値	190	190	190	
	目標:事業計画		達成率	100.0	100.0	100.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
成果指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	調理数	食	目標値	952,470	962,031	981,429	984,580
			実績値	956,987	977,983	984,373	
	目標:事業計画		達成率	100.5	101.7	100.3	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)											
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法		効果的		行政の関与		市が実施すべき
			中位			●	中位			●	民間等でも実施可能
			低い				改善の余地あり				民間等が実施すべき
現状の課題		学校給食の提供とともに、もう一つの役割として「食育」の展開が求められている。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		食育事業の充実も図る。									
		【参考】前年度2次(部長)評価	施設の整備を視野に入れた給食事業の運営について、総合的な検討に努める。								

事業に対する市民意見等											
なし											

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
		●	中位			●	中位				中位
			低い				改善の余地あり				低い
現状の課題		安全・安心を基本とする、食育を含めた効果的、効率的な運営									
今後の方向性		○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止 施設の整備を視野に入れた給食事業の運営について、総合的な検討を進める。									

平成25年度(24年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5	4	1	事業名	芸術鑑賞会開催事業					
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち							
	策	4	芸術・文化の振興							
	施 策 (小)	1	芸術・文化団体の支援や文化交流							
平成25年度担当	所管	生涯学習部 社会教育課	課長	東 信也	担当	齊藤 晶	電話	72-3173	内線	
前年度担当	所管	生涯学習部 社会教育課	課長	東 信也	担当	樋口 潤作				
予算科目	会 計	一般会計 (10 款 5 項 4 目)			事業名	文化振興事業費				
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
根拠法令、条例等										
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 不詳 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	石狩市民	→	対象数 61,000 人
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		成果指標
	教育活動の振興や地域における教育環境の改善、充実を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		活動指標
	・情報教育スタートプログラム「おしゃべランド」:全小学校1年生を対象に、ピアノの伴奏と照明効果によって演出した絵本の朗読劇 ・情報教育セカンドプログラム「The Music」(試行):中学1年生を対象に、プロのジャズミュージシャンが作り出す即興演奏と、生徒との競演を体験するプログラム ・あい風コンサート:小規模の小学校を対象に開催(聚富、八幡、生振、浜益、厚田、望来、石狩) ・ロビーコンサート・ロビー展:参加希望を募り月1回どちらかを開催		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	石狩市教育プラン		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成24年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業の内容	事業費	財源内訳	単位	H22	H23	H24(見込)	H25(予算)
			千円				
事業のコスト		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	717	1,277	786	1,086
	小計(A)		千円	717	1,277	786	1,086
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.60	0.81	0.81	H24特定財源名及び補助率・充当率
		正職員(厚田生涯学習課)	人	0.05	0.01	0.01	
		従事正職員の人件費	千円	6,181	7,469	7,469	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	6,181	7,469	7,469	
	総コスト(A)+(B)		千円	6,898	8,746	8,255	
事業費の使途等	おしゃべランド		404 千円				
	The Music		118 千円				
	あい風コンサート		210 千円				
	ロビーコンサート・ロビー展		50 千円				
	その他		4 千円				

5 4 1 芸術鑑賞会開催事業

活動指標	指 標 名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	情操教育スタートプログラム実施校	校	目標値	13	12	13	13
			実績値	13	12	13	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
	あい風コンサート実施校	校	目標値	7	7	7	7
			実績値	7	7	7	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
	ロビーコンサート・ロビー展実施回数(市民文化祭開催月を除く)	回	目標値	11	11	11	11
実績値			9	10	9		
達成率			81.8	90.9	81.8		
成果指標	指 標 名	単位		H22	H23	H24	H25
	情操教育スタートプログラム参加者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	579	626	560	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	あい風コンサート鑑賞者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	414	496	405	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	ロビーコンサート・ロビー展来場者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
実績値			1,651	1,542	1,541		
達成率			#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		

課長評価(1次)											
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義		大きい
		●	中位			●	中位			●	中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的		行政の関与	●	市が実施すべき
		●	中位			●	中位				民間等でも実施可能
			低い				改善の余地あり				民間等が実施すべき
現状の課題		学校、保護者の協力のもと、豊かな情操をはぐむため、質の高いプログラムを提供する必要がある。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		Themusic(試行プログラム)と、おしゃべランドについてこれまでの実績をふまえ改善を検討する。									
	【参考】前年度2次(部長)評価	各学校との連携を図り、効果的な子どもたちへの芸術鑑賞機会の提供に努める。									

事業に対する市民意見等									
なし									

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果	●	高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位				中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	●	
		●	中位			●	中位				中位
			低い				改善の余地あり				低い
現状の課題		内容の充実に向けた改善									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		情操教育の必要性がますます高まってきており、学校との連携を図り、更なる内容の充実に努める。									

平成25年度(24年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5	1	5	事業名	子どもの読書推進事業						
総合計画	テ	—	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち						
	施		策	1	生涯学習の推進						
	施	策	(小)	2	学習機会の整備・充実						
平成25年度担当	所管	生涯学習部 市民図書館		課長	板谷 英郁	担当	寺尾 陽助	電話	72-2000	内線	
前年度担当	所管	生涯学習部 市民図書館		課長	丹羽 秀人	担当	寺尾 陽助				
予算科目	会 計	一般会計			(10 款 5 項 9 目)	事業名	子どもの読書活動推進費				
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)										
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他										
根拠法令、条例等	子どもの読書活動の推進に関する法律、石狩市民図書館条例										
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 18 年度 ~ 未定 年度										

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	0歳から高校生まで	→	対象数 10,000 人
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		成果指標
	読書環境を整備することで、子どもの自主的な読書活動の推進を図り、読書習慣の形成を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		活動指標
	●ブックスタート事業により、10ヶ月健診会場でブックスタートパックを手渡し、絵本をとおした親子のふれあいの大切さを伝える。 ●ブックスタートフォローアップとして、1歳6ヵ月健診会場で読み聞かせ、図書館でのおはなし会の開催 ●小中学校の学級単位で児童書を貸出ししている(ブックンボックス)。 ●子どもの読書週間にあわせて、1日中おはなし会や特集展示を実施。 ※事業の実施に際し、全般に図書館ブックスタートボランティアやおはなしボランティア「びっくりばこ」等が関与。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	●ブックスタートは全国的に実施されている(実施市区町村自治体718 ※2010年2月28日現在) ●石狩市子どもの読書活動推進計画、石狩市民図書館ビジョン2010、石狩市教育プラン		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
●ブックスタート事業の開始については、市議会で要望が挙がった。 ●ブックンボックスについては、学校側から望む声が多い。			
⑥平成24年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
●ブックンボックスの配布回数や頻度について要望を伺い、2校で調整を図った。 ●2人目、3人目のお子さんがブックスタートの対象になっているケースが増えたことから、配付絵本の種類を増やした。			

事業の内容	事業費	財源内訳	単位	H22	H23	H24(見込)	H25(予算)
事業のコスト	事業費	国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	1,858	2,846	1,856	1,048
	小計(A)		千円	1,858	2,846	1,856	1,048
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.98	0.98	1.53	H24特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	9,319	8,927	13,891	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	9,319	8,927	13,891	
	総コスト(A)+(B)		千円	11,177	11,773	15,747	
事業費の用途等	●ブックスタート事業 438千円 ●ブックスタートフォローアップ用絵本購入 1,350千円 (学級団体貸出用図書含む) ●その他経費 68千円						

5 1 5 子どもの読書推進事業

活動指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	ブックスタートブックの配布人数	人	目標値	391			390
			実績値	386	390	382	
			達成率	98.7			
	おはなし会の開催回数	回	目標値	52	52	52	52
			実績値	55	67	66	
			達成率	105.8	128.8	126.9	
			目標値				
成果指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	児童書の貸出冊数	点	目標値	153,100	159,960	164,540	145,350
			実績値	159,127	155,413	146,317	
			達成率	103.9	97.2	88.9	
	おはなし会への参加人数	人	目標値	780	780	780	780
			実績値	853	1,071	1,190	
			達成率	109.4	137.3	152.6	
	学級団体貸出冊数	点	目標値	7,800	7,800	7,800	7,800
			実績値	7,605	10,270	11,831	
			達成率	97.5	131.7	151.7	

課長評価(1次)											
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的		行政の関与	●	市が実施すべき
		●	中位			●	中位				民間等でも実施可能
			低い				改善の余地あり				民間等が実施すべき
現状の課題		乳幼児へのフォローアップ強化を図っているが、今後は幼稚園児、小学生などへのフォローアップを更に進めていく必要がある。									
今後の方向性	事業内容	● 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		司書配置をした学校を中心に、子どもの読書環境の充実を図る。									
	【参考】前年度2次(部長)評価	ブックスタート以降のフォローアップの継続や、幼稚園保育園等との連携を始め、学校図書館に人的整備を図るなど子どもたちに対する継続的な読書環境の整備に努める。									

事業に対する市民意見等									
なし									

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位			●	中位			中位	
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
		●	中位			●	中位			中位	
		低い		改善の余地あり			低い				
現状の課題		課長評価と同様									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		課長評価と同様									

平成25年度(24年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5	6	3	事業名	沖縄県恩納村交流事業					
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち							
	策	6	国内・国際交流の推進							
	施策(小)	5	その他							
平成25年度担当	所管	生涯学習部 総務企画課	課長	上田 均	担当	吉田 雅人	電話	72-3169	内線	402
前年度担当	所管	生涯学習部 総務企画課	課長	上田 均	担当	吉田 雅人				
予算科目	会計	一般会計 (10款 1項 4目)			事業名	沖縄県恩納村交流事業拠出金				
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態	☐ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他									
根拠法令、条例等	石狩市・恩納村生徒交流事業実施要綱									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 2 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市内中学校生徒(対象校)	→ 対象数	不詳
		→ 対象数	
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) 成果指標		
	中学生による沖縄県恩納村と石狩市との相互の交流を促進する。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) 活動指標		
	石狩市・恩納村生徒交流委員会に対し、交流経費(派遣・受入)の一部を交付する。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	恩納村は昭和62年に、石狩市は平成元年に、国体の「ソフトボール」競技開催地となったことがきっかけで交流が始まった。		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
派遣にかかる個人負担の軽減が求められている。			
⑥平成24年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
平成24年度は受け入れを行ったが、高齢者住宅の除雪体験や平和について中学生が語り合うなど新たな企画を実施した。			

事業費	財源内訳	単位	H22	H23	H24(見込)	H25(予算)
		千円				
	国庫支出金	千円				
	道支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	178	844	214	1,102
	小計(A)	千円	178	844	214	1,102
人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.17	0.22	0.30	H24特定財源名及び補助率・充当率
	正職員()	人				
	従事正職員の人件費	千円	1,617	2,004	2,733	
	その他間接経費	千円				
	小計(B)	千円	1,617	2,004	2,733	
	総コスト(A)+(B)	千円	1,795	2,848	2,947	

事業費の使途等	・石狩市・恩納村生徒交流委員会拠出金	214 千円
---------	--------------------	--------

活動指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	派遣回数	回	目標値		1		1
			実績値		1		
			達成率		100.0		
	受入回数	回	目標値	1		1	
			実績値	1		1	
			達成率	100.0		100.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	派遣生徒数	人	目標値		20		18
			実績値		16		
			達成率		80.0		
	受入生徒数	人	目標値	20		20	
			実績値	18		17	
			達成率	90.0		85.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)

有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い			効果的	●		市が実施すべき		
		●	中位		●	中位			民間等でも実施可能		
			低い		改善の余地あり					民間等が実施すべき	
現状の課題		参加費用の多くは自己負担であり、参加しやすい環境を整備するためには、費用負担の軽減が必要である。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		参加しやすい環境づくりのため参加費用の負担軽減を図る。									
	【参考】前年度 2次(部長)評価	自己負担の軽減を図り、参加環境の整備を図るよう事業費の確保に努める。									

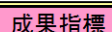
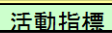
事業に対する市民意見等

なし

部長評価(2次)		担当部長		百井 宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義		大きい
		●	中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
		●	中位			●	中位				中位
	低い		改善の余地あり							低い	
現状の課題		課長評価と同様									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		友好都市提携も視点に入れた内容の充実に努める。									

平成25年度(24年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5 2 10	事業名	生徒指導上の諸問題対策事業							
総合計画 画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち				5	心豊かに学びいきいきと活動するまち		
	策	2	学校教育の充実				2	学校教育の充実		
	施 策 (小)	3	教育環境の整備				4	いじめなどの問題行動や不登校への対応		
平成25年度担当	所管	生涯学習部教育支援センター	課長	西田 正人	担当	川畑 昌博	電話	76-8000	内線	458
前年度担当	所管	生涯学習部教育支援センター	課長	西田 正人	担当	川畑 昌博				
予算科目	会 計	一般会計 (10 款 1 項 4 目)		事業名		教育支援センター事業費				
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
根拠法令、条例等	北海道青少年健全育成条例									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 16 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	児童生徒・保護者及び教員等	→ 対象数	7,000 人
		→ 対象数	
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) 		
	いじめや非行行為などの改善及び青少年の有害環境の整備や防犯対策などにより子どもたちの健全育成を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) 		
	・児童生徒のいじめや非行行為、問題行動などに対し、保護者や学校からの相談受理及び警察や児童相談所、その他関係機関と連携した支援を実施する。 ・いじめの早期発見、早期対応のため「いじめ実態調査」の実施や「いじめ通報ホットライン」を設置する。 ・北海道青少年健全育成条例に基づき市内コンビニエンスストア等に有害図書等の立ち入り調査を行う。 ・子どもたちを地域で見守る「スクールガード」や「声かけ運動」を推進する。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	・青少年の不良化防止を目的に道では北海道青少年健全育成条例を制定し、環境の整備などを行っている。 ・子どもたちが被害者となる殺傷事件やいじめの問題などが社会問題となり、それらへの対応が強化されている。		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成24年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
いじめの実態把握のため、年3回児童生徒を対象にアンケートを実施し、いじめの実態把握及び早期対応に努めた。 いじめ問題対策会議を開催し、いじめ撲滅のためのより有効な手立てについて話し合いを行った。			

事業 の コスト	事業費	財 源 内 訳	単位	H22	H23	H24(見込)	H25(予算)	
			国庫支出金	千円				
			道支出金	千円	141			
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	2,881	2,836	2,711	4,261
	小計(A)		千円	3,022	2,836	2,711	4,261	
	人 件 費 等	正職員従事人数(担当課)	人	1.25	1.25	1.00	H24特定財源名及び補助率・充当率	
		正職員()	人					
		従事正職員の人件費	千円	11,016	11,886	9,509		
		その他間接経費	千円					
		小計(B)	千円	11,016	11,886	9,509		
総コスト(A)+(B)		千円	14,038	14,722	12,220			
事業 費 の 使 途 等	・人件費		1,409 千円					
	・施設維持費		399 千円					
	・光熱水費(暖房用燃料費含)		247 千円					
	・車輛維持費(ガソリン代含)		170 千円					
	・通信費		140 千円					
	・その他経費		346 千円					

5 2 10 生徒指導上の諸問題対策事業

活動指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	青少年健全育成条例に基づく調査回数	回	目標値	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
	小中学校を対象としたいじめ実態調査実施回数	回	目標値	2	4	4	4
			実績値	2	4	4	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	青少年健全育成条例違反件数	件	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	0	0	0	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	いじめの認知件数	件	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	77	44	未確定	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

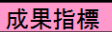
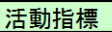
課長評価(1次)											
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法		効果的		行政の関与	●	市が実施すべき
			中位				中位				民間等でも実施可能
			低い			●	改善の余地あり				民間等が実施すべき
現状の課題		・学校と連携しながら複雑、困難事例等に迅速に対応するサポート体制を構築する必要がある。 ・いじめの未然防止に向け、児童生徒が主体となる取組の工夫が必要である。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		・複雑多岐にわたる諸問題の迅速な対応や未然防止に向けたサポート体制を構築するために、引き続き学校や関係機関等の現状や意見を十分取り入れながら改善に向けて取り組む。									
	【参考】前年度2次(部長)評価	いじめや不登校、問題行動など、支援や各種対応における市としての方針を明らかにするとともに、関係機関とのより一層の連携を図り、複雑、困難事例等への対応に努める。									

事業に対する市民意見等									
なし									

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己									
市民意見等に対する回答			反映										
			一部反映										
			不採用										
			実施済み										
			参考										
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい		
		●	中位			●	中位				中位		
			上がっていない				低い				小さい		
	施策への貢献度		高い				効果的			優先性	施策内における優先度	●	高い
		●	中位			●	中位						中位
			低い				改善の余地あり				低い		
現状の課題		困難事例への対応											
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止											
		関係機関とのより一層の連携を図り、複雑、困難事例等への対応に努める。											

平成25年度(24年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5 2 7	事業名	体力・運動能力向上推進事業							
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち							
	策	2	学校教育の充実							
	策(小)	1	学習内容・学習指導の充実							
平成25年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	山下 和乃	電話	72-3171	内線	428
前年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	山下 和乃				
予算科目	会計	一般会計 (10款 1項 3目)			事業名	地域教育推進事務費				
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
根拠法令、条例等										
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 22 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市内小中学校	→	対象数 21 校
	児童生徒	→	対象数 5,193 人
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) 		
	各小中学校が体力・運動能力向上対策に向けた様々な取組を進めやすくする。 児童生徒の体力・運動能力が向上するとともに、運動習慣が定着するようにする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) 		
	・体力・運動能力、運動習慣等調査を実施し、児童生徒の状況を把握する。 ・各小中学校での取組を推進するとともに、スポーツまつりなどの参加を働きかける。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	全国的に児童生徒の体力運動能力が低下しているといわれる中、平成22年度に策定した教育プランの重点施策のひとつとして体力運動能力向上の推進を位置づけている。		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成24年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業の内容	事業費	財源内訳	単位	H22	H23	H24(見込)	H25(予算)
			千円				
事業のコスト	事業費	国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	100			
	小計(A)		千円	100	0	0	0
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.25	0.01	0.02	H24特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	2,377	91	182	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	2,377	91	182	
事業費の使途等	総コスト(A)+(B)		千円	2,477	91	182	

5 2 7 体力・運動能力向上推進事業

活動指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	体力・運動能力、運動習慣等調査実施児童生徒数（小5児童及び中2生徒）	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	1,043	1,139	1,136	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
		人	目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	体力・運動能力、運動習慣等調査実技調査の合計T得点（小5、男子・女子の平均値）	T得点	目標値	未設定	50	50	50
			実績値	46.8	47.3	49.2	
			達成率	#VALUE!	94.6	98.4	
	体力・運動能力、運動習慣等調査実技調査の合計T得点（中2、男子・女子の平均値）	T得点	目標値	未設定	50	50	50
			実績値	44.6	45.9	46.4	
			達成率	#VALUE!	91.8	92.8	
		チーム	目標値				
			実績値				
			達成率				

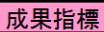
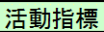
課長評価（1次）											
有効性	期待する成果	☐	上がっている	効率性	費用対効果	☐	高い	妥当性	事業実施の意義	☒	大きい
		☒	中位			☒	中位			☐	中位
		☐	上がっていない			☐	低い			☐	小さい
	施策への貢献度	☒	高い		事業の実施方法	☒	効果的		行政の関与	☒	市が実施すべき
		☐	中位			☐	中位			☐	民間等でも実施可能
☐	低い	☐	改善の余地あり	☐	民間等が実施すべき						
現状の課題		学校の授業や行事、学校単位でのスポーツイベントへの参加など、継続して取組むことが必要。									
今後の方向性	事業内容	☐ 拡充 ☐ 手法改善 ☐ 縮小・統合 ☒ 継続・維持 ☐ 休止・廃止									
		各学校において、1校1プランとして、マラソンや縄跳びといった種目を最低1つ継続的に取組む。									
	【参考】前年度2次（部長）評価	各学校における学校教育活動全般の中での取組の工夫を求めるとともに、継続的な体力づくりの実践に結びつくような各種イベントを通したきっかけづくりや、地域スポーツ活動の情報提供などに努める。									

事業に対する市民意見等									
なし									

部長評価（2次）		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果	●	高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位				中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
		●	中位			●	中位				中位
			低い				改善の余地あり				低い
現状の課題		学校教育における、体力向上に関わる時間の確保									
		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
今後の方向性		各学校における取組が進められることから、継続的な体力づくりの実践に結びつくような各種イベントを通したきっかけづくりや、地域スポーツ活動の情報提供などに努める。									

平成25年度(24年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5 2 5	事業名	子どもへの暴力防止プログラム事業							
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち							
	策	2	学校教育の充実							
	策(小)	1	学習内容・学習指導の充実							
平成25年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	吉田 学	電話	72-3171	内線	432
前年度担当	所管	生涯学習部 学校教育課	課長	蛭谷 学俊	担当	吉田 学				
予算科目	会計	一般会計 (10款 1項 3目)			事業名	子どもへの暴力防止プログラム事業費				
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態	☐ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☒ その他									
根拠法令、条例等										
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 22 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市内小学校	→	対象数 13 校
	市内児童(3年生)	→	対象数 585 人
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) 		
	市内の児童に自分の心と身体を大切に生きていくための人権意識を育てると同時に、いじめ、虐待、性暴力、誘拐などの様々な暴力から自分を守るためのすべを身につけるようにする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) 		
	各小学校で、3年生を対象に「北海道CAPをすすめる会」が行う「子どもが暴力から自分を守るための教育プログラム(CAPプログラム)」を活用できるように市が経費を負担する。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	石狩市教育プラン・次世代育成支援行動計画後期計画「こども・あいプラン」		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成24年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業の内容	事業費	財源内訳	単位	H22	H23	H24(見込)	H25(予算)
			千円				
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	522	456	466	460
		小計(A)	千円	522	456	466	460
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.15	0.01	0.02	H24特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	1,426	91	182	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	1,426	91	182	
		総コスト(A)+(B)	千円	1,948	547	648	

事業費の用途等	子どもプログラムにかかる経費	264千円	
	大人プログラムにかかる経費	202千円	(保護者・教職員)

5 2 5 子どもへの暴力防止プログラム事業

活動指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	実施学校数	校	目標値	13	13	13	10
			実績値	13	13	13	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
	プログラム延べ実施回数	回	目標値	未設定	52	53	44
			実績値	63	54	53	
			達成率	#VALUE!	103.8	100.0	
			目標値				
成果指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	プログラムを受けた延べ児童数	人	目標値	未設定	564	609	612
			実績値	817	562	613	
			達成率	#VALUE!	99.6	100.7	
	目標:事業計画		目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				

課長評価(1次)									
有効性	期待する成果	● 上がっている	効率性	費用対効果	● 高い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい	
		中位			中位			中位	
		上がっていない			低い			小さい	
	施策への貢献度	● 高い		事業の実施方法	● 効果的		行政の関与	● 市が実施すべき	
		中位			中位			民間等でも実施可能	
		低い			改善の余地あり			民間等が実施すべき	
現状の課題		事業の効果を得るためには継続的な実施が必要である。							
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止							
		プログラムの成果を得るためには、継続して実施することが必要であり、事業を引き続き実施する。							
	【参考】前年度2次(部長)評価	CAPプログラムの実践の定着を図り、人権、いじめ、暴力などの視点を取り入れた学習の充実が図られるよう努める。							

事業に対する市民意見等									
なし									

部長評価(2次)		担当部長		百井 宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果	●	高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位				中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
		●	中位			●	中位				中位
			低い				改善の余地あり				低い
現状の課題		課長評価と同様									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		人権、いじめ、暴力など、総合的視点の中で取り進められるよう努める。									

平成25年度(24年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5	1	1	事業名	家庭教育支援事業					
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち							
	策	1	生涯学習の推進							
	策(小)	1	学習情報の提供と相談体制の整備・充実							
平成25年度担当	所管	生涯学習部	社会教育課	課長	東 信也	担当	樋口 潤作	電話	72-3173	内線
前年度担当	所管	生涯学習部	社会教育課	課長	東 信也	担当	樋口 潤作			
予算科目	会 計	一般会計		(10 款	5 項	3 目)	事業名	家庭教育支援事業		
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
根拠法令、条例等										
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 23 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	中学生までの子どもを持つ親	→	対象数 17,000 人
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)  成果指標		
	子どもが心身共に健康に育つために、望ましい生活習慣を身につけさせるための教育力をつける。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)  活動指標		
	家庭教育に関する講座の開催や、子どもと親が関わって楽しみながら生活習慣を改善できるような取り組み、広報等を使った啓発活動などをする。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	平成22年度全国学力・学習状況調査によると、石狩市は朝食を食べる割合、家庭学習をする割合が低く、テレビやゲームをする時間が長いという結果が出ており、基本的な生活習慣の改善が必要であると考えられる。		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
平成22年度の社会教育委員の会議において、家庭教育及び地域教育を推進すべきであると提言された。			
⑥平成24年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
市P連・学校と連携し、新たに生活リズムチェックシートを作成、配布し、夏季休業中などでの取り組みを進めたほか、「子どもの生活リズム」、「子どもにとって家庭」をテーマに家庭教育講演会を二回開催し、保護者等の学習機会を提供した。			

事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H22	H23	H24(見込)	H25(予算)
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円		392	256	200
		小計(A)	千円	0	392	256	200
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人		0.58	0.38	H24特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	0	5,283	3,461	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	0	5,283	3,461	
		総コスト(A)+(B)	千円	0	5,675	3,717	
事業費の 使途等	家庭教育講演会 講師謝金等 241千円 消耗品 15千円						

5 1 1 家庭教育支援事業

活動指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	家庭教育支援事業数	事業	目標値		1	1	1
			実績値		1	2	
			達成率		100.0	200.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	参加者数(応募者数等事業に関わった人を含む)	人	目標値		未設定	未設定	未設定
			実績値		909	112	
			達成率		#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)									
有効性	期待する成果	● 上がっている	効率性	費用対効果	● 高い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい	
		● 中位			中位			● 中位	
	施策への貢献度	● 上がっていない		事業の実施方法	● 低い		行政の関与	● 小さい	
		● 高い			● 効果的			● 市が実施すべき	
今後の方向性	事業内容	● 中位			● 中位			● 民間等でも実施可能	
		● 低い			改善の余地あり			● 民間等が実施すべき	
	【参考】前年度2次(部長)評価								

事業に対する市民意見等									
なし									

部長評価(2次)									
市民意見等に対する回答		担当部長		百井宏己					
		反映							
		一部反映							
		不採用							
		実施済み							
有効性	期待する成果	● 上がっている	効率性	費用対効果	● 高い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい	
		● 中位			● 中位			● 中位	
	施策への貢献度	● 上がっていない		事業の実施方法	● 低い		施策内における優先度	● 小さい	
		● 高い			● 効果的			● 高い	
今後の方向性	現状の課題	● 中位			● 中位			● 中位	
		● 低い			改善の余地あり			● 低い	

平成25年度(24年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5 3 5	事業名	石狩市PTA連合会運営支援事業						
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち						
	策	3	青少年の健全育成						
	策(小)	1	青少年健全育成の推進をめざした取組の支援						
平成25年度担当	所管	生涯学習部 社会教育課	課長	東 信也	担当	樋口 潤作	電話	72-3173	内線
前年度担当	所管	生涯学習部 社会教育課	課長	東 信也	担当	樋口 潤作			
予算科目	会 計	一般会計 (10 款 5 項 3 目)			事業名	PTA連合会補助金			
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)								
実施形態	☐ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他								
根拠法令、条例等									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 昭和 60 年度 ~ 未定 年度								

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市内20単位PTAの連合体である石狩市PTA連合会	→	対象数 1 団体
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) 成果指標		
	教育活動の振興や地域における教育環境の改善、充実を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) 活動指標		
	市内教育の振興に寄与するための活動を行う「石狩市PTA連合会」に対し運営費の一部を補助する。 ・補助対象経費の1/2以内を団体へ補助。 (補助対象経費～会議費、消耗品費、通信運搬費、旅費、事業費、負担金) ・市内単位PTAの連絡調整を行う。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	全国的に、現在の教育問題の多様化に対応するため、PTAと地域との連携がより重要となってきた。		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成24年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
市P連・学校と連携し、新たに「生活リズムチェックシート」を作成、配布し夏季休業中などでの取り組みを進めた。			

事業の内容	事業費	財源内訳	単位	H22	H23	H24(見込)	H25(予算)
			千円				
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	328	328	328	328
		小計(A)	千円	328	328	328	328
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.10	0.13	0.13	H24特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	951	1,184	1,184	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	951	1,184	1,184	
		総コスト(A)+(B)	千円	1,279	1,512	1,512	

事業費の使途等	石狩市PTA連合会への運営費補助 328千円
---------	------------------------

活動指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	石狩市PTA連合会研究大会開催回数	回	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
	石狩管内PTA連合会ブロック単位PTA会長会議開催回数	回	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	石狩市PTA連合研究大会参加者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	250	200	181	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	石狩管内PTA連合会ブロック単位PTA会長会議参加者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	35	18	18	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)											
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位			●	中位			●	中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的		行政の関与		市が実施すべき
		●	中位			●	中位			●	民間等でも実施可能
			低い				改善の余地あり				民間等が実施すべき
現状の課題		激変する社会情勢の中にあって、児童生徒の健全な成長を図ることを目的として教員と保護者等が研修や交流などを行うPTAとの連携がますます求められている。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		子どもの生活状況などの情報をPTA連合会と共有し連携を図るとともに、活動を活性化を図る。									
今後の方向性	【参考】前年度2次(部長)評価	・望ましい生活習慣の確立など、今求められているテーマにより、単位PTAや連合会との情報交換を進めるとともに、学習や研修、交流機会などにおいて具体的連携の推進に努める。									

事業に対する市民意見等											
なし											

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義		大きい
		●	中位			●	中位			●	中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
		●	中位			●	中位			●	中位
		低い		改善の余地あり			低い				
現状の課題		学校、家庭、地域の連携が求められている中でのPTAの役割									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止 PTA連合会との適宜、情報交換を進めるとともに、「望ましい生活習慣の確立」など具体的テーマの下、学習や研修、交流機会などをとおして具体的連携に努める。									

平成25年度(24年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5	1	3	事業名	生涯学習講座開催事業					
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち							
	策	1	生涯学習の推進							
	策(小)	2	学習機会の整備・充実							
平成25年度担当	所管	生涯学習部	公民館	課長	東 信也	担当	斉藤 晶	電話	72-3173	内線
前年度担当	所管	生涯学習部	公民館	課長	東 信也	担当	樋口 潤作			
予算科目	会 計	一般会計			(10 款 5 項 5 目)	事業名	生涯学習講座開催費			
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☒ その他									
根拠法令、条例等	社会教育法、石狩市公民館設置条例、いしかり市民カレッジ開設要綱									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 昭和 62 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	石狩市民	→	対象数 61,000 人
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)  成果指標		
	教育活動の振興や地域における教育環境の改善、充実を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)  活動指標		
	市民ニーズや地域課題、年齢層別課題等に基づいた内容の講座を企画実施する。 【実施事業】 ・いしかり市民カレッジ⇒市民団体との協働事業で、市民主体で市民講座を開催する本市の新たな学習システム ・はまなす学園⇒シニア世代を対象に、通年で同メンバーと一緒に学び、交流する場(82人×16回+クラブ活動、学園祭) ・公民館分館講座⇒美登位分館、樽川分館にて開催する地域住民を対象とした講座 ・厚田：おらが元気塾 浜益：生きがい大学⇒両区におけるシニア向け講座		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
	いしかり市民カレッジの受講者アンケートでは、カレッジでしか学べないような地元のことを深く掘り下げた講座への評価が高い。はまなす学園生から、秋の学園祭の発表に向けた自主的なクラブ活動が充実してきたという声が聞かれる。		
⑥平成24年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
市民の幅広い学習ニーズへのきめ細かな対応を図るため、講師の派遣について新たな高等教育機関への要請を行った。			

事業の内容	事業費	財源内訳	単位	H22	H23	H24(見込)	H25(予算)
事業のコスト		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円	95	56	56	60
		一般財源	千円	636	296	326	440
	小計(A)		千円	731	352	382	500
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	1.70	1.71	1.57	H24特定財源名及び補助率・充当率 講座参加料
		正職員(両支所生涯学習課)	人	0.55	0.38	0.38	
		従事正職員の人件費	千円	21,395	19,038	17,763	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	21,395	19,038	17,763	
	総コスト(A)+(B)		千円	22,126	19,390	18,145	
事業費の用途等	いしかり市民カレッジ		116千円	(消耗品、印刷製本費の一部。それ以外はカレッジの会計で賄っている)			
	はまなす学園		120千円	(講師謝金)			
	公民館分館講座		54千円	(講師謝金)			
	浜益区講座		25千円	(浜益区講師謝金。)			
	その他		67千円	(消耗品)			

5 1 3 生涯学習講座開催事業

活動指標	指 標 名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	講座開設数	コマ	目標値	未設定	未設定	111	86
			実績値	137	104	94	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	84.7	
	上記のうち「いしかり市民カレッジ」主催講座数	コマ	目標値	未設定	未設定	36	30
			実績値	48	48	38	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	105.6	
	講座応募者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
実績値			1,992	2,049	1,834		
達成率			#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
成果指標	指 標 名	単位		H22	H23	H24	H25
	講座参加者延べ人数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	3,497	3,366	2,825	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	いしかり市民カレッジの登録者数	人	目標値	200	200	200	200
			実績値	209	200	185	
			達成率	104.5	100.0	92.5	
	いしかり学びをつくる会会員数(いしかり市民カレッジを運営する市民団体)	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
実績値			25	23	25		
達成率			#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		

課長評価(1次)									
有効性	期待する成果	● 上がっている	効率性	費用対効果	高い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい	
		中位			● 中位			中位	
		上がっていない			低い			小さい	
	施策への貢献度	● 高い		事業の実施方法	効果的		行政の関与	市が実施すべき	
		中位			● 中位			● 民間等でも実施可能	
		低い			改善の余地あり			民間等が実施すべき	
現状の課題		市民協働の取り組みとして定着が進んでおり、ボランティアの意欲や事業実施のスキルも非常に高いものがある。新たなボランティア確保が事業の安定的継続の課題である。							
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止							
		市民の主体的取り組みに視点をおくべき事業。市民・行政の持ち分をふまえ側面的支援を継続する。							
	【参考】前年度2次(部長)評価	市民ニーズ、年齢対象、地域性などを考慮した学習機会が展開されているため、市民との協働、事業間の連携、学習成果の活用などを視点に一層の充実に努める。							

事業に対する市民意見等									
なし									

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答											
		反映									
		一部反映									
		不採用									
		実施済み									
		参考									
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果	●	高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位				中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法	●	効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
			中位				中位				中位
			低い				改善の余地あり				低い
現状の課題		事業の定着と更なる期待への対応									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		市民の主体的取組として十分な成果が上がっていることを前提に、新たな可能性について模索する。									

平成25年度(24年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5	1	7	事業名	公民館管理運営事業					
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち							
	策	1	生涯学習の推進							
	策(小)	3	学習施設の内容および管理運営体制の充実							
平成25年度担当	所管	生涯学習部	公民館	課長	東 信也	担当	樋口 潤作	電話	72-3173	内線
前年度担当	所管	生涯学習部	公民館	課長	東 信也	担当	樋口 潤作			
予算科目	会 計	一般会計		(10 款 5 項 5 目)	事業名	公民館管理運営費				
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態	☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他									
根拠法令、条例等	社会教育法、石狩市公民館設置条例									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 昭和 62 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	公民館(本・分館)	→	対象数 3 力所
	施設利用者	→	対象数 不詳
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) 成果指標		
	教育活動の振興や地域における教育環境の改善、充実を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) 活動指標		
	・公民館を生涯学習の場として提供するとともに教育機関として社会教育活動を推進するため団体・個人の支援を行う。 ・公民館等を利用する団体が成果を発表し、さらには会場にいる人々が交流する機会として「公民館まつり」を開催する。 ・石狩市公民館(本館) ・石狩市公民館美登位分館 ・石狩市公民館樽川分館		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
	老朽化しているので、利用者から施設を随時修理・改善してほしいとの声が多い。		
⑥平成24年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
平成24年度から本館において、土日の開館のための正職員を置かず、管理人对応とする業務委託内容に変更した。			

事業の内容	事業費	財源内訳	単位	H22	H23	H24(見込)	H25(予算)
				千円			
事業のコスト		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円	795	662	818	1,024
		一般財源	千円	6,574	5,772	7,006	7,114
	小計(A)			千円	7,369	6,434	7,824
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.65	0.70	0.72	
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	6,181	6,376	6,558	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	6,181	6,376	6,558	
事業費の用途等	総コスト(A)+(B)			千円	13,550	12,810	14,382
	消耗品費 175千円 修繕料 541千円 役務費(火災保険料等) 115千円 施設維持管理委託料 6,804千円 事務機器賃借料 183千円 協議会負担金 6千円						

5 1 7 公民館管理運営事業

活動指標	指 標 名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	公民館定期利用団体数(本館)	団体	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	35	24	22	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	公民館利用件数(本館及び分館)	件	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	2,435	2,160	2,093	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	公民館まつり参加団体数	団体	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	25	26	28	
達成率			#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
成果指標	指 標 名	単位		H22	H23	H24	H25
	公民館利用者数(本館及び分館)	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	40,475	36,373	35,918	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	公民館まつり来場者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	1,007	1,028	1,170	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
達成率							

課長評価(1次)											
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義		大きい
		●	中位			●	中位			●	中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的		行政の関与		市が実施すべき
		●	中位			●	中位			●	民間等でも実施可能
			低い				改善の余地あり				民間等が実施すべき
現状の課題		公民館をはじめとする社会教育施設の在り方について検討が必要である。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		老朽化した公民館のこれからについて、学び交流センターなども含めた検討が必要である。									
	【参考】前年度 2次(部長)評価	図書館や資料館などの社会教育施設との連携を図るとともに、今後のあり方について検討に努める。									

事業に対する市民意見等											
なし											

部長評価(2次)			担当部長		百井宏己						
市民意見等に対する回答				反映							
				一部反映							
				不採用							
				実施済み							
				参考							
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位			●	中位			●	中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
		●	中位			●	中位			●	中位
		低い		改善の余地あり			低い				
現状の課題			・施設の老朽化 ・社会教育施設のあり方								
今後の方向性			○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止								
			社会教育施設全体の中で、今後のあり方を検討する。								

平成25年度(24年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5	1	10	事業名	学び交流センター管理運営事業				
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち						
	策	1	生涯学習の推進						
	策(小)	3	学習施設の内容および管理運営体制の充実						
平成25年度担当	所管	生涯学習部 社会教育課	課長	東 信也	担当	斉藤 晶	電話	72-3173	内線
前年度担当	所管	生涯学習部 社会教育課	課長	東 信也	担当	樋口 潤作			
予算科目	会 計	一般会計 (10 款 5 項 1 目)			事業名	学び交流センター管理運営費			
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)								
実施形態	☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
根拠法令、条例等	石狩市学び交流センター条例、石狩市学び交流センター施行規則								
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 22 年度 ~ 未定 年度								

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)			
	学び交流センター	→	対象数	1 力所
	施設利用者	→	対象数	不詳
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標
	教育活動の振興や地域における教育環境の改善、充実を図る。			
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)			活動指標
	・閉校した紅葉山小学校を改修した石狩市学び交流センターを生涯学習の場として提供する。 ・施設管理等を文化協会に委託する。 ・学び交流センターに関連する団体との連絡調整や円滑な運営を図るため、「学び交流センター運営連絡協議会」を開催する。			
	④事業実施の背景・個別計画等			
	若葉小学校との統合に伴い平成22年3月末に閉校となる紅葉山小学校の校舎などの跡施設を、石狩市学び交流センター及び特別支援学校として活用することにした。			
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
⑥平成24年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果				
学び交流センター定期利用団体と、特別支援学校、近隣幼稚園、児童デイサービス利用者が一緒に、学び交流センターの花壇整備を行うなど、施設利用者との交流を図った。				

事業 業 の コ ス ト				単位	H22	H23	H24(見込)	H25(予算)
	事業費	財 源 内 訳	国庫支出金	千円				
			道支出金	千円	5,727	11,073	9,398	11,841
			地方債	千円				
			その他	千円	3,637	5,016	5,070	4,049
			一般財源	千円	1,656	5,316	6,476	7,676
	小計(A)			千円	11,020	21,405	20,944	23,566
	人 件 費 等	正職員従事人数(担当課)		人	1.85	1.85	1.11	H24特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()		人				社会教育施設道負担金 財産貸付収入 使用料
		従事正職員の人件費		千円	17,592	16,852	10,111	
		その他間接経費		千円				
小計(B)		千円	17,592	16,852	10,111			
総コスト(A)+(B)			千円	28,612	38,257	31,055		
事業 費 の 使 途 等	施設管理運営委託料		8, 505千円					
	光熱水費		8, 063千円					
	施設修繕費		3, 201千円					
	その他管理費		1, 175千円					

5 1 10 学び交流センター管理運営事業

活動指標	指 標 名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	定期使用団体数	団体	目標値		未設定	未設定	未設定
			実績値		32	33	
			達成率		#VALUE!	#VALUE!	
	使用件数	件	目標値		未設定	未設定	未設定
			実績値		1,382	1,664	
			達成率		#VALUE!	#VALUE!	
	学び交流センター連絡協議会開催数	回	目標値		未設定	未設定	未設定
			実績値		5	10	
達成率				#VALUE!	#VALUE!		
成果指標	指 標 名	単位		H22	H23	H24	H25
	使用者数	人	目標値		未設定	未設定	未設定
			実績値		16,267	17,437	
			達成率		#VALUE!	#VALUE!	
	施設使用者等が合同で実施した事業数	回	目標値		未設定	未設定	未設定
			実績値		2	2	
			達成率		#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
達成率							

課長評価(1次)

有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果	●	高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位			●	中位			●	中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い				効果的			●	中位
●		中位	事業の実施方法	改善の余地あり		民間等でも実施可能					
		低い				民間等が実施すべき					
現状の課題		身近な生涯学習施設として、より多くの市民に利用いただけるよう取り組みを進める。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		利用増への取り組みに加え、養護学校等と連携により交流を深めるほか協同した事業を行うなど複合施設ならではの取り組みを進めていく。									
		【参考】前年度 2次(部長)評価	委託管理状況、利用実態などの状況を把握し、施設運営の基礎的整備に努める。								

事業に対する市民意見等

なし

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己										
市民意見等に対する回答			反映											
			一部反映											
			不採用											
			実施済み											
			参考											
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義		大きい			
		●	中位			●	中位			●	中位			
			上がっていない				低い				小さい			
	施策への貢献度		高い			事業の実施方法				効果的	優先性	施策内における優先度		高い
		●	中位				●			中位			●	中位
			低い							改善の余地あり				低い
現状の課題		複合施設としての運営												
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止												
		課長評価と同様												

平成25年度(24年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5	3	6	事業名	成人式開催事業				
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち						
	策	3	青少年の健全育成						
	策(小)	1	青少年健全育成の推進を目指した取り組みの支援						
平成25年度担当	所管	生涯学習部 社会教育課	課長	東 信也	担当	樋口 潤作	電話	72-3173	内線
前年度担当	所管	生涯学習部 社会教育課	課長	東 信也	担当	樋口 潤作			
予算科目	会計	一般会計 (10款 5項 3目)			事業名	成人式開催費			
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)								
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
根拠法令、条例等									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 不明 年度 ~ 未定 年度								

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	成人を迎える石狩市民	→	対象数 600 人
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) 成果指標		
	一定の年齢に達した青年を激励・祝福し、参加者が責任ある自立した社会人としてより良い社会の創造に貢献できるようにする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) 活動指標		
	成人の日に成人式を開催する。 <開催手順> ・対象者への案内状の送付 ・アトラクション・司会の出演調整 ・しおりの作成、ビデオレターの撮影・編集等 ・盛花、看板等の購入 ・市教育委員会にて会場設営		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	一定の年齢に達した青年を祝福する機会として毎年実施している。		
	⑤この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成24年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
恩師からのビデオレターに加え、新たに地域からのお祝いメッセージに取り組んだ。			

事業の コスト	事業費	財源内訳	単位	H22	H23	H24(見込)	H25(予算)
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	239	220	288	300
		小計(A)	千円	239	220	288	300
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.55	0.42	0.42	H24特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	5,230	3,826	3,826	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	5,230	3,826	3,826	
		総コスト(A)+(B)	千円	5,469	4,046	4,114	

事業費の 使途等	報償費 85千円(出演者謝金) 消耗品費 135千円(案内用はがき、葉用紙、養生テープ、盛花等) 役務費 30千円(切手) 賃借料 38千円(山台運搬トラック借り上げ)
-------------	---

5 3 6 成人式開催事業

活動指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	参加対象者数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	522	552	557	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
成果指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	参加者数	人	目標値	522	552	557	516
			実績値	359	404	446	
			達成率	68.8	73.2	80.1	
	目標:参加対象者数(H25は4月1日現在の対象者概数)		目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				
課長評価(1次)	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	参加者数	人	目標値	522	552	557	516
			実績値	359	404	446	
			達成率	68.8	73.2	80.1	
	目標:参加対象者数(H25は4月1日現在の対象者概数)		目標値				
			実績値				
			達成率				
			目標値				

課長評価(1次)											
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義		大きい
		●	中位			●	中位			●	中位
		上がっていない			低い		効果的			小さい	
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		改善的		行政の関与		市が実施すべき
●		中位	●	中位		●	民間等でも実施可能				
			低い				改善の余地あり				民間等が実施すべき
現状の課題		アンケート結果によると評価は高いが、参加する成人に祝意を伝え自覚を促す式典とするためのさらなる工夫と、新成人が参画する仕組みの検討が必要である。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		継続実施する。									
	【参考】前年度2次(部長)評価	・開催の趣旨を踏まえつつ、企画、運営面への新成人の参画を進め、参加者のニーズを反映した魅力的ある事業となるよう努める。									

事業に対する市民意見等											
なし											

部長評価(2次)			担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答				反映								
				一部反映								
				不採用								
				実施済み								
				参考								
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義		大きい	
		●	中位			●	中位				中位	
			上がっていない				低い				小さい	
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的		優先性	施策内における優先度	●	高い
		●	中位			●	中位					中位
			低い				改善の余地あり					低い
現状の課題			課長評価と同様									
今後の方向性			○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
			課長評価と同様									

平成25年度(24年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5	1	4	事業名	図書館運営事業				
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち						
	策	1	生涯学習の推進						
	策(小)	2	学習機会の整備・充実						
平成25年度担当	所管	生涯学習部 市民図書館	課長	板谷 英郁	担当	寺尾 陽助	電話	72-2000	内線
前年度担当	所管	生涯学習部 市民図書館	課長	丹羽 秀人	担当	寺尾 陽助			
予算科目	会計	一般会計 (10款 5項 9目)			事業名	図書館運営費			
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)								
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
根拠法令、条例等	図書館法、石狩市民図書館条例								
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 12 年度 ~ 未定 年度								

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	図書館利用者(市外も含む)	→ 対象数	不詳
		→ 対象数	
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		成果指標
	生涯学習及び地域文化創造の拠点として、また、情報発信の拠点として市民の学びをサポートする。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		活動指標
	●図書館資料の収集(図書、雑誌、視聴覚資料等)、保存及び提供 ●レファレンスサービスの実施 ●土/日/祝日開館及び夜間開館(水/木は午後8時まで)、夏休み中の開館を30分早めた。 ※夜間・夏休みは本館のみ ●後世にまちの姿を記録する「石狩ふるさと記録事業」を実施。 ●南線小学校、緑苑台小学校、浜益小学校に「返却ポスト」を設置。 ●図書館施設の維持管理 ●宅配サービスや分館機能の充実により、全市的な図書サービスを実施。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	石狩市子どもの読書活動推進計画、石狩市民図書館ビジョン2010、石狩市教育プラン		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
●分館の充実を望む声から挙がっている。 ●古い資料が多くなってきたことから、更新(買い替え)を求める利用者からの声が増えた。			
⑥平成24年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
●夏休み中の特別開館を昨年の5日間から夏休み中に拡大し、利便性を高めた。 ●市内3校に返却ポストを設置し、4,406点の利用があった。			

事業の内容	事業費	財源内訳	単位	H22	H23	H24(見込)	H25(予算)
事業のコスト		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	87,098	88,699	88,220	94,862
	小計(A)		千円	87,098	88,699	88,220	94,862
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	3.40	3.40	2.93	H24特定財源名及び補助率・充当率
		正職員(両支所生涯学習課)	人	0.25	0.09	0.09	
		従事正職員の人件費	千円	34,708	31,790	27,464	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	34,708	31,790	27,464	
	総コスト(A)+(B)		千円	121,806	120,489	115,684	
事業費の用途等	●非常勤職員・図書館協議会委員報酬			27,055千円			
	●臨時職員賃金			509千円			
	●図書購入費			14,000千円			
	●各種委託料			42,295千円			
	●その他経費			4,361千円			

5 1 4 図書館運営事業

活動指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	開館日数(本館)	日	目標値	286	292	291	285
			実績値	286	292	291	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	本の受入冊数(全館分) (「本」には雑誌、視聴覚資料等も含む)	冊	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	13,552	16,210	12,573	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
成果指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	本館入館者数(人)	人	目標値	未設定	未設定	300,000	300,000
			実績値	302,207	285,989	279,333	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	93.1	
	図書館資料の貸出点数(全館分)	点	目標値	未設定	未設定	600,000	600,000
			実績値	594,779	588,171	559,561	
			達成率				
	石狩市の人口に占める市民図書館利用登録者数の割合	%	目標値		35	35	35
			実績値	21.0	20.9	20.7	
			達成率		59.7	59.1	

課長評価(1次)											
有効性	期待する成果	☐	上がっている	効率性	費用対効果	☐	高い	妥当性	事業実施の意義	☐	大きい
		☒	中位			☒	中位			☒	中位
		☐	上がっていない			☐	低い			☐	小さい
	施策への貢献度	☐	高い		事業の実施方法	☒	効果的		行政の関与	☒	市が実施すべき
		☒	中位			☐	中位			☐	民間等でも実施可能
☐	低い	☐	改善の余地あり	☐	民間等が実施すべき						
現状の課題		来館者、貸出冊数の漸減や、水・木に実施している夜間開館時の来館者があまり多くないという現状から、費用対効果とニーズにあったよりよいサービスの提供を検討する必要がある。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		学校や分館との連携強化を進め、図書館利用の促進を図る。									
	【参考】前年度2次(部長)評価	学校図書館の整備や分館事業の充実による利用者の拡大を図るとともに、公民館や資料館等の社会教育施設との連携を図り、魅力ある生涯学習の推進に努める。									

事業に対する市民意見等									
なし									

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答											
		反映									
		一部反映									
		不採用									
		実施済み									
		参考									
有効性	期待する成果	上がっている		効率性	費用対効果	高い		妥当性	事業実施の意義	● 大きい	
		● 中位				● 中位				中位	
		上がっていない				低い				小さい	
	施策への貢献度	高い			事業の実施方法	効果的		優先性	施策内における優先度	● 高い	
		● 中位				● 中位				中位	
		低い				改善の余地あり				低い	
現状の課題		社会の要請や利用者層の変化への対応									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		生涯学習推進の中核施設として、公民館や資料館等の社会教育施設を始め、教育以外の分野との連携に努める。									

平成25年度(24年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5	4	2	事業名	石狩市文化協会運営支援事業					
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきと活動するまち							
	策	4	芸術・文化の振興							
	策(小)	1	芸術・文化団体の支援や文化交流							
平成25年度担当	所管	生涯学習部 社会教育課	課長	東 信也	担当	齊藤 晶	電話	72-3173	内線	
前年度担当	所管	生涯学習部 社会教育課	課長	東 信也	担当	樋口 潤作				
予算科目	会 計	一般会計 (10 款 5 項 4 目)			事業名	文化協会拠出金				
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)									
実施形態	☐ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他									
根拠法令、条例等										
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 昭和 50 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	石狩市文化協会	→ 対象数	1 団体
		→ 対象数	
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		成果指標
	教育活動の振興や地域における教育環境の改善、充実を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		活動指標
	本市における文化団体の系統的組織化と、市民文化祭実行委員会の中心核として文化活動の振興に努めている石狩市文化協会の運営費の一部、および平成20年度、市から同協会へ主管を移した「俳句のまちいしかり」事業の経費の一部を補助する。 【実施事業】 ・石狩市民文化祭 ・俳句事業 ・加盟団体活動支援 ・道内・管内事業への参加 ・芸術鑑賞事業開催 ・広報「かがやき」の発行等		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	市の文化振興のため、団体の設立時から支援している。		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
石狩市文化協会からは、様々な文化活動を展開する上での組織基盤の強化に協力して欲しいとの要望がある。			
⑥平成24年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業の コスト	事業費	財源 内訳	単位	H22	H23	H24(見込)	H25(予算)
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	1,795	1,795	1,845	1,845
	小計(A)		千円	1,795	1,795	1,845	1,845
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.27	0.30	0.28	H24特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	2,567	2,733	2,551	
		その他間接経費	千円	745	600		
		小計(B)	千円	3,312	3,333	2,551	
	総コスト(A)+(B)		千円	5,107	5,128	4,396	
事業費の 使途等	石狩市文化協会への拠出金 1,845千円(人件費780千円、俳句事業300千円、その他765千円)						

5 4 2 石狩市文化協会運営支援事業

活動指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	実施事業数(主催、関連行事・事業、管内事業)	回	目標値	未設定	未設定	49	49
			実績値	32	36	36	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	73.5	
	会議数(総会、各実行委員会等)	回	目標値	未設定	未設定	19	19
			実績値	24	17	19	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	100.0	
			目標値				
成果指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	加盟団体数	団体	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	64	60	58	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	会員数	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	986	886	896	
			達成率	#REF!	#REF!	#REF!	
	俳句応募人数(大人+子ども)	人	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	1,439	2,171	1,990	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	

課長評価(1次)											
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果	●	高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位			●	中位			●	中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的		行政の関与	●	市が実施すべき
		●	中位			●	中位				民間等でも実施可能
			低い				改善の余地あり				民間等が実施すべき
現状の課題		市の文化芸術振興を図るためには、石狩市文化協会に必要な支援を行いながら連携してとり進める必要がある。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		安定的な運営に向け支援を継続する。									
	【参考】前年度2次(部長)評価	法人としての目的や主体的取組を尊重しつつ、市の文化振興の具体施策への参画や協働での取り組みも協議するとともに、団体運営の支援に努める。									

事業に対する市民意見等									
なし									

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
		●	中位			●	中位				中位
			低い				改善の余地あり				低い
現状の課題		文化振興の推進役としての役割を担う団体への支援のあり方									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		法人としての目的や主体的取組を尊重しつつ、市の文化振興施策を協議する中で、団体の支援に努める。									

平成25年度(24年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5	4	3	事業名	芸術文化振興奨励事業				
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち						
	策	4	芸術・文化の振興						
	施 策 (小)	1	芸術・文化団体の支援や文化交流						
平成25年度担当	所管	生涯学習部 社会教育課	課長	東 信也	担当	樋口 潤作	電話	72-3173	内線
前年度担当	所管	生涯学習部 社会教育課	課長	東 信也	担当	樋口 潤作			
予算科目	会 計	一般会計 (10 款 5 項 4 目)			事業名	芸術文化振興奨励補助金			
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)								
実施形態	☐ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他								
根拠法令、条例等	石狩市芸術文化振興奨励補助金交付要綱								
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 不詳 年度 ~ 未定 年度								

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	市民及び団体	→	対象数 不詳
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		成果指標
	教育活動の振興や地域における教育環境の改善、充実を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		活動指標
	自主的に文化事業を行う団体・個人に事業費の一部を補助する。		
	【採択要件等】 ・申請があった場合、社会教育委員の会議に諮問し、答申を得た後、補助金を交付する。 ・補助の額は芸術文化振興事業、文化財保護・保存事業に対し補助経費の1/2以内(上限500,000円)以内。 ・より多くを対象とするため、同じ事業や2年続けて同じ団体には交付しない。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	石狩市教育プラン		
⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等			
⑥平成24年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業の内容	事業費	財源内訳	単位	H22	H23	H24(見込)	H25(予算)
			千円				
事業のコスト		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	500	200	485	500
	小計(A)		千円	500	200	485	500
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.25	0.11	0.11	H24特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	2,377	1,002	1,002	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	2,377	1,002	1,002	
	総コスト(A)+(B)		千円	2,877	1,202	1,487	
事業費の用途等	採択事業への補助金 ・ コル・ソナーレ20周年記念演奏会ほか3件 485千円						

5 4 3 芸術文化振興奨励事業

活動指標	指 標 名		単位	項目	H22	H23	H24	H25
	申請件数		件	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
				実績値	4	1	4	
				達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
				目標値				
				実績値				
				達成率				
				目標値				
				実績値				
達成率								
成果指標	指 標 名		単位		H22	H23	H24	H25
	実施事業数		件	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
				実績値	4	1	4	
				達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	補助金交付額		千円	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
				実績値	500	200	485	
				達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
				目標値				
				実績値				
達成率								

課長評価(1次)											
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義		大きい
		●	中位			●	中位			●	中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的		行政の関与	●	市が実施すべき
		●	中位			●	中位				民間等でも実施可能
			低い				改善の余地あり				民間等が実施すべき
現状の課題		利用拡大に向け、制度改善の検討が必要である。									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		市の文化芸術振興策として効果的・効率的に行える仕組みを検討する。									
	【参考】前年度2次(部長)評価	制度自体の市民への周知の充実を図るとともに、団体へのアイデアの提供や活動の芽を育てる取組など、団体育成や文化事業の発掘などの具体化に努める。									

事業に対する市民意見等									
なし									

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義		大きい
		●	中位			●	中位				中位
		上がっていない			低い		小さい				
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度		高い
		●	中位			●	中位				中位
			低い		改善の余地あり						低い
現状の課題		課長評価と同様									
今後の方向性		○ 拡充 ● 手法改善 ○ 縮小・統合 ○ 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		制度の見直しには課題もあるが、改善に向けた取組を検討する。									

平成25年度(24年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5	4	13	事業名	文化財情報発信事業				
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち						
	策	4	芸術・文化の振興						
	施 策 (小)	3	文化遺産の保存・活用						
平成25年度担当	所管	生涯学習部 文化財課	課長	工藤 義衛	担当	志賀 健司	電話	62-3711	内線
前年度担当	所管	生涯学習部 文化財課	課長	工藤 義衛	担当	志賀 健司			
予算科目	会 計	一般会計 (10 款 5 項 10 目)			事業名	資料館管理運営費			
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)								
実施形態	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助・助成 ☐ その他								
根拠法令、条例等									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 22 年度 ~ 未定 年度								

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	石狩市の自然、歴史、文化に興味のある人	→	対象数 不詳
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		成果指標
	石狩市の自然、歴史、文化等について、学ぶ機会と研究するための材料とを提供する。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		活動指標
	・石狩市の自然、歴史、文化等に関する講座(講演)を開催する。 ・石狩市の自然、歴史、文化等に関する研究成果やデータ等を掲載した紀要を発行する(年1回)。		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	石狩市教育プラン		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
⑥平成24年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業の コスト	事業費	財源 内訳	単位	H22	H23	H24(見込)	H25(予算)
		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	158	158	158	158
	小計(A)		千円	158	158	158	158
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人		0.30	0.80	H24特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	0	2,733	7,287	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	0	2,733	7,287	
	総コスト(A)+(B)		千円	158	2,891	7,445	
事業費の 使途等	研究紀要印刷費 158千円						

5 4 13 文化財情報発信事業

活動指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	紀要の発行部数	部	目標値	200	200	200	200
			実績値	200	200	200	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
	講座開催数	回	目標値	2	4	4	4
			実績値	2	5	6	
			達成率	100.0	125.0	150.0	
			目標値				
			実績値				
			達成率				
成果指標	指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	紀要に掲載した論文数	本	目標値	3	5	5	6
			実績値	3	7	8	
			達成率	100.0	140.0	160.0	
	講座参加者数	人	目標値	60	140	140	140
			実績値	55	207	153	
			達成率	91.7	147.9	109.3	
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)									
有効性	期待する成果	● 上がっている	効率性	費用対効果	● 高い	妥当性	事業実施の意義	● 大きい	
		中位			中位			中位	
		上がっていない			低い			小さい	
	施策への貢献度	● 高い		事業の実施方法	● 効果的		行政の関与	● 市が実施すべき	
		中位			中位			民間等でも実施可能	
	低い		改善の余地あり		民間等が実施すべき				
現状の課題		一部の講座で参加者が頭打ちとなっている。より積極的な情報発信が必要。							
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止							
		石狩市の自然、歴史などに関する調査結果の紀要及び講座での発表。							
	【参考】前年度2次(部長)評価	文化財情報の基礎となる調査、研究を進め、市民が石狩市の自然、歴史、文化等に興味、関心を持てるような魅力ある情報の発信に努める。							

事業に対する市民意見等									
なし									

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果		高い	妥当性	事業実施の意義		大きい
		●	中位			●	中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
		●	中位			●	中位				中位
			低い				改善の余地あり				低い
現状の課題		成果の周知方法									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		市民が石狩市の自然、歴史、文化等に興味、関心を持てるような魅力ある情報の発信に努める。									

平成25年度(24年度実施事業)事業評価シート

整理番号	5	4	12	事業名	郷土研究会運営支援事業				
総合計画	マ	5	心豊かに学びいきいきと活動するまち						
	策	4	芸術・文化の振興						
	施 策 (小)	3	文化遺産の保存・活用						
平成25年度担当	所管	生涯学習部 文化財課	課長	工藤 義衛	担当	志賀 健司	電話	62-3711	内線
前年度担当	所管	生涯学習部 文化財課	課長	工藤 義衛	担当	志賀 健司			
予算科目	会 計	一般会計 (10 款 5 項 7 目)			事業名	石狩市郷土研究会補助金			
事務分類	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務 → (裁量性 ☒ 高い ☐ 低い)								
実施形態	☐ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助・助成 ☐ その他								
根拠法令、条例等									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 平成 不詳 年度 ~ 未定 年度								

事業の内容	①対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	石狩市郷土研究会	→	対象数 1 団体
		→	対象数
	②目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?)		
	郷土の歴史、文化などの調査研究が活発となり、多くの資料が残されとともに、市民のふるさと意識の向上を図る。		
	③手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します)		
	石狩市郷土研究会への専門的な助言を行うとともに、活動費の一部を補助する。 ・会誌「いしかり暦」の発行(年1回) ・勉強会の開催		
	④事業実施の背景・個別計画等		
	⑤この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
	⑥平成24年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果		

事業の内容	事業費	財源内訳	単位	H22	H23	H24(見込)	H25(予算)
			千円				
事業のコスト		国庫支出金	千円				
		道支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	84	84	84	84
	小計(A)		千円	84	84	84	84
	人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	0.20	0.20	0.20	H24特定財源名及び補助率・充当率
		正職員()	人				
		従事正職員の人件費	千円	1,902	1,822	1,822	
		その他間接経費	千円				
		小計(B)	千円	1,902	1,822	1,822	
事業費の使途等	総コスト(A)+(B)		千円	1,986	1,906	1,906	
	石狩市郷土研究会運営補助金 84千円						

5 4 12 郷土研究会運営支援事業

活動指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	補助金交付回数	回	目標値	1	1	1	
			実績値	1	1	1	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
	会誌「いしかり暦」刊行回数	回	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
	講座開催回数	回	目標値	12	12	12	
			実績値	12	12	12	
			達成率	100.0	100.0	100.0	
成果指標	指標名	単位	項目	H22	H23	H24	H25
	公開された資料数	件	目標値	6	6	5	
			実績値	5	6	5	
			達成率	83.3	100.0	100.0	
	講座参加者数	人	目標値	96	96	96	96
			実績値	99	90	105	
			達成率	103.1	93.8	109.4	
			目標値				
			実績値				
			達成率				

課長評価(1次)											
有効性	期待する成果	●	上がっている	効率性	費用対効果	●	高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
			中位				中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度	●	高い		事業の実施方法	●	効果的		行政の関与	●	市が実施すべき
			中位				中位				民間等でも実施可能
			低い				改善の余地あり				民間等が実施すべき
現状の課題		会員が増加しているが、高齢化が課題									
今後の方向性	事業内容	○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		地域の歴史資料の調査研究活動のほか、古文書の勉強会などの一般向け事業も実施。									
	【参考】前年度2次(部長)評価	活動実績に高い評価を受けていることから、現行の支援に努める。									

事業に対する市民意見等									
なし									

部長評価(2次)		担当部長		百井宏己							
市民意見等に対する回答			反映								
			一部反映								
			不採用								
			実施済み								
			参考								
有効性	期待する成果		上がっている	効率性	費用対効果	●	高い	妥当性	事業実施の意義	●	大きい
		●	中位				中位				中位
			上がっていない				低い				小さい
	施策への貢献度		高い		事業の実施方法		効果的	優先性	施策内における優先度	●	高い
		●	中位			●	中位				中位
			低い				改善の余地あり				低い
現状の課題		活動成果の活用									
今後の方向性		○ 拡充 ○ 手法改善 ○ 縮小・統合 ● 継続・維持 ○ 休止・廃止									
		活動実績は高い評価を得ていることから、現行の支援に努める。									

点検及び評価に対する学識経験者による意見について

点検及び評価の実施にあたっては、事業等の進捗状況を総括するとともに、課題や今後の取り組みの方向性について、内部評価を行うと同時に、学識経験者の知見活用として、「石狩市教育委員会外部評価委員会」から意見や助言をいただくこととしています。

これらにより、点検及び評価の客観性を確保するとともに、いただいた意見等については、今後の施策、事業等の展開に活用していきます。

「石狩市教育委員会外部評価委員会委員」 任期：平成 24 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで

役 職	氏 名	所 属 等
委員長	村瀬 千樫	元 北海道教育大学教授
副委員長	漆 恵子	石狩ユネスコ協会事務局長
委員	伊井 義人	藤女子大学人間生活学部人間生活学科 准教授

平成 25 年 11 月 6 日に外部評価委員会を開催し、次の意見等をいただきました。また、各委員から多くの取組みについて、良い評価をいただきましたが、本報告書には掲載はしておりません。なお、会議録は、石狩市ホームページ等にて公開しています。

意見等の内容

1 教育委員会の活動状況について

○スマートフォンや ICT 教育などの最新の教育事情について、検討することは重要であり、学校からの具体的な情報収集なども踏まえ、今後も継続して欲しい。

2 施策別の取組状況、分析・評価及び今後の方向性

【全体】

○学校教育分野、社会教育分野に関わらず、優れた実践事例の共有できるシステムの構築を期待する。
○指標について、杓子定規とならないように今後工夫をして欲しい。

施策（大項目）1 生きる力につながる確かな学力を育む教育の充実

【学力】

○「わかる授業」を目指して、工夫する教員への支援等が充実されるよう期待する。
○学力向上のために、今後も人的支援を今後も拡充していくことを期待する。
○教員が子どもと向き合う時間を確保するため、部活動外部指導者の拡充を期待する。

施策（大項目）2 一人ひとりを大切にした教育活動の充実

【特別支援教育】

○特別支援教育について、先生方の理解が深まり、一層充実した教育活動が実現することを期待する。
○特別支援学校に通学している子どもたちが、高等部へスムーズに進学できるよう、サポートを期待する。

施策（大項目）3 独自性が発揮できる魅力ある学校づくりの推進

【教職員の研修活動】

○セミナーについては、教員にとって「実践的」な内容をより多く含めることが望まれる。

【地域とともに歩む学校】

○先生方は、より深く地域を知ること努め、地域と共に充実した教育活動が実現することを期待する。

○今後は、ボランティア活動の「質」を吟味するなど、これらの活動を促進する必要があると思う。

施策（大項目）4 学校教育を推進する環境の充実

【就学に関する経済的な支援】

○子育てに関する経済不安が上昇している点は、他の部局との連携も含めて注目していく必要があると思う。

【安全安心】

○食育と安全・安心等環境の整備は、学校教育の最も重要で基本的なことであることから今後とも十分配慮するよう期待する。

施策（大項目）5 豊かな人間性と感性を育む教育の推進

【問題を抱える児童生徒への支援】

○「社会的自立」に向けて、様々な体験を通して社会を知ることなど、子ども自らが気づく機会の提供を期待する。

○いじめについては、生命に関わるいじめもあることから、数値に一喜一憂せず、今後も引き続き、関係者全員で根絶に向けた努力を期待する。

施策（大項目）6 心身の健やかな成長を促す教育の推進

【体力】

○正しいラジオ体操や部活動等の推進を望む。

【食育】

○食育については、子ども自身がその食材等を判断し表現するといったように、新たな学力観との関連も踏まえ、推進して欲しい。

【基本的な生活習慣と家庭環境】

○「子ども自身が自分を守るための教育」は、今後更に重要となることから、折にふれて、子どもたちへの指導や、家庭に充分周知して欲しい。

○望ましい生活習慣の定着は、地道で継続的な取組みが重要であり、今後も学校・家庭を軸とし、各関連団体と連携しながら推進していくことを期待する。

○インターネットへの対応については、最近は SNS や Line など、これまでとは違った対策が必要になる状況がでてきていることから、その点も配慮して進めて欲しい。

施策（大項目） 7 次代を担う子どもたちの健やかな育ちの支援

【子どもの権利】

○CAP 事業への参加教職員は、一定程度普及したことから、違う指標を作ってみてもいいと思う。

【地域で子どもを育てる環境】

○あい風寺子屋事業などで、子どもたちが企画運営に携わるなど、子どもたちの自主性の推進に役立つ手法の導入があれば良いと思う。

施策（大項目） 8 地域づくりに活かされる生涯学習環境の充実

【多様な学習機会の提供】

○いしかり市民カレッジには、地域の達人をもっと起用してはどうか。

○いしかり市民カレッジの普及を一層進めるために、新たな取組みを推進する支援を教育委員会にも期待する。

施策（大項目） 9 学習の拠点としての図書館サービスの充実

【市民図書館】

○市民の図書館という観点から、娯楽的要素の強い時代小説等についても蔵書を増やしてはどうか。

○大人が子どもの成長や考えなどを感じ、知る機会である、という観点からも、壁新聞などの中学生の文化活動の展示を継続して欲しい。

○図書館内で開催されているイベント等の周知の工夫をして欲しい。

○図書館で、知的な野外イベントを行ってはどうか。

○図書館の利用登録者数・貸出点数の減少傾向の原因究明を望みたい。

○学校の読書推進事業との一層の連携を望む。

施策（大項目） 10 石狩文化の活用による自主的・主体的活動の支援

【市民文化祭】

○高齢者の意欲と元気が継続できるよう文化祭の支援に青年のボランティアが必要と感じる。

【文化活動】

○芸術文化は、その町の文化の質を問われるものであり、子どもたちの心の豊かさや創造的活動の充実を図るためにも、拡充を図っていくことを期待する。

施策（大項目） 11 ふるさとを学び伝える取組の充実

【資料館】

○「はまます郷土資料館」と「ガル」の運営の関連性の充実を図ることで、お互いが活性化することを期待する。

○資料館の入館者について、今後は様々な手立てを講じて増加させることを期待する。

【ふるさと】

○地元企業主体で「さけの遡上」見学の実施に期待したい。

○「ふるさといしかり」のこども版作成には、ぜひ、歴史・地理的な知識の習得だけではなく、必要とされる学力を培うという面で、学校との連携を重視して欲しい。

資 料

資料 1

教 育 委 員 会 委 員 名 簿

(平成 24 年度末現在)

職 名	ふりがな 氏 名	就任年月日 (任期の満了日)	職業
委員長	なかむら てるお 中 村 照 男	平成 24 年 10 月 20 日 (平成 28 年 10 月 19 日)	団 体 役 員
委 員 (委員長職務代理者)	ど い くみこ 土 井 久美子	平成 21 年 10 月 6 日 (平成 25 年 10 月 5 日)	無 職
委 員	もん ま ふじこ 門 馬 富士子	平成 22 年 12 月 25 日 (平成 26 年 12 月 24 日)	無 職
委 員	まつ お た く や 松 尾 拓 也	平成 24 年 10 月 20 日 (平成 28 年 10 月 19 日)	会 社 役 員
教育長	かま だ ひで のぶ 鎌 田 英 暢	平成 24 年 10 月 12 日 (平成 28 年 10 月 11 日)	

資料2

石狩市教育委員会外部評価委員会設置要綱

(目 的)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条第2項に基づき、石狩市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の権限に属する、事務・事業の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行うにあたり、教育に関し学識経験を有するものの知見の活用を図るために設置する外部評価委員会（以下「委員会」という。）に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 教育委員会が実施する事務、事業の点検・評価。
- (2) その他、委員会が必要を認める事項。

(組 織)

第3条 委員会は、委員3人以内で組織する。

- 2 委員は、教育に関し学識経験を有する者の内から教育長が委嘱する。この場合において、教育長が必要と認めるときは、公募による者を含むことができる。
- 3 委員の任期は3年とする。ただし、再任を妨げない。
- 4 委員に欠員が生じた場合における補欠欠員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、委員の互選によりこれを定める。
- 3 副委員長は、委員の内から委員長が指名する者をもって充てる。
- 4 委員長は、委員会を代表し会務を総理する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会 議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。

- 2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 委員会の会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 委員会は、必要があると認めるときは、会議の委員以外の者の出席を求め、その説明又は意見を聞くことができる。
- 5 委員会の会議は原則公開できるものとする。ただし、公開することが相当でないと委員会が認めるときはこの限りでない。

(庶 務)

第6条 委員会の庶務は、教育委員会事務局において行う。

(委 任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成21年5月29日から施行する。

< 報告事項 1 >

第58回（平成25年度）石狩市民文化祭について（実施状況）

- 1 主催 石狩市、石狩市教育委員会、NPO法人 石狩市文化協会
- 2 主管 石狩市民文化祭実行委員会
- 3 概要 テーマ：「つどい」
- 4 開催状況

(1) 市民発表部門（旧石狩会場）

【展示】

日時：10月18日（金）～20日（日）10：00～17：00（※20日は15：00まで）

場所：花川南コミュニティセンター 来場者 2,039 人（前年度 1,987 人）

内容：絵画・写真、書道、文芸、陶芸、手工芸、生け花などの作品展示、体験コーナー、実演・実食コーナー（お茶席、手打ちそば） 【49 団体個人 507 名参加】（前年度 53 団体個人 521 名）

【舞台】

日時：10月19日（土）11：00～15：30、20日（日）12：00～16：00

場所：花川北コミュニティセンター 来場者 1,299 人（前年度 861 人）

内容：日本舞踊、伝承芸能、洋舞洋楽、お楽しみ抽選会（両日演目終了後）

【30 団体個人 302 名参加】（前年度 27 団体個人 238 名）

(2) 厚田会場（厚田生涯学習フェスティバル）

日時：11月10日（日）9：30～12：15

場所：厚田総合センター 来場者 220 人（前年度 270 人）

内容：【展示】厚田区小・中学生の作品展示（絵画・書道、壁新聞など）、サークル発表（写真、手工芸、絵画、書道など） 【14 団体 105 作品】（前年度 14 団体 121 作品）

【舞台】厚田区小学校音楽のつどい（合唱・器楽演奏など）、サークル発表（和太鼓、オカリナ、紙芝居、詩吟・剣舞など） 【9 団体 102 名】（前年度 10 団体 115 名）

花川南中学校吹奏楽部演奏、厚田区女性団体協議会による出店バザー

(3) 浜益会場

日時：11月3日（日・祝）9：30～14：00

場所：浜益コミュニティセンター「きらり」 来場者 180 人（前年度 300 人）

内容：【展示】ステンドグラス、デイサービス・保育園・中高生の展示など

【7 団体個人 78 名参加】（前年度 12 団体 100 名）

【舞台】舞踊、カラオケ、浜益小劇場など

【6 団体個人 54 名参加】（前年度 10 団体 84 名）

茶道愛好会によるお茶席コーナー、浜益青年会による軽食バザー、手工芸の体験コーナー

(4) クリスマスコンサート 2013 ※協賛：石狩ライオンズクラブ

日時：12月14日（土）13：00～15：30（予定） 場所：花川北コミュニティセンター

出演予定団体：石狩エンジェル・クレア少年少女合唱団、南線小学校リコーダークラブ、花川中・花川南中・樽川中学校吹奏楽部、石狩南高等学校吹奏楽部、石狩翔陽高等学校吹奏楽局

※吹奏楽部の合同演奏も予定

(5) 共催事業

【第26回いしかり菊花展】 ※主催：石狩菊花展実行委員会

日時：11月1日（金）～3日（日・祝）9：30～17：00 場所：花川北コミュニティセンター

内容：大菊・小菊の展示 ※入場無料、お茶席コーナーあり 【出展数 約 700 鉢、来場者数 1,341 人】

(6) 協賛事業

【第16回オータムコンサート】 ※主催：石狩市音楽家・音楽団体協議会

日時：10月5日（土）14：00～ 場所：花川北コミュニティセンター ※入場料 500 円（小学生以下無料）

出演団体：石狩混声合唱団、女声合唱団「コル・ソナーレ」、女声コーラス「いしかりエコー」、女声合唱団「アルバ・コラーレ」、当別混声合唱団「パストラル・クワイア」、「コール・ドルチェ」

【来場者数 165 人】

<報告事項 2>

第 14 回 石狩市民図書館まつりについて（開催結果）

- 1 期 日 平成 25 年 10 月 26 日（土）／27 日（日）
- 2 会 場 石狩市民図書館（本館）
- 3 入館者数 4,974 人（26 日 2,736 人／27 日 2,238 人） 昨年度は 4,709 人（265 人増）
- 4 内容と参加者数

10 月 26 日	内容	参加者数
9:50～10:00	オープニングセレモニー（1 日図書館長任命式）	87 人
10:15～11:15	調べる学習コンクール～表彰式～	81 人
10:15～11:00	おはなし会（おはなし会 びっくりばこ）	33（大人 12、子ども 21）人
11:25～12:10	マジックショー（北大奇術研究会）	125（大人 54、子ども 71）人
12:20～12:50	おはなし会（サラ&ラルエケ&リア）	53（大人 20、子ども 33）人
13:00～14:00	《紙芝居とお絵描き》みんなでサケを知ろう！（かじさやかさん）	34（大人 6、子ども 28）人
14:10～14:55	おはなし会（石狩市文庫連絡会）	27（大人 9、子ども 18）人
15:15～16:00	語り（ストーリーテリング）（竹田智子さん）	35（大人 30、子ども 5）人
10:00～15:00	図書館クイズ・スタンプラリー	133 人
10 月 27 日	内容	参加者数
9:45～10:45	名取市・輪島市立図書館友好調印式	91 人
11:00～11:30	おはなし会（藤女子大学サークルばる～ん）	40（大人 16、子ども 24）人
11:40～12:10	マジックショー（塚田崇さん）	106（大人 46、子ども 60）人
13:00～13:30	演劇「ブリキの夢 - 石狩缶詰工場物語」（浜益小劇場）	87（大人 48、子ども 39）人
13:40～14:25	おはなし会（よみきかせ 子っ子の会）	46（大人 21、子ども 25）人
14:35～15:05	DVD 上映会（フロアボランティア）	23（大人 20、子ども 3）人
16:00～16:30	沖縄の三線演奏（磯木一範さん）	82（大人 70、子ども 12）人
10:00～15:00	図書館クイズ・スタンプラリー	126 人
両日開催	内容	参加者数
10:00～17:00	展示 村山家文書展示「村山家文書解説『石狩御場所蝦夷人撫育筋書上』を読む」（石狩市郷土研究会（村山家文書を読む会））	—
	本の特集「川と海からのおくりもの」	—
	むかしあそびコーナー（伝承あそびボランティアおてだま）	—
10:00～15:00	布の絵本とおもちゃであそぼう！（ボランティアサークル布の絵本にじ）	—
	軽食コーナー（石狩市食生活改善推進協議会）	—
	乳幼児休憩室（ブックスタートボランティア）	32（大人 10、子ども 22）人

< 報告事項 3 >

平成 26 年 石狩市成人式について（開催案）

1. 趣旨

成人としての節目を迎える市民の前途を祝福するとともに、将来の社会を支える一員としての責任を自覚する機会とし、厳粛で温かみのある式典とする。

2. 主催 石狩市・石狩市教育委員会

3. 期日 平成 26 年 1 月 13 日（月・祝）

4. 会場 花川北コミュニティセンター（花川北 3 条 2 丁目 198 番地）

5. 対象者数 512 名（男 274 名、女 238 名）

※平成 5 年 4 月 2 日～平成 6 年 4 月 1 日生まれの市内在住者
（平成 25 年 11 月 1 日現在の住民基本台帳登録データの数値）

6. 日程

13:00	新成人受付、ホール開場 オリエンテーション
14:00	オープニング演奏、開式のことば 主催者挨拶 来賓祝辞、祝電披露 恩師からのビデオレター ※平成 20 年度の各中学校 3 年担任が出演 成人の誓い 閉式の言葉
15:00	記念写真撮影

（参考）過去 5 ヶ年の出席者数の推移

平成 21 年	出席者数	433 名	（対象者数	582 名	参加率	74.7%）
平成 22 年	〃	449 名	（	〃 563 名	〃	79.7%）
平成 23 年	〃	359 名	（	〃 522 名	〃	68.8%）
平成 24 年	〃	404 名	（	〃 552 名	〃	73.1%）
平成 25 年	〃	446 名	（	〃 557 名	〃	80.0%）

給食費値上げに関する要因

石狩市学校給食センター

値上げの要因	小 学 校	中 学 校
①消費税率上昇分	3 %	3 %
②前回値上げ見合わせ分	なし	5 %
③日数増加分	なし	4 ～ 5 日

①消費税率上昇分

平成26年度、消費税 5 % から 8 % へ上昇に伴い給食費を 3 % 値上げする

②前回値上げ見合わせ分

平成22年度給食費改定時、中学校分給食費は 1 3 % の値上げを算定したが、デザート類の提供を減らすことにより 8 % の値上げのみとし実施してきたが、今年度より栄養価充足・食料構成充足の面において献立作成が困難な傾向にある。このため、見合わせていた 5 % 分の値上げを実施する

③日数増加分

中学校における現在の設定給食日数では、不足傾向にあるため、日数増加に向け各学校と調整中。日数が増えた場合、年額給食費の増加となる。

石狩市学校給食費単価改定案(平成26年4月1日施行)

石狩市教育委員会生涯学習部 学校給食センター

(1) 小学校

単位：円

区分	日額単価					
	改定前 A	税抜き B=A/1.05	C	改定後 (消費税8%) D=B*1.08	端数 切り下げ E	差額 F=E-A
小学校1年生	236	224.76	→	242.74	242	6
小学校2年生					242	6
小学校3年生	243	231.43	→	249.94	249	6
小学校4年生					249	6
小学校5年生	248	236.19	→	255.09	255	7
小学校6年生					255	7

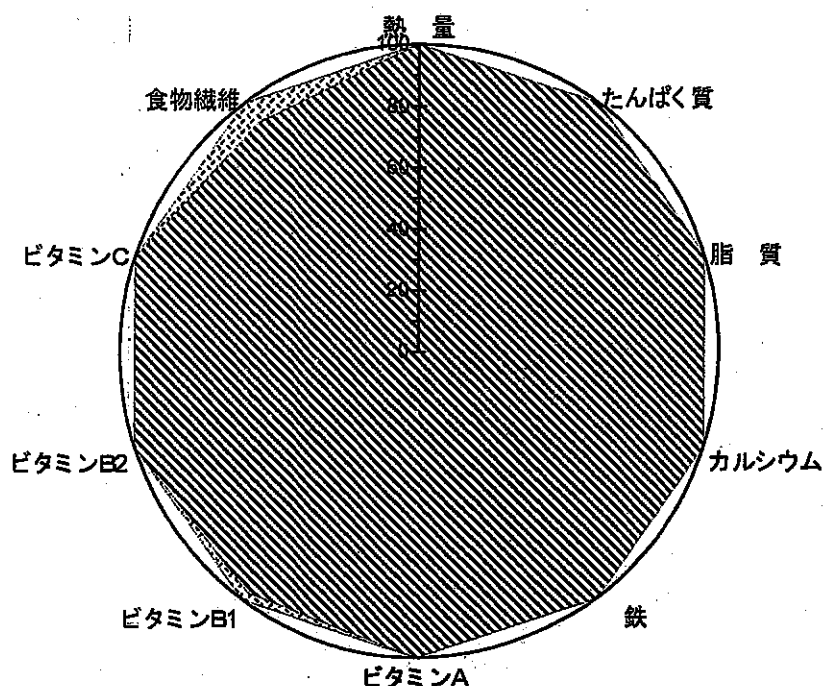
(2) 中学校

区分	日額単価					
	改定前 A	税抜き B=A/1.05	栄養価 調整後 (5%+) C=B*1.05	改定後 (消費税8%) D=C*1.08	端数 切り下げ E	差額 F=E-A
中学校1年生	297	282.86	297.00	320.76	320	23
中学校2年生					320	23
中学校3年生					320	23

モデル献立ー1

牛乳・ごはん・根菜汁・鮭ざんぎ・二色浸し・デザート

< 栄養充足率 >



【 栄養価 】

	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂質 (g)	C a (mg)	鉄 (mg)	V. A (μg)	V. B1 (mg)	V. B2 (mg)	V. C (mg)	食物繊維 (g)
摂取量	882	31.7	27.1	424	5.5	378	0.58	0.68	157	6.9
基準値	850	28.0	26.0	420	4.0	210	0.60	0.60	33	7.5
充足率(%)	104	113	104	101	138	180	97	113	476	92

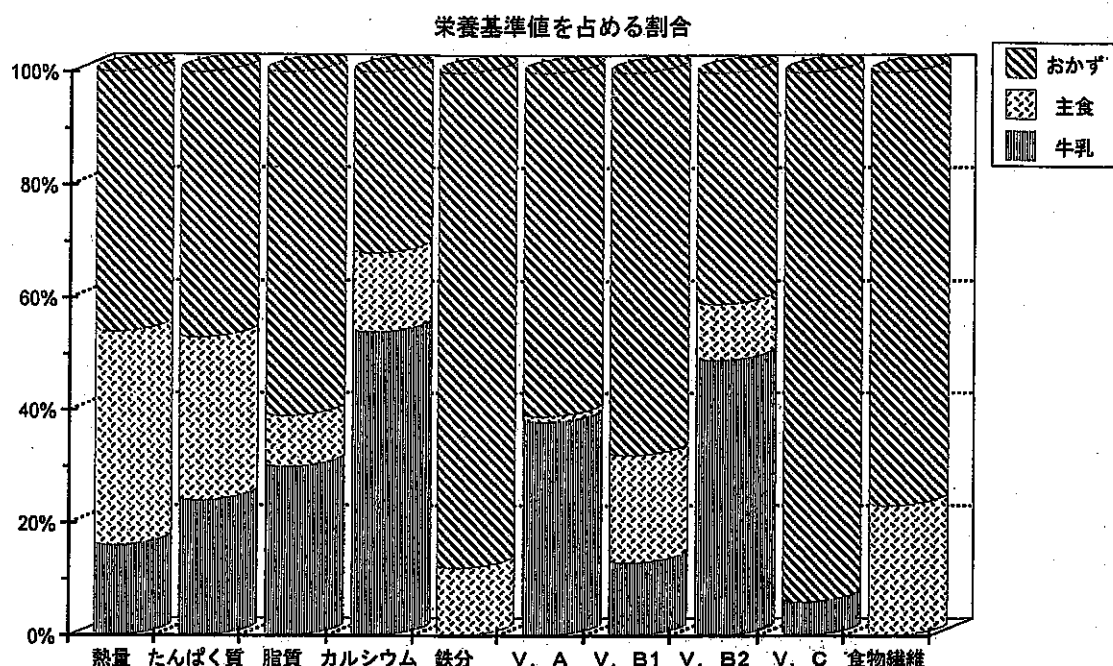
【 価格 】

	牛乳	主食	汁物	主菜	副菜	デザート	計
実施価格(円)	39.06	80.01	87.77	53.55	39.72	50.40	350.51
基値価格(円)	39.06	80.01	153.93				273.00
							77.51

* 中学校のゼリー: 50g

〈牛乳・主食・おかずの栄養基準値での比率〉

中 学 校

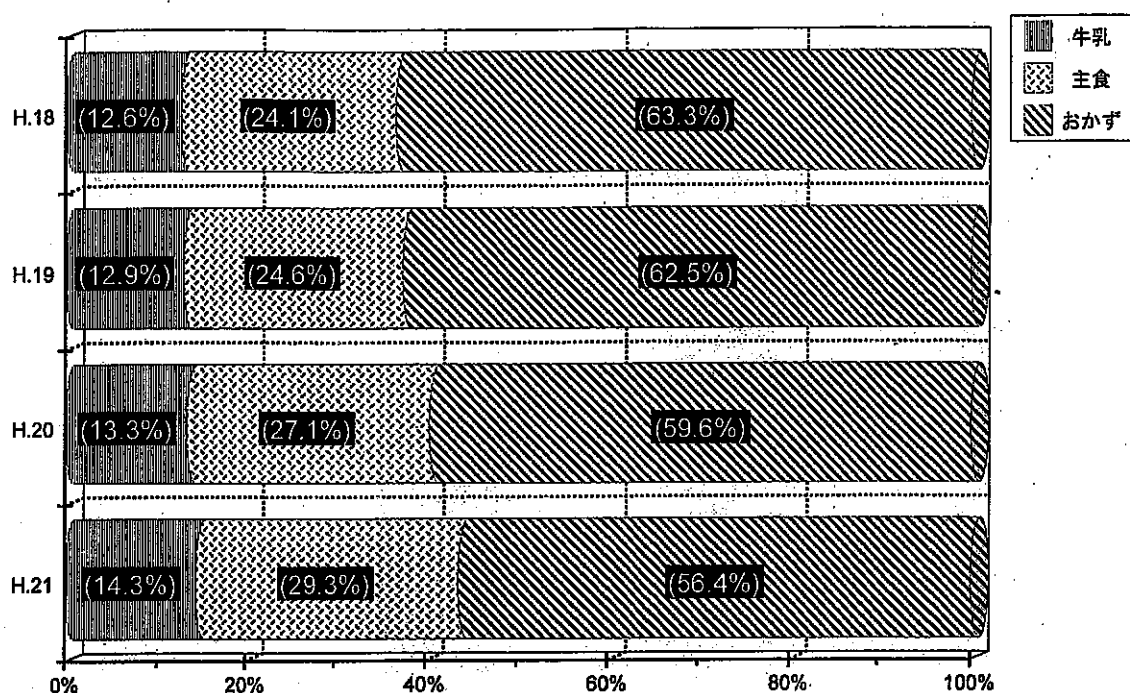


◇1食の栄養基準値における牛乳・主食・おかず（汁もの・主菜・副菜・デザートなど）の比率は上記の通りで成長期に必要なたんぱく質・鉄分・ビタミン類・食物繊維の充足には必須です。しかし、中学校は現行の給食費では主食のウェートが高くなったため、必要な栄養価を主菜・副菜から充足することは困難になっています。

【年度別栄養価平均値】

	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂 質 (g)	C a (mg)	鉄 (mg)	V. A (μg)	V. B1 (mg)	V. B2 (mg)	V. C (mg)	食物繊維 (g)
基 準 値	850	28.0	26.0	420	4.0	210	0.60	0.60	33	7.5
H.18 平均値	879	35.1	28.3	445	4.3	446	0.62	0.61	39	7.6
充足率 (%)	103	125	109	106	108	212	103	102	118	101
H.19 平均値	765	35.0	28.1	374	3.9	443	0.59	0.64	34	6.7
充足率 (%)	90	125	108	89	98	211	98	107	102	89
H.20 平均値	842	32.2	28.1	328	3.9	443	0.59	0.53	29	5.9
充足率 (%)	99	115	108	78	98	211	98	89	89	79
H.21 平均値	816	33.3	26.0	357	3.1	252	0.52	0.53	24	4.9
充足率 (%)	96	119	100	85	78	120	87	88	73	65

〈1食分の食材購入費のなかで牛乳・主食・おかずの占める割合〉 中 学 校



◇牛乳・主食が高騰することにより、1食単価内での汁もの・主菜・副菜・デザートに使用できる金額が減少しています。
このため献立は、デザート・小袋類（ふりかけ・佃煮）などを削除しなければならない状況となっています。

【配分価格】：1食単価内での占める割合

		牛 乳	主 食	汁 物 ・ 主 菜 ・ 副 菜 ・ デ ザ ー ト	計
H.18	配分価格 (円)	34.30	65.93	172.77	273.00
	配分比率 (%)	12.6	24.1	63.3	
H.19	配分価格 (円)	35.18	67.20	170.62	
	配分比率 (%)	12.9	24.6	62.5	
H.20	配分価格 (円)	36.31	73.90	162.79	
	配分比率 (%)	13.3	27.1	59.6	
H.21	配分価格 (円)	39.06	80.01	153.93	
	配分比率 (%)	14.3	29.3	56.4	